Seiko Epson Corporation

2024 CDP コーポレート質問書 2024

Word バージョン

重要: このエクスポートには未回答の質問は含まれません

このドキュメントは、組織の CDP アンケート回答のエクスポートです。回答済みまたは進行中の質問のすべてのデータ ポイントが含まれています。提供を要求された質問またはデータ ポイントが、現在未回答のためこのドキュメントに含まれていない場合があります。提出前にアンケート回答が完了していることを確認するのはお客様の責任です。CDP は、回答が完了していない場合の責任を負いません。

企業アンケート 2024 の開示条件 - CDP

03/11/2025, 06:00 am

内容

C1. イントロダクション 7

(1.1) どの言語で回答を提出しますか。 7
(1.2) 回答全体を通じて財務情報の開示に使用する通貨を選択してください。 7
(1.3) 貴組織に関する概要と紹介情報を提供してください。 7
(1.4) データの報告年の終了日を入力してください。排出量データについて、過去の報告年における排出量データを提供するか否かを明記してください。 7
(1.4.1) What is your organization’s annual revenue for the reporting period? 8
(1.5) 貴組織の報告バウンダリ（範囲）の詳細を回答してください。 9
(1.6) 貴組織は ISIN コードまたは別の固有の市場識別 ID (例えば、ティッカー、CUSIP 等) をお持ちですか。 9
(1.7) 貴組織が事業を運営する国/地域を選択してください。 14
(1.8) 貴組織の施設についての地理位置情報を提供できますか。 14
(1.8.1) 貴組織の施設についての地理位置情報をすべて提供してください。 15
(1.24) 貴組織はバリューチェーンをマッピングしていますか。 49
(1.24.1) 直接操業またはバリューチェーンのどこかでプラスチックの生産、商品化、使用、または廃棄されているかについてマッピングしましたか。 50

C2. 依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価、管理 52

(2.1) 貴組織は、貴組織の環境上の依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価、管理に関連した短期、中期、長期の時間軸をどのように定義していますか。 52
(2.2) 貴組織には、環境への依存やインパクトを特定、評価、管理するプロセスがありますか。 53
(2.2.1) 貴組織には、環境リスクや機会を特定、評価、管理するプロセスがありますか。 54
(2.2.2) 環境への依存、インパクト、リスク、機会を特定、評価、管理する貴組織のプロセスの詳細を回答してください。 54
(2.2.7) 環境への依存、インパクト、リスク、機会間の相互関係を評価していますか。 59
(2.3) バリューチェーン内の優先地域を特定しましたか。 59
(2.4) 貴組織は、組織に対する重大な影響をどのように定義していますか。 61
(2.5) 貴組織では、事業活動に関連し、水の生態系や人間の健康に有害となりうる潜在的水質汚染物質を、どのように特定、分類していますか。 63
(2.5.1) 水の生態系や人間の健康に悪影響を及ぼす、事業活動に伴う潜在的な水質汚染物質について、貴組織ではどのようにその影響を最小限に抑えているか説明してください。 64

C3. リスクおよび機会の開示 66

(3.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと考えられる何らかの環境リスクを特定していますか。 66
(3.1.1) 報告年の間に貴組織にを重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすことが見込まれると特定された環境リスクの詳細を記載してください。 67
(3.1.2) 報告年における環境リスクがもたらす重大な影響に脆弱な財務指標の額と割合を記入してください。 75
(3.2) 各河川流域には、水関連リスクの重大な影響にさらされている施設はいくつありますか。これは施設総数のどれぐらいの割合を占めていますか。 77
(3.3) 報告年の間に、貴組織は水関連の規制違反を理由として罰金、行政指導等、その他の処罰を科されましたか。 84

(3.5) 貴組織の事業や活動はカーボンプライシング制度 (ETS、キャップ・アンド・トレード、炭素税) による規制を受けていますか。 84
(3.5.1) 貴組織の事業活動に影響を及ぼすカーボンプライシング規制を選択してください。 85
(3.5.2) 貴組織が規制を受けている各排出量取引制度 (ETS) の詳細を記載してください。 85
(3.5.4) 規制を受けている、あるいは規制を受けることが見込まれる制度に準拠するための貴組織の戦略を回答してください。 86
(3.6) 報告年の間に貴組織に大きな影響を与えた、あるいは将来的に貴組織に大きな影響を与えることが見込まれる何らかの環境上の機会を特定していますか。 87
(3.6.1) 報告年の間に貴組織に大きな影響を与えた、あるいは将来的に貴組織に大きな影響を与えることが見込まれる特定された環境上の機会の詳細を記載してください。 87
(3.6.2) 報告年の間の、環境上の機会がもたらす大きな影響と整合する財務指標の額と比率を記入してください。 94

C4. ガバナンス 97

(4.1) 貴組織は取締役会もしくは同等の管理機関を有していますか。 97
(4.1.1) 貴組織では、取締役会レベルで環境課題を監督していますか。 98
(4.1.2) 環境課題に対する説明責任を負う取締役会のメンバーの役職 (ただし個人名は含めないこと) または委員会を特定し、環境課題を取締役会がどのように監督しているかについての詳細を記入してください。 98
(4.2) 貴組織の取締役会は、環境課題に対する能力を有していますか。 103
(4.3) 貴組織では、経営レベルで環境課題に責任を負っていますか。 104
(4.3.1) 環境課題に責任を負う経営層で最上位の役職または委員会を記入してください (個人の名前は含めないでください) 。 105
(4.5) 目標達成を含め、環境課題の管理に対して金銭的インセンティブを提供していますか? 110
(4.5.1) 環境課題の管理に対して提供される金銭的インセンティブについて具体的にお答えください (ただし個人の名前は含めないでください) 。 111
(4.6) 貴組織は、環境課題に対処する環境方針を有していますか。 114
(4.6.1) 貴組織の環境方針の詳細を記載してください。 114
(4.10) 貴組織は、何らかの環境関連の協働的な枠組みまたはイニチアチブの署名者またはメンバーですか。 119
(4.11) 報告年の間に、貴組織は、環境に (ポジティブにまたはネガティブに) 影響を与え得る政策、法律または規制に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のある活動を行いましたか。 120
(4.11.2) 報告年の間に、業界団体またはその他の仲介団体/個人を通じた、環境に対して (ポジティブまたはネガティブな形で) 影響を与え得る政策、法律、規制に関する貴組織の間接的なエンゲージメントの詳細について記載してください。 122
(4.12) 報告年の間に、CDP への回答以外で、貴組織の環境課題に対する対応に関する情報を公開していますか。 125
(4.12.1) CDP への回答以外で報告年の間の環境課題に対する貴組織の対応に関する情報についての詳細を記載してください。当該文書を添付してください。 125

C5. 事業戦略 131

(5.1) 貴組織では、環境関連の結果を特定するためにシナリオ分析を用いていますか。 131
(5.1.1) 貴組織のシナリオ分析で用いているシナリオの詳細を記載してください。 132
(5.1.2) 貴組織のシナリオ分析の結果の詳細を記載してください。 139
(5.2) 貴組織の戦略には気候移行計画が含まれていますか。 141
(5.3) 環境上のリスクと機会は、貴組織の戦略および/または財務計画に影響を与えてきましたか。 143
(5.3.1) 環境上のリスクと機会が貴組織の戦略のどのような領域に対し、またどのような形で影響を与えたかを記載してください。 144

(5.3.2) 環境上のリスクと機会が貴組織の財務計画のどのような領域に対し、またどのような形で影響を与えたかを記載してください。 148
(5.4) 貴組織の財務会計において、貴組織の気候移行計画と整合した支出/売上を特定していますか。 149
(5.4.1) 気候移行計画に整合する支出/売上の額と割合を定量的に示してください。 150
(5.9) 報告年における貴組織の水関連の CAPEX と OPEX の傾向と、次報告年に予想される傾向はどのようなものですか。 152
(5.10) 貴組織は環境外部性に対するインターナル・プライスを使用していますか。 153
(5.10.1) 貴組織のインターナル・カーボンプライスについて詳細を記入してください。 153
(5.11) 環境課題について、貴組織のバリューチェーンと協働していますか。 156
(5.11.1) 貴組織は、サプライヤーを環境への依存および/またはインパクトによって評価および分類していますか。[データがまだありません] 157
(5.11.2) 貴組織は、環境課題について協働する上で、どのサプライヤーを優先していますか。[データがまだありません] 160
(5.11.5) 貴組織のサプライヤーは、貴組織の購買プロセスの一環として、環境関連の要求事項を満たす必要がありますか。 162
(5.11.6) 貴組織の購買プロセスの一環としてサプライヤーが満たす必要がある環境関連の要求事項の詳細と、遵守のために実施する措置を具体的にお答えください。 163
(5.11.7) 貴組織の環境課題に関するサプライヤーエンゲージメントの詳細を記入してください。 167
(5.11.9) バリューチェーンのその他のステークホルダーとの環境エンゲージメント活動の詳細を記入してください。[データがまだありません] 171
(5.12) 特定の CDP サプライチェーンメンバーと協力できる、相互に利益のある環境イニシアチブがあれば、示してください。 173
(5.13) 貴組織は、CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより、双方にとって有益な環境イニシアチブをすでに実施していますか。 189

C6. 環境パフォーマンス - 連結アプローチ 190
(6.1) 環境パフォーマンスデータの計算に関して、選択した連結アプローチを具体的にお答えください。 190

C7. 環境実績 - 気候変動 192
(7.1) 今回が CDP に排出量データを報告する最初の年になりますか。 192
(7.1.1) 貴組織は報告年に構造的変化を経験しましたか。 あるいは過去の構造的変化がこの排出量データの情報開示に含まれていますか。 192
(7.1.2) 貴組織の排出量算定方法、バウンダリ (境界)、および/または報告年の定義は報告年に変更されましたか。 192
(7.1.3) 7.1.1 および/または 7.1.2 で報告した変更または誤りの結果として、貴組織の基準年排出量および過去の排出量について再計算が行われましたか。 193
(7.2) 活動データの収集や排出量の計算に使用した基準、プロトコル、または方法の名称を選択してください。 193
(7.3) スコープ 2 排出量を報告するための貴組織のアプローチを説明してください。 194
(7.4) 選択した報告バウンダリ (境界) 内で、開示に含まれていないスコープ 1、スコープ 2、スコープ 3 の排出源 (例えば、施設、特定の温室効果ガス、活動、地理的場所等) はありますか。 194
(7.4.1) 選択した報告バウンダリ (境界) 内にあるが、開示に含まれないスコープ 1、スコープ 2、またはスコープ 3 排出量の発生源の詳細を記入してください。 194
(7.5) 基準年と基準年排出量を記入してください。 195
(7.6) 貴組織のスコープ 1 全世界総排出量を教えてください (単位: CO2 換算トン)。 203
(7.7) 貴組織のスコープ 2 全世界総排出量を教えてください (単位: CO2 換算トン)。 204
(7.8) 貴組織のスコープ 3 全世界総排出量を示すとともに、除外項目について開示および説明してください。 206
(7.9) 報告した排出量に対する検証/保証の状況を回答してください。 217
(7.9.1) スコープ 1 排出量に対して実施した検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。 217
(7.9.2) スコープ 2 排出量に対して実施した検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。 218

(7.9.3) スコープ 3 排出量に対して実施した検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。 220
(7.10) 報告年における排出量総量 (スコープ 1+2 合計) は前年と比較してどのように変化しましたか。 222
(7.10.1) 世界総排出量 (スコープ 1 と 2 の合計) の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示してください。 222
(7.10.2) 7.10 および 7.10.1 の排出量実績計算は、ロケーション基準のスコープ 2 排出量値もしくはマーケット基準のスコープ 2 排出量値のどちらに基づいていますか。 229
(7.12) 生物起源炭素由来の二酸化炭素排出は貴組織に関連しますか。 229
(7.15) 貴組織では、スコープ 1 排出量の温室効果ガスの種類別の内訳を作成していますか。 229
(7.15.1) スコープ 1 全世界総排出量の内訳を温室効果ガスの種類ごとに回答し、使用した地球温暖化係数 (GWP) それぞれの出典も記入してください。 229
(7.16) スコープ 1 および 2 の排出量の内訳を国/地域別で回答してください。 233
(7.17) スコープ 1 世界総排出量の内訳のうちのどれを記入できるか示してください。 247
(7.17.1) 事業部門別にスコープ 1 全世界総排出量の内訳をお答えください。 247
(7.20) スコープ 2 世界総排出量の内訳のうちのどれを記入できるか示してください。 248
(7.20.1) 事業部門別にスコープ 2 全世界総排出量の内訳をお答えください。 248
(7.22) 連結会計グループと回答に含まれる別の事業体の間のスコープ 1 およびスコープ 2 総排出量の内訳をお答えください。 249
(7.23) 貴組織の CDP 回答に含まれる子会社の排出量データの内訳を示すことはできますか。 250
(7.23.1) スコープ 1 およびスコープ 2 の総排出量の内訳を子会社別にお答えください。 250
(7.26) 本報告対象期間に販売した商品またはサービス量に応じて、貴組織の排出量を以下に示す顧客に割り当ててください。 257
(7.27) 排出量を顧客ごとに割り当てる際の課題と、その課題を克服するために役立つことは何ですか。 305
(7.28) 今後、顧客ごとの排出量を割り当てられるようにする計画はありますか。 306
(7.29) 報告年の事業支出のうち何%がエネルギー使用によるものでしたか。 306
(7.30) 貴組織がどのエネルギー関連活動を行ったか選択してください。 306
(7.30.1) 貴組織のエネルギー消費量合計 (原料を除く) を MWh 単位で報告してください。 307
(7.30.6) 貴組織の燃料消費の用途を選択してください。 310
(7.30.7) 貴組織が消費した燃料の量 (原料を除く) を燃料の種類別に MWh 単位で示します。 311
(7.30.9) 貴組織が報告年に生成、消費した電力、熱、蒸気および冷熱に関する詳細をお答えください。 318
(7.30.16) 報告年における電力/熱/蒸気/冷熱の消費量の国/地域別の内訳を示してください。 320
(7.30.17) 報告年における貴組織の再生可能電力購入について、国/地域別に詳細をお答えください。 352
(7.30.18) 報告年における貴組織の低炭素熱、蒸気、および冷熱の購入について、国/地域別に詳細をお答えください。 449
(7.30.19) 報告年における貴組織の再生可能電力の発電について、国/地域別に具体的にお答えください。 450
(7.30.20) 貴組織の再生可能電力調達戦略が、貴組織が操業する国/地域の系統に新たな容量をもたらすことに対してどのように直接的または間接的に貢献するのかを説明してください。 456
(7.30.21) 報告年に貴組織は再生可能電力の調達に対して障壁や課題に直面しましたか。 456
(7.30.22) 報告年に貴組織が直面した再生可能電力の調達に対する国/地域固有の課題を具体的にお答えください。 457
(7.45) 報告年のスコープ 1 と 2 の全世界総排出量について、単位通貨総売上あたりの CO2 換算トン単位で詳細を説明し、貴組織の事業に当てはまる追加の原単位指標を記入します。 459
(7.52) 貴組織の事業に関連がある、追加の気候関連指標を記入してください。 461
(7.53) 報告年に有効な排出量目標はありましたか。 462

(7.53.1) 排出の総量目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。 462
(7.53.2) 貴組織の排出原単位目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。 466
(7.54) 報告年に有効なその他の気候関連目標がありましたか。 471
(7.54.1) 低炭素エネルギー消費または生産を増加させる目標の詳細を記入してください。 472
(7.54.3) ネットゼロ目標の詳細を記入してください。 474
(7.55) 報告年内に有効であった排出量削減イニシアチブがありましたか。これには、計画段階及び実行段階のものを含みます。 478
(7.55.1) 各段階のイニシアチブの総数を示し、実施段階のイニシアチブについては推定排出削減量 (CO2 換算) もお答えください。 478
(7.55.2) 報告年に実施されたイニシアチブの詳細を以下の表に記入してください。 478
(7.55.3) 排出削減活動への投資を促進するために貴社はどのような方法を使っていますか。 492
(7.73) 貴組織では、自社製品またはサービスに関する製品レベルのデータを提供していますか。 493
(7.73.2) データを提供したい製品/サービスに関して下表に記入してください。 493
(7.73.3) 製品/サービスのライフサイクル上の段階について下表にデータを記入してください。 494
(7.73.5) 質問 7.73.4 で述べられた活動のどれかが、回答を要請している CDP サプライチェーンメンバー企業によって推進されましたか。 499
(7.74) 貴組織の製品やサービスを低炭素製品に分類していますか。 499
(7.74.1) 低炭素製品に分類している貴組織の製品やサービスを具体的にお答えください。 499
(7.79) 貴組織は報告年中にプロジェクト由来の炭素クレジットをキャンセル (償却) しましたか。 502

C9. 環境実績 - 水セキュリティ 503

(9.1) 水関連データの中で開示対象から除外されるものはありますか。 503
(9.1.1) 除外項目についての詳細を記載してください。 503
(9.2) 貴組織の事業活動全体で、次の水アスペクトのどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。 504
(9.2.2) 貴組織の事業全体で、取水、排水、消費した水の合計量と、前報告年比、また今後予測される変化についてご記載ください。 513
(9.2.4) 水ストレス下にある地域から取水を行っていますか。また、その量、前報告年比、今後予測される変化はどのようなものですか。 516
(9.2.7) 水源別の総取水量をお答えください。 517
(9.2.8) 放流先別の総排水量をお答えください。 520
(9.2.9) 貴組織の自社事業内でのどの程度まで排水処理を行うかをお答えください。 522
(9.2.10) 報告年における硝酸塩、リン酸塩、殺虫剤、およびその他の優先有害物質の水域への貴組織の排出量について具体的にお答えください。 527
(9.3) 自社事業およびバリューチェーン上流において、水に関連する重大な依存、影響、リスク、機会を特定した施設の数はいくつですか。 528
(9.3.1) 設問 9.3 で挙げた各施設について、地理座標、水会計データ、前報告年との比較内容を記入してください。 530
(9.3.2) 設問 9.3.1 で挙げた貴組織が直接所有運営している施設について、第三者検証を受けている水会計データの比率をお答えください。 561
(9.4) 設問 9.3.1 で報告した貴組織の施設のいずれかが回答を要請している CDP サプライチェーンメンバー企業に影響を及ぼす可能性がありますか。 564
(9.5) 貴組織の総取水効率の数値を記入してください。 564
(9.12) 貴組織の製品またはサービスの水量原単位の値が分かる場合は記入します。 565
(9.13) 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴組織製品はありますか。 565
(9.13.1) 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴組織製品が売上に占める割合を教えてください。 566
(9.14) 貴組織が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響を少なく抑えているものはありますか。 572

(9.15) 貴組織には水関連の定量的目標がありますか。 573
(9.15.1) 水質汚染、取水量、WASH、その他の水関連カテゴリーと関連する定量的目標があるか否かを教えてください。 573
(9.15.2) 貴組織の水関連の定量的目標およびそれに対する進捗状況を具体的にお答えください。 574

C10. 環境実績 - プラスチック 581
(10.1) 貴組織にはプラスチック関連の定量的目標がありますか。ある場合は、どのような種類かをお答えください。 581
(10.2) 貴組織が次の活動に従事しているか否かをお答えください。 581
(10.4) 生産、販売、または使用した耐久プラスチック製品/部品の総重量とそれに含まれる原料を具体的にお答えください。 584
(10.5) 販売/使用したプラスチックパッケージの総重量とそれに含まれる原料を具体的にお答えください。 584
(10.5.1) 貴組織が販売/使用したプラスチックパッケージの循環性に関してお答えください。 584

C11. 環境実績 - 生物多様性 586
(11.2) 生物多様性関連のコミットメントを進展するために、貴組織は本報告年にどのような行動を取りましたか。 586
(11.3) 貴組織は、生物多様性関連活動全体の実績を監視するために、生物多様性指標を使用していますか。 586
(11.4) 報告年に、生物多様性にとって重要な地域内またはその近くで事業活動を行っていましたか。 587
(11.4.1) 報告年に、生物多様性にとって重要な地域またはその近くで行っていた事業活動について、詳細を開示してください。 588

C13. 追加情報および最終承認 590
(13.1) CDP への回答に含まれる環境情報 (質問 7.9.1/2/3、8.9.1/2/3/4、および 9.3.2 で報告されていないもの) が第三者によって検証または保証されているかどうかをお答えください。 590
(13.1.1) CDP 質問書への回答のどのデータ・ポイントが第三者によって検証または保証されており、どの基準が使用されていますか。 590
(13.3) CDP 質問書への回答を最終承認した人物に関する以下の情報を記入します。 591
(13.4) [ウォーターアクションハブ]ウェブサイトのコンテンツをサポートするため、CDP がパシフィック・インスティチュートと連絡先情報を共有することに同意してください。 592

C1. イントロダクション

(1.1) どの言語で回答を提出しますか。

選択:

☑ 英語

(1.2) 回答全体を通じて財務情報の開示に使用する通貨を選択してください。

選択:

☑ 日本円(JPY)

(1.3) 貴組織に関する概要と紹介情報を提供してください。

(1.3.2) 組織の種類

選択:

☑ 上場組織

(1.3.3) 組織の詳細

We at Epson have always exercised creativity and challenged ourselves to deliver products and services that exceed the expectations of our customers around the world by drawing on the efficient, compact, and precision technologies we have developed since our company was founded in 1942. To continuously create new value that exceeds customer expectations and to deliver it worldwide, we will create new markets by collaborating with business partners and embracing open innovation. We will work with others who share our aspirations of using Epson's technologies to create new, environmentally conscious products and services and rapidly meet the needs of even more customers. And we will use our global network to deliver valuable services to markets and customers around the world.
[固定行]

(1.4) データの報告年の終了日を入力してください。排出量データについて、過去の報告年における排出量データを提供するか否かを明記してください。

(1.4.1) 報告年の終了日

03/30/2024

(1.4.2) 本報告期間と財務情報の報告期間は一致していますか

選択:

☑ はい

(1.4.3) 過去の報告年の排出量データを回答しますか

選択:

☑ はい

(1.4.4) スコープ 1 排出量データについて回答する過去の報告年数

選択:

☑ 2 年

(1.4.5) スコープ 2 排出量データについて回答する過去の報告年数

選択:

☑ 2 年

(1.4.6) スコープ 3 排出量データについて回答する過去の報告年数

選択:

☑ 過去の報告年のスコープ 3 排出量データは回答しません

[固定行]

(1.4.1) What is your organization’s annual revenue for the reporting period?

1313900000000

(1.5) 貴組織の報告バウンダリ（範囲）の詳細を回答してください。

	CDP 回答に使用する報告バウンダリは財務諸表で使用されているバウンダリと同じですか。
	選択: ☑ はい

[固定行]

(1.6) 貴組織は ISIN コードまたは別の固有の市場識別 ID (例えば、ティッカー、CUSIP 等) をお持ちですか。

ISIN コード – 債券

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

☑ はい

(1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

JP341475AH94

ISIN コード – 株式

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

☑ はい

(1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

JP3414750004

CUSIP 番号

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

☑ はい

(1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

6616508

ティッカーシンボル

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

☑ はい

(1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

6724

SEDOL コード

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

☑ はい

(1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

0540528

LEI 番号

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

☑ はい

(1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

549300NIOFQDR749W206

D-U-N-S 番号

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

☑ はい

(1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

690549639

その他の固有の市場識別 ID

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

☑ いいえ

ISIN コード – 債券

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

☑ はい

(1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

JP341475AK73

ISIN コード – 債券

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

☑ はい

(1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

JP341475BH93

ISIN コード – 債券

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

☑ はい

(1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

JP341475BK72

ISIN コード – 債券

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

☑ はい

(1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

JP341475BL71

ISIN コード – 債券

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

☑ はい

(1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

JP341475CG93

ISIN コード – 債券

(1.6.1) 貴組織はこの固有の市場識別 ID を使用していますか。

選択:

☑ はい

(1.6.2) 貴組織固有の市場識別 ID を提示します

JP341475CL70
[行を追加]

(1.7) 貴組織が事業を運営する国/地域を選択してください。

該当するすべてを選択

☑ チリ
☑ 中国
☑ 日本
☑ タイ
☑ カナダ
☑ フランス
☑ イタリア
☑ メキシコ
☑ オランダ
☑ 大韓民国
☑ エクアドル
☑ ハンガリー
☑ マレーシア
☑ ノルウェー
☑ フィリピン
☑ 台湾(中国)
☑ オーストラリア
☑ ニュージーランド
☑ 香港特別行政区(中国)
☑ アメリカ合衆国（米国）
☑ チェコ
☑ ドイツ
☑ インド
☑ ペルー
☑ ブラジル
☑ スペイン
☑ ベトナム
☑ コロンビア
☑ コスタリカ
☑ デンマーク
☑ ポーランド
☑ スリランカ
☑ アルゼンチン
☑ インドネシア
☑ シンガポール
☑ グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国(英国)

(1.8) 貴組織の施設についての地理位置情報を提供できますか。

(1.8.1) 貴組織の施設についての地理位置情報を提供できますか。

選択:

☑ はい、一部の施設について

(1.8.2) コメント

This list provides location information for Seiko Epson offices and affiliates. Facilities not included in this list are some affiliated companies and branches of affiliated companies, but are small leased properties.
[固定行]

(1.8.1) 貴組織の施設についての地理位置情報をすべて提供してください。

Row 1

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Head Office

(1.8.1.2) 緯度

36.053441

(1.8.1.3) 経度

138.115102

Row 2

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Shinjuku Plant

(1.8.1.2) 緯度

35.689234

(1.8.1.3) 経度

139.70149

Row 3

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Hirooka Plant

(1.8.1.2) 緯度

36.152927

(1.8.1.3) 経度

137.951959

Row 4

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Fujimi Plant

(1.8.1.2) 緯度

35.936918

(1.8.1.3) 経度

138.207244

Row 5

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Suwa Minami Plant

(1.8.1.2) 緯度

35.932436

(1.8.1.3) 経度

138.217333

Row 6

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Shiojiri Plant

(1.8.1.2) 緯度

36.105029

(1.8.1.3) 経度

137.969383

Row 7

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Matsumoto Minami Plant

(1.8.1.2) 緯度

36.158039

(1.8.1.3) 経度

137.976186

Row 8

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Toyoshina Plant

(1.8.1.2) 緯度

36.302507

(1.8.1.3) 経度

137.93012

Row 9

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Ina Plant

(1.8.1.2) 緯度

35.922437

(1.8.1.3) 経度

137.981375

Row 10

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Hino Office

(1.8.1.2) 緯度

35.672129

(1.8.1.3) 経度

139.404145

Row 11

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Sakata Plant

(1.8.1.2) 緯度

38.884787

(1.8.1.3) 経度

139.814495

Row 12

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Chitose Plant

(1.8.1.2) 緯度

42.790328

(1.8.1.3) 経度

141.699172

Row 13

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Kanbayashi Plan

(1.8.1.2) 緯度

36.190331

(1.8.1.3) 経度

137.922326

Row 14

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Osaka Office

(1.8.1.2) 緯度

34.693474

(1.8.1.3) 経度

135.493749

Row 15

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Oita Software Center

(1.8.1.2) 緯度

33.3368

(1.8.1.3) 経度

131.488987

Row 16

(1.8.1.1) ID

Seiko Epson Corp. Sapporo Software Center

(1.8.1.2) 緯度

43.03619

(1.8.1.3) 経度

141.499813

Row 17

(1.8.1.1) ID

Tohoku Epson Corp. Head Office

(1.8.1.2) 緯度

38.884787

(1.8.1.3) 経度

139.814495

Row 18

(1.8.1.1) ID

Akita Epson Corp. Head Office

(1.8.1.2) 緯度

39.204422

(1.8.1.3) 経度

140.498671

Row 19

(1.8.1.1) ID

Miyazaki Epson Corp.

(1.8.1.2) 緯度

31.843367

(1.8.1.3) 経度

131.375137

Row 20

(1.8.1.1) ID

Epson Atmix Corp. Head Office

(1.8.1.2) 緯度

40.538114

(1.8.1.3) 経度

141.505235

Row 21

(1.8.1.1) ID

Epson Atmix Corp. Kita-Inter Plant

(1.8.1.2) 緯度

40.546493

(1.8.1.3) 経度

141.427934

Row 22

(1.8.1.1) ID

Epson Avasys Corp. Head Office

(1.8.1.2) 緯度

36.363437

(1.8.1.3) 経度

138.22757

Row 23

(1.8.1.1) ID

Epson Avasys Corp. Ueda Office

(1.8.1.2) 緯度

36.360368

(1.8.1.3) 経度

138.221103

Row 24

(1.8.1.1) ID

Epson Sales Japan Corp.

(1.8.1.2) 緯度

35.688782

(1.8.1.3) 経度

139.701722

Row 25

(1.8.1.1) ID

Epson Direct Corp.

(1.8.1.2) 緯度

36.11144

(1.8.1.3) 経度

137.950323

Row 26

(1.8.1.1) ID

Epson Repair Corp.

(1.8.1.2) 緯度

35.458523

(1.8.1.3) 経度

134.242694

Row 27

(1.8.1.1) ID

Epson Mizube Corp.

(1.8.1.2) 緯度

36.059804

(1.8.1.3) 経度

138.110602

Row 28

(1.8.1.1) ID

Epson TcFORM Corp.

(1.8.1.2) 緯度

35.493851

(1.8.1.3) 経度

139.682834

Row 29

(1.8.1.1) ID

Epson Service Corp.

(1.8.1.2) 緯度

36.302507

(1.8.1.3) 経度

137.93012

Row 30

(1.8.1.1) ID

Epson Insurance Center Corp.

(1.8.1.2) 緯度

36.053441

(1.8.1.3) 経度

138.115102

Row 31

(1.8.1.1) ID

Epson Logistics Corp.

(1.8.1.2) 緯度

38.884787

(1.8.1.3) 経度

139.814495

Row 32

(1.8.1.1) ID

Epson Swan Corp.

(1.8.1.2) 緯度

38.884153

(1.8.1.3) 経度

139.811875

Row 33

(1.8.1.1) ID

EPSON AMERICA, INC. LOS ALAMITOS

(1.8.1.2) 緯度

33.804118

(1.8.1.3) 経度

-118.077959

Row 34

(1.8.1.1) ID

EPSON AMERICA, INC. HUNTINGTON BEACH

(1.8.1.2) 緯度

33.74538

(1.8.1.3) 経度

-118.034949

Row 35

(1.8.1.1) ID

EPSON AMERICA, INC. INDIANAPOLIS

(1.8.1.2) 緯度

39.703534

(1.8.1.3) 経度

-86.365436

Row 36

(1.8.1.1) ID

EPSON AMERICA, INC. SAN JOSE

(1.8.1.2) 緯度

37.39502

(1.8.1.3) 経度

-121.928233

Row 37

(1.8.1.1) ID

EPSON CANADA LIMITED

(1.8.1.2) 緯度

43.87273

(1.8.1.3) 経度

-79.245102

Row 38

(1.8.1.1) ID

EPSON DO BRASIL INDUSTRIA E COMERCIO LTDA.

(1.8.1.2) 緯度

-23.495573

(1.8.1.3) 経度

-46.835783

Row 39

(1.8.1.1) ID

EPSON PORTLAND INC. HEAD OFFICE

(1.8.1.2) 緯度

45.548269

(1.8.1.3) 経度

-122.890335

Row 40

(1.8.1.1) ID

EPSON PORTLAND INC. LONGVIEW OFFICE

(1.8.1.2) 緯度

46.14722

(1.8.1.3) 経度

-122.987502

Row 41

(1.8.1.1) ID

K-SUN CORPORATION

(1.8.1.2) 緯度

45.133116

(1.8.1.3) 経度

-92.665029

Row 42

(1.8.1.1) ID

EPSON ARGENTINA S.R.L.

(1.8.1.2) 緯度

-34.603702

(1.8.1.3) 経度

-58.373922

Row 43

(1.8.1.1) ID

EPSON RIO DE JANEIRO IMPORTADORA E EXPORTADORA LTDA

(1.8.1.2) 緯度

-22.450416

(1.8.1.3) 経度

-44.369958

Row 44

(1.8.1.1) ID

EPSON CHILE S.A.

(1.8.1.2) 緯度

-33.423382

(1.8.1.3) 経度

-70.617305

Row 45

(1.8.1.1) ID

EPSON COLOMBIA LIMITADA

(1.8.1.2) 緯度

6.21436

(1.8.1.3) 経度

-75.576605

Row 46

(1.8.1.1) ID

EPSON COSTA RICA, SOCIEDAD ANONIMA

(1.8.1.2) 緯度

9.933714

(1.8.1.3) 経度

-84.047348

Row 47

(1.8.1.1) ID

EPSODECUA CIA. LTDA.

(1.8.1.2) 緯度

-0.18565

(1.8.1.3) 経度

-78.482488

Row 48

(1.8.1.1) ID

EPSON DE MEXICO, SOCIEDAD ANONIMA DE CAPITAL VARIABLE

(1.8.1.2) 緯度

21.149889

(1.8.1.3) 経度

-100.129386

Row 49

(1.8.1.1) ID

EPSON PERU S.A.

(1.8.1.2) 緯度

-12.097742

(1.8.1.3) 経度

-77.0187

Row 50

(1.8.1.1) ID

EPSON EUROPE B.V.

(1.8.1.2) 緯度

52.594753

(1.8.1.3) 経度

5.063754

Row 51

(1.8.1.1) ID

EPSON (U.K.) LIMITED

(1.8.1.2) 緯度

51.797575

(1.8.1.3) 経度

-0.48779

Row 52

(1.8.1.1) ID

EPSON DEUTSCHLAND GmbH

(1.8.1.2) 緯度

51.240641

(1.8.1.3) 経度

6.721197

Row 53

(1.8.1.1) ID

EPSON EUROPE ELECTRONICS GmbH

(1.8.1.2) 緯度

48.178147

(1.8.1.3) 経度

11.535527

Row 54

(1.8.1.1) ID

EPSON FRANCE S.A.S.

(1.8.1.2) 緯度

48.90716

(1.8.1.3) 経度

2.315969

Row 55

(1.8.1.1) ID

EPSON IBERICA, S.A.U.

(1.8.1.2) 緯度

41.569528

(1.8.1.3) 経度

2.10033

Row 56

(1.8.1.1) ID

EPSON ITALIA S.p.A.

(1.8.1.2) 緯度

45.562615

(1.8.1.3) 経度

9.23869

Row 57

(1.8.1.1) ID

EPSON TELFORD LIMITED

(1.8.1.2) 緯度

52.717943

(1.8.1.3) 経度

-2.465233

Row 58

(1.8.1.1) ID

EPSON COMO PRINTING TECHNOLIGIES S.R.L. VILLA GUARDIA

(1.8.1.2) 緯度

45.770352

(1.8.1.3) 経度

9.031268

Row 59

(1.8.1.1) ID

EPSON COMO PRINTING TECHNOLIGIES S.R.L. FINO MORNASCO

(1.8.1.2) 緯度

45.746567

(1.8.1.3) 経度

9.042805

Row 60

(1.8.1.1) ID

EPSON HONG KONG LIMITED

(1.8.1.2) 緯度

22.338915

(1.8.1.3) 経度

114.15299

Row 61

(1.8.1.1) ID

EPSON PRECISION（HONG KONG）LIMITED

(1.8.1.2) 緯度

22.282694

(1.8.1.3) 経度

114.175564

Row 62

(1.8.1.1) ID

EPSON ENGINEERING (SHENZHEN) LIMITED

(1.8.1.2) 緯度

22.554459

(1.8.1.3) 経度

113.936268

Row 63

(1.8.1.1) ID

ORIENT WATCH (SHENZHEN) LIMITED

(1.8.1.2) 緯度

22.639151

(1.8.1.3) 経度

114.399376

Row 64

(1.8.1.1) ID

EPSON (CHINA) CO., LTD.

(1.8.1.2) 緯度

39.90998

(1.8.1.3) 経度

116.47966

Row 65

(1.8.1.1) ID

TIANJIN EPSON COMPANY LTD.

(1.8.1.2) 緯度

39.118648

(1.8.1.3) 経度

117.148828

Row 66

(1.8.1.1) ID

EPSON PRECISION SUZHOU CO., LTD.

(1.8.1.2) 緯度

31.311885

(1.8.1.3) 経度

120.527987

Row 67

(1.8.1.1) ID

EPSON WUXI CO.,LTD.

(1.8.1.2) 緯度

31.548771

(1.8.1.3) 経度

120.353937

Row 68

(1.8.1.1) ID

EPSON TAIWAN TECHNOLOGY & TRADING LTD.

(1.8.1.2) 緯度

25.034263

(1.8.1.3) 経度

121.567851

Row 69

(1.8.1.1) ID

EPSON TAIWAN SERVICE NET CO., LTD.

(1.8.1.2) 緯度

22.349335

(1.8.1.3) 経度

114.151589

Row 70

(1.8.1.1) ID

EPSON KOREA CO., LTD.

(1.8.1.2) 緯度

37.499922

(1.8.1.3) 経度

127.035386

Row 71

(1.8.1.1) ID

SEIKO EPSON CORPORATION HONG KONG BRANCH

(1.8.1.2) 緯度

22.368437

(1.8.1.3) 経度

114.136616

Row 72

(1.8.1.1) ID

EPSON INDIA PRIVATE LIMITED

(1.8.1.2) 緯度

13.895109

(1.8.1.3) 経度

77.339298

Row 73

(1.8.1.1) ID

EPSON SINGAPORE PTE LTD

(1.8.1.2) 緯度

1.292973

(1.8.1.3) 経度

103.793188

Row 74

(1.8.1.1) ID

PT. EPSON INDONESIA

(1.8.1.2) 緯度

-6.295182

(1.8.1.3) 経度

106.815239

Row 75

(1.8.1.1) ID

EPSON MALAYSIA SDN. BHD.

(1.8.1.2) 緯度

3.190662

(1.8.1.3) 経度

101.584346

Row 76

(1.8.1.1) ID

EPSON PHILIPPINES CORPORATION

(1.8.1.2) 緯度

14.758959

(1.8.1.3) 経度

121.018474

Row 77

(1.8.1.1) ID

EPSON （THAILAND） COMPANY LIMITED

(1.8.1.2) 緯度

13.73108

(1.8.1.3) 経度

100.550329

Row 78

(1.8.1.1) ID

EPSON VIETNAM COMPANY LIMITED

(1.8.1.2) 緯度

10.800956

(1.8.1.3) 経度

106.71737

Row 79

(1.8.1.1) ID

SINGAPORE EPSON INDUSTRIAL PTE. LTD. MAIN PLANT

(1.8.1.2) 緯度

1.334589

(1.8.1.3) 経度

103.641393

Row 80

(1.8.1.1) ID

SINGAPORE EPSON INDUSTRIAL PTE. LTD. PLATING PLANT

(1.8.1.2) 緯度

1.326158

(1.8.1.3) 経度

103.691228

Row 81

(1.8.1.1) ID

EPSON PRECISION （JOHOR） SDN. BHD.

(1.8.1.2) 緯度

1.515206

(1.8.1.3) 経度

103.730026

Row 82

(1.8.1.1) ID

PT EPSON BATAM

(1.8.1.2) 緯度

1.069511

(1.8.1.3) 経度

104.019875

Row 83

(1.8.1.1) ID

PT. INDONESIA EPSON INDUSTRY

(1.8.1.2) 緯度

-6.327955

(1.8.1.3) 経度

107.116783

Row 84

(1.8.1.1) ID

EPSON PRECISION （PHILIPPINES）, INC.

(1.8.1.2) 緯度

14.011959

(1.8.1.3) 経度

121.173149

Row 85

(1.8.1.1) ID

EPSON PRECISION MALAYSIA SDN.BHD.

(1.8.1.2) 緯度

3.205032

(1.8.1.3) 経度

101.616882

Row 86

(1.8.1.1) ID

EPSON PRECISION （THAILAND） LTD. HEAD OFFICE

(1.8.1.2) 緯度

13.603507

(1.8.1.3) 経度

101.343337

Row 87

(1.8.1.1) ID

EPSON PRECISION （THAILAND） LTD. BRANCH OFFICE 2

(1.8.1.2) 緯度

13.600013

(1.8.1.3) 経度

101.340177

Row 88

(1.8.1.1) ID

EPSON AUSTRALIA PTY. LIMITED

(1.8.1.2) 緯度

-33.390615

(1.8.1.3) 経度

151.35109
[行を追加]

(1.24) 貴組織はバリューチェーンをマッピングしていますか。

(1.24.1) バリューチェーンのマッピング

選択:

☑ はい、バリューチェーンのマッピングが完了している、または現在マッピングしている最中です

(1.24.2) マッピング対象となるバリューチェーン上の段階

該当するすべてを選択

☑ バリューチェーン上流

(1.24.3) マッピングされた最上位のサプライヤー層

選択:

☑ 2 次サプライヤー

(1.24.4) 既知であるが、マッピングされていない最上位のサプライヤー層

選択:

☑ 既知のすべてのサプライヤー層がマッピングされています

(1.24.7) マッピングプロセスと対象範囲の詳細

Epson has begun mapping our upstream value chain, aiming to reduce environmental impact throughout the value chain. We have positioned our top 80% of direct material suppliers in terms of transaction value as major suppliers and targeted them in our survey. We used questionnaires to obtain information on the location of suppliers' production sites. We also collected data on GHG emissions and water consumption and so on from each site. In cases where the primary supplier was a trading company, we asked the manufacturer of the secondary supplier to conduct the survey. In the future, we will extract sensitive locations from supplier sites' location information and material locations from water consumption data and engage in communication with suppliers to manage risks.

[固定行]

(1.24.1) 直接操業またはバリューチェーンのどこかでプラスチックの生産、商品化、使用、または廃棄されているかについてマッピングしましたか。

	プラスチックのマッピング	マッピング対象となるバリューチェーン上の段階
	選択: ☑ はい、バリューチェーンにおけるプラスチックのマッピングが完了している、または現在、マッピングしている最中です	*該当するすべてを選択* ☑ その他、具体的にお答えください :Direct operations

[固定行]

C2. 依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価、管理

(2.1) 貴組織は、貴組織の環境上の依存、インパクト、リスク、機会の特定、評価、管理に関連した短期、中期、長期の時間軸をどのように定義していますか。

短期

(2.1.1) 開始(年)

0

(2.1.3) 終了(年)

10

(2.1.4) この時間軸が戦略計画や財務計画にどのように関連付けられていますか。

The short-term time horizon is defined as roughly 10 years from 2020. This time horizon coincides with the target year (2030) of the interim goals for our Environmental Vision 2050. It also matches that of the SDGs, the global goals for 2030.

中期

(2.1.1) 開始(年)

11

(2.1.3) 終了(年)

50

(2.1.4) この時間軸が戦略計画や財務計画にどのように関連付けられていますか。

The medium-term time horizon is defined as roughly 50 years from 2020. This timeline generally coincides with our vision for where we want the world to be in 2050 in our Environmental Vision 2050.

長期

(2.1.1) 開始(年)

51

(2.1.2) 期間の定めのない長期の時間軸を設けていますか

選択:

☑ はい

(2.1.4) この時間軸が戦略計画や財務計画にどのように関連付けられていますか。

The long-term time horizon is defined as roughly 50 years or more into the future from 2020. We assume long-term changes in future physical risks due to climate change to occur at the end of the 21st century.
[固定行]

(2.2) 貴組織には、環境への依存やインパクトを特定、評価、管理するプロセスがありますか。

	プロセスの有無	このプロセスで評価された依存やインパクト
	選択: ☑ はい	*選択:* ☑ 依存とインパクトの両方

[固定行]

(2.2.1) 貴組織には、環境リスクや機会を特定、評価、管理するプロセスがありますか。

	プロセスの有無	このプロセスで評価されたリスクや機会	このプロセスでは、依存やインパクトの評価プロセスの結果を考慮していますか
	選択: ☑ はい	*選択:* ☑ リスクと機会の両方	*選択:* ☑ はい

[固定行]

(2.2.2) 環境への依存、インパクト、リスク、機会を特定、評価、管理する貴組織のプロセスの詳細を回答してください。

Row 1

(2.2.2.1) 環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動
☑ 水
☑ 生物多様性

(2.2.2.2) この環境課題と関連したプロセスでは、依存、影響、リスク、機会のどれを対象としていますか

該当するすべてを選択

☑ 依存
☑ 影響
☑ リスク
☑ 機会

(2.2.2.3) 対象となるバリューチェーン上の段階

該当するすべてを選択

☑ 直接操業
☑ バリューチェーン上流
☑ バリューチェーン下流

(2.2.2.4) 対象範囲

選択:

☑ 全部

(2.2.2.5) 対象となるサプライヤー層

該当するすべてを選択

☑ 1 次サプライヤー
☑ 2 次サプライヤー

(2.2.2.7) 評価の種類

選択:

☑ 定性、定量評価の両方

(2.2.2.8) 評価の頻度

選択:

☑ 年 1 回

(2.2.2.9) 対象となる時間軸

該当するすべてを選択

☑ 短期
☑ 中期
☑ 長期

(2.2.2.10) リスク管理プロセスの統合

選択:

☑ 部門横断的かつ全社的なリスク管理プロセスへの統合

(2.2.2.11) 使用した地域固有性

該当するすべてを選択

☑ 拠点固有
☑ 近隣地域
☑ 国

(2.2.2.12) 使用したツールや手法

市販/公開されているツール

☑ ENCORE
☑ WRI Aqueduct
☑ WWF Water Risk Filter

企業リスク管理

☑ 企業リスク管理

国際的な方法論や基準

☑ IPCC 気候変動予測

その他

☑ 社外コンサルタント
☑ シナリオ分析

(2.2.2.13) 考慮されたリスクの種類と基準

急性の物理的リスク

☑ 干ばつ

☑ 洪水 (沿岸、河川、多雨、地下水)

慢性の物理的リスク

☑ 地下水資源の枯渇

☑ 気温変動

☑ 流域／集水域レベルでの水利用可能性

☑ 水ストレス

☑ 流域／集水域レベルでの水質

政策

☑ カーボンプライシングメカニズム

☑ これまで規制されていなかった汚染物質に対する規制基準の導入

☑ 水利用効率、保全、リサイクル、またはプロセス基準の義務化

☑ 排水の水質/水量の規制

☑ 法定取水制限／配水量の変更

市場リスク

☑ 原材料の可用性またはコスト増

☑ 顧客行動の変化

☑ 上下水道・衛生サービス（WASH）を十分に利用できないこと

評判リスク

☑ 人体の健康への影響

☑ パートナーやステークホルダーの懸念の増大、パートナーやステークホルダーからの否定的なフィードバック

技術リスク

☑ 低排出技術および製品への移行
☑ 水利用効率性が高く、水集約度の低い技術および製品への移行

法的責任リスク
☑ 訴訟問題
☑ 一時停止措置や自主協定
☑ 規制の不遵守

(2.2.2.14) 考慮されたパートナーやステークホルダー

該当するすべてを選択

☑ 顧客
☑ 従業員
☑ 投資家
☑ 先住民
☑ NGO
☑ 規制当局
☑ 地域コミュニティ
☑ 地域の水道事業者

(2.2.2.15) 報告年の前年以来、このプロセスに変更はありましたか。

選択:
☑ はい

(2.2.2.16) プロセスに関する詳細情報

Operating sites to be assessed: Our risk assessment of the dependencies and impacts across our direct operations covered the 43 major sites, focusing on manufacturing sites. Although this number is about half of the total number of sites indicated in 1.8.1, they represent a significant portion of our environmental impact, as they account for 97% of our GHG emissions. For suppliers upstream in the value chain, we assessed primary or secondary suppliers, which accounted for 80% of the transaction value. With regard to downstream of the value chain, we investigate and analyze laws, standards, and regulations relating to products, and give business units feedback on reducing risks and making the most of opportunities. Integration into the company-wide risk management process: Our dependency and impact assessments are also integrated into risk management for our direct operations. Each year, the CSV/CSR department, together with an external research organization, investigate short- to medium-term tendency of flooding, high tide, and drought using literature, and identify risks based on impact forecasts. The findings are reported to and confirmed by the Corporate Strategy Council and the Board of Directors. These processes are integrated into company-wide risk management

processes such as the BCP. Scope over time and value chain: The risk and opportunity manifestation period is defined as short-term (up to 10 years), medium-term (10-50 years), and long-term (over 50 years). Financial impact is defined as low (less than 1 billion yen), medium (1-10 billion yen), and high (over 10 billion yen). The assessment covers our direct operations and upstream and downstream of our value chain. Scenarios used in the analysis: We conducted scenario analysis based on the TCFD framework to quantify the financial impact of climate-related risks and opportunities on our strategies. We used the 1.5C scenario, which is the rapid progression toward a decarbonized society, and the 4C scenario, which is the progression toward global warming without the world taking any additional measures. Process and related policies for monitoring: Each year, the CSV/CSR department monitors dependencies, impacts, risks, and opportunities based on the TCFD framework. Individual risks are also monitored mainly by the division in charge of environmental issues. As an example, we monitor changes in laws and regulations concerning our products in each country and region, and take necessary measures in cooperation with our business units. Each year we investigate GHG emissions and water consumption at suppliers. Information on basic environmental performance, such as GHG emissions and water withdrawals, is collected from each site and monitored annually for improvements. As part of our Environmental Vision 2050, we decided in March 2021 to invest 100 billion yen over 10 years in decarbonization, closed resource loop, and environmental technology development, and other initiatives on key sustainability topics.
[行を追加]

(2.2.7) 環境への依存、インパクト、リスク、機会間の相互関係を評価していますか。

(2.2.7.1) 環境への依存、インパクト、リスク、機会間の相互関係の評価の有無

選択:

☑ はい

(2.2.7.2) 相互関係の評価方法についての説明

We modeled Epson’s value chain and sorted our interfaces with nature, our dependencies and impacts on nature in upstream, direct operations and downstream stages. We extracted the dependencies and impact factors using ENCORE (an analytical tool) as well as our own viewpoint. In terms of dependencies on nature, we discovered that direct operations rely heavily on water, while stages upstream in the value chain rely more on underground resources. Water, air, and soil are also impacted by our value chain with respect to the natural world. Downstream in the value chain, the use of printers is dependent on the supply of paper.
[固定行]

(2.3) バリューチェーン内の優先地域を特定しましたか。

(2.3.1) 優先地域の特定

選択:

☑ はい、優先地域を現在特定している最中です

(2.3.2) 優先地域が特定されたバリューチェーンの段階

該当するすべてを選択

☑ 直接操業

☑ バリューチェーン上流

(2.3.3) 特定された優先地域の種類

要注意地域

☑ 生物多様性にとって重要な地域

☑ 生態系の十全性が高い地域

☑ 生態系の十全性が急速に低下している地域

☑ 水の利用可能性が低い、洪水による影響が高い、または水質が劣悪な地域

☑ 生態系サービスの提供にとって重要な地域

重大な依存、インパクト、リスク、または機会がある地域

☑ 水に関連する重大な依存、インパクト、リスク、または機会がある地域

(2.3.4) 優先地域を特定したプロセスの説明

A）Identify direct We identify direct operations priority areas in terms of sensitive locations and material locations. Sensitive locations: We used ENCORE (an analytical tool) to map our manufacturing sites and identify sensitive locations, areas susceptible to nature. The results show that 16 sites are located in areas highly likely to be either areas important for biodiversity, areas with physical water risks, or areas of importance for ecosystem service provision. Material locations: We mapped electricity consumption, water withdrawal, and the volume of waste at sites as indicators that measure the size of the impact on the nature at each site. Based on sensitive location and material location evaluations, we identified priority locations. In the future, we will clarify the specific dependencies and impacts on nature in these locations and take necessary measures at these locations. B) Upstream stages For upstream stages of the value chain, we conducted an environmental impact survey of the top 80% of our suppliers in terms of direct material transaction value. Through this survey we grasped the location information of suppliers' production sites and the amount of electricity and water they use. Based on the results, we will continue to assess priority locations upstream.

(2.3.5) 優先地域のリスト/地図を開示しますか

選択:

☑ いいえ、優先地域のリストまたは地図はありますが、開示しません

[固定行]

(2.4) 貴組織は、組織に対する重大な影響をどのように定義していますか。

リスク

(2.4.1) 定義の種類

該当するすべてを選択

☑ 定性的

☑ 定量的

(2.4.2) 重大な影響を定義するための指標

選択:

☑ 資本支出

(2.4.3) 指標の変化

選択:

☑ 絶対値の増加

(2.4.5) 絶対値の増減数

10000000000

(2.4.6) 定義する際に考慮する尺度

該当するすべてを選択

☑ 影響が発生する時間軸

(2.4.7) 定義の適用

Our revenue for FY2023 was 1313.9 billion yen. Of our businesses, our inkjet-related business, which has the closest relationship to climate change risks and opportunities, produced sales revenue of 918.6 billion yen. In terms of our thinking on significant impact, we consider it to be significant if any impact is found and results in a change in sales revenue of approximately 1%. Under our overall company-wide risk management system, we have traditionally responded when discovering an approximately 1% impact on sales, as this is a level that significantly affects the operation of each department, the basic organization for business execution, and we believe that this rule of thumb also applies to climate-related issues. Sales revenue in our inkjet-related business is around 900 billion yen each year. 1% of that amount is roughly 10 billion yen and we use this as our basis for determining significant impact. As there is a stage prior to a major impact, it is vital that we detect and respond to any impact while it is still small to ensure that the subsequent impact is manageable. We consider one 10th of the aforementioned criteria to be effective for impact detection and we have set 1 billion yen (one 10th of 10 billion yen) as the judgment criteria threshold for the next stage.

機会

(2.4.1) 定義の種類

該当するすべてを選択

☑ 定性的

☑ 定量的

(2.4.2) 重大な影響を定義するための指標

選択:

☑ 資本配分

(2.4.3) 指標の変化

選択:

☑ 絶対値の増加

(2.4.5) 絶対値の増減数

10000000000

(2.4.6) 定義する際に考慮する尺度

該当するすべてを選択

☑ 影響が発生する時間軸

(2.4.7) 定義の適用

Our revenue for FY2023 was 1313.9 billion yen. Of our businesses, our inkjet-related business, which has the closest relationship to climate change risks and opportunities, produced sales revenue of 918.6 billion yen. In terms of our thinking on significant impact, we consider it to be significant if any impact is found and results in a change in sales revenue of approximately 1%. Under our overall company-wide risk management system, we have traditionally responded when discovering an approximately 1% impact on sales, as this is a level that significantly affects the operation of each department, the basic organization for business execution, and we believe that this rule of thumb also applies to climate-related issues. Sales revenue in our inkjet-related business is around 900 billion yen each year. 1% of that amount is roughly 10 billion yen and we use this as our basis for determining significant impact. As there is a stage prior to a major impact, it is vital that we detect and respond to any impact while it is still small to ensure that the subsequent impact is manageable. We consider one 10th of the aforementioned criteria to be effective for impact detection and we have set 1 billion yen (one 10th of 10 billion yen) as the judgment criteria threshold for the next stage.

[行を追加]

(2.5) 貴組織では、事業活動に関連し、水の生態系や人間の健康に有害となりうる潜在的水質汚染物質を、どのように特定、分類していますか。

(2.5.1) 潜在的な水質汚染物質の特定と分類

選択:

☑ はい、潜在的な水質汚染物質を特定・分類しています

(2.5.2) 潜在的な水質汚染物質をどのように特定・分類していますか

Epson's Regulations on Pollution Prevention identify substances specified by countries and regions as being water pollutants for each operating site. Substances specified by countries and regions are revised from time to time, and we believe that responding to these revisions will lead to the identification and classification of potential water pollutants. As an example, the water quality of water discharged from our sites in Japan is analyzed for items specified in the Water Pollution Prevention Act, and the method and frequency of such analysis is based on the details stipulated in the Act. For example, the Act stipulates that the discharge standard for cadmium and its compounds be 0.03 mg Cd/L, and that measurement be taken at least once a year. Epson controls half of these values as self-

management values and one-tenth as operational control values, and takes measurements multiple times a year.
[固定行]

(2.5.1) 水の生態系や人間の健康に悪影響を及ぼす、事業活動に伴う潜在的な水質汚染物質について、貴組織ではどのようにその影響を最小限に抑えているか説明してください。

Row 1

(2.5.1.1) 水質汚染物質カテゴリー

選択:

☑ 無機汚染物質

(2.5.1.2) 水質汚染物質と潜在的影響の説明

Epson's Pollution Prevention and Control Regulations identify substances designated by the government and regions as water pollutants for each site of operation. Substances designated by the Water Pollution Prevention Act (part): Cd, Pb, Cr, As, F, CN compounds, mercury and alkylmercury and other mercury compounds, organic phosphorus compounds, benzene and other toxic organic substances, etc. Examples of the adverse effects of these on ecosystems and the human body include the following. Heavy metals: When contained in excess in the human body, they can cause health problems such as vomiting and dizziness. In Japan, they have been the cause of pollution such as Itai-itai disease in the past. In water, they can inhibit the growth of living organisms and upset the balance of the ecosystem. Cyanides: When contained in the human body, they can cause health problems such as headaches and difficulty breathing. Mercury, alkyl mercury, and other mercury compounds: They are neurotoxic and harmful to the human body. Organic mercury in particular is easily absorbed by the human body. They have been the cause of pollution such as Minamata disease in the past. In water, they bioaccumulate and accumulate to high concentrations through the food chain. Harmful organic substances such as benzene: They are carcinogenic, and long-term exposure can cause blood disorders such as leukemia. They are highly volatile and tend to spread over a wide area.

(2.5.1.3) バリューチェーン上の段階

該当するすべてを選択

☑ 直接操業

☑ バリューチェーン上流

(2.5.1.4) 悪影響を最小限に抑えるための行動と手順

該当するすべてを選択

☑ 資源回復
☑ 水のリサイクル
☑ 規制要件を超えるコンプライアンス
☑ 統合型土壌廃棄物管理システムの導入
☑ 産業/化学品事故の防止、対策、対応のレジリエンスの評価
☑ 有害物質の削減または段階的使用停止
☑ サプライヤーに規制要件準拠を義務付け
☑ プロセスを行うための設備/方法のアップグレード
☑ 規制要件準拠を徹底するためのセクター固有のプロセスを用いた排水処理
☑ 重要インフラおよび貯蔵施設の状態(漏出、流出、パイプの腐食等)およびそ

(2.5.1.5) 説明してください

Water quality tests are conducted regularly on water discharged from the operating sites to check that it meets the required water quality standards for each discharge destination. This will be the biggest success or failure assessment. In addition, we conduct necessary treatment of discharged water, including secondary and tertiary treatment, depending on route to be taken by the discharged water. Recyclable discharged water is recycled to increase water use efficiency. These processing facilities/methods are being upgraded to further reduce the environmental impact. For example, Epson Engineering Shenzhen Ltd. (China), which received the President's Award in FY2023, improved cleaning process using purified water and reduced purified water consumption by 17.6%. We are developing infrastructure such as dikes, secondary receptacles, and double piping as measures to prevent leaks. In addition, emergency response preparations and drills are regularly conducted to be prepared in the event of a leak. We have established regulations for waste management, and we strive to promote recycling while sorting waste for collection at each site and proper disposing of waste in accordance with the regulations of each country. We confirm that suppliers agree to and are in compliance with the RBA Code of Conduct, which sets forth a code of conduct that goes beyond regulatory requirements to improve the water and working environments.
[行を追加]

C3. リスクおよび機会の開示

(3.1) 報告年の間に貴組織に重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすと考えられる何らかの環境リスクを特定していますか。

気候変動

(3.1.1) 環境リスクの特定

選択:

☑ はい、直接操業とバリューチェーン上流／下流の両方において特定

水

(3.1.1) 環境リスクの特定

選択:

☑ はい、直接操業とバリューチェーン上流／下流の両方において特定

プラスチック

(3.1.1) 環境リスクの特定

選択:

☑ いいえ

(3.1.2) 貴組織が直接操業やバリューチェーン上流/下流に環境リスクがないと判断した主な理由

選択:

☑ 評価中

(3.1.3) 説明してください

Regulations on plastics are becoming stricter and stricter every year. For example, regulations on Expanded Poly-Styrene (EPS) are becoming stricter, and there is a possibility that EPS may no longer be used as a packaging material. These risks have not been quantitatively evaluated at this time.
[固定行]

(3.1.1) 報告年の間に貴組織にを重大な影響を及ぼした、あるいは将来的に重大な影響を及ぼすことが見込まれると特定された環境リスクの詳細を記載してください。

気候変動

(3.1.1.1) リスク識別 ID

選択:

☑ Risk1

(3.1.1.3) リスクの種類と主な環境リスク要因

法的責任リスク

☑ 規制への非遵守

(3.1.1.4) リスクが発生するバリューチェン上の段階

選択:

☑ バリューチェーン下流

(3.1.1.6) リスクが発生する国/地域

該当するすべてを選択

☑ 中国
☑ 日本
☑ カナダ
☑ ドイツ
☑ フランス
☑ スペイン
☑ ベトナム
☑ デンマーク
☑ ハンガリー
☑ マレーシア
☑ フィンランド
☑ シンガポール
☑ スウェーデン
☑ 台湾(中国)
☑ アメリカ合衆国（米国）
☑ ギリシャ
☑ イタリア
☑ メキシコ
☑ オランダ
☑ 大韓民国
☑ ノルウェー
☑ ポーランド
☑ ポルトガル
☑ スロバキア
☑ スロベニア

(3.1.1.9) リスクに関する組織固有の詳細

The countries and regions where we sell our products have strict energy-efficiency standards enforced through national ecolabels and legislation. Failure to develop products that meet these standards or delays in bringing them to market could result in significant loss of sales revenue. Low-energy functionality is essential for environmental labels, and products with high energy efficiency emit less greenhouse gases. Public procurers, such as government agencies, often require national ecolabels in tenders, and failing to meet these requirements would limit market opportunities. Epson has shifted its strategic focus from business-to-consumer to business-to-business, where ecolabels are crucial. For example, from FY2019, ENERGY STAR adopted stricter energy-saving standards for inkjet printers and MFPs, which are key products for Epson. Meeting these standards is vital to maintain market share. The criteria for these programs are regularly tightened, necessitating continuous information gathering and technology development. We monitor the eco-labels of the countries, regions, etc. indicated in this question. Epson's printers and projectors must comply with the European ErP Directive to avoid losing the European market, which accounts for 22% of sales revenue. New energy-saving standards for EPEAT in the US also pose a risk, as non-compliance would impact sales opportunities in the US market, which represents 33% of sales revenue.

(3.1.1.11) リスクの主な財務的影響

選択:

☑ 売上構成や収入源の変化

(3.1.1.12) このリスクが組織に重大な影響を及ぼすと考えられる時間軸

該当するすべてを選択

☑ 中期

(3.1.1.13) 想定される時間軸でこのリスクが影響を及ぼす可能性

選択:

☑ 5 割を超える確率で

(3.1.1.14) 影響の程度

選択:

☑ やや高い

(3.1.1.16) 選択した将来的の時間軸において、当該リスクが組織の財務状況、業績およびキャッシュフローに及ぼすことが考えられる影響

Epson’s sales revenue in FY2023 was 13139 billion yen. Of our sales revenue,650.8 billion yen was in our office and commercial-use printer business, and since89% came from inkjet printers, 89% of 650.8 billion yen (580.3 billion yen) is the sales revenue for such inkjet printers. Of our inkjet printers, products for business use, which are likely to be subject to public procurement and laws and regulations, account for more than 50% of sales revenue. When aggregating Epson’s market across the four regions of Europe, Japan, the Americas, and Asia/Oceania, the European market accounts for about one-fifth of our sales revenue. If we are late in getting products eco-labelled, we will miss out on public procurement opportunities, and financial performance would suffer as a result. Specifically, failure to comply with strict European regulations would translate to lost opportunities of up to 58.0 billion JPY. The basis for this calculation is business uses sales revenue accounting for 50% of the 580.3 billion yen and one-fifth of that being the lost sales opportunities. 580.3 billion yen x 0.5 x 0.2 58.0 billion yen

(3.1.1.17) リスクの財務的影響を定量化することができますか。

選択:

☑ はい

(3.1.1.21) 中期的に見込まれる財務上の影響額ー最小（通貨）

1

(3.1.1.22) 中期的に見込まれる財務上の影響額ー最大（通貨）

58000000000

(3.1.1.25) 財務上の影響額の説明

Epson’s sales revenue in FY2023 was 13139 billion yen. Of our sales revenue,650.8 billion yen was in our office and commercial-use printer business, and since89% came from inkjet printers, 89% of 650.8 billion yen (580.3 billion yen) is the sales revenue for such inkjet printers. Of our inkjet printers, products for business use, which are likely to be subject to public procurement and laws and regulations, account for more than 50% of sales revenue. When aggregating Epson’s market across the four regions of Europe, Japan, the Americas, and Asia/Oceania, the European market accounts for about one-fifth of our sales revenue. If we are late in getting products eco-labelled, we will miss out on public procurement opportunities, and financial performance would suffer as a result. Specifically, failure to comply with strict European regulations would translate to lost opportunities of up to 58.0 billion JPY. The basis for this calculation is business uses sales revenue accounting for 50% of the 580.3 billion yen and one-fifth of that being the lost sales opportunities. 580.3 billion yen x 0.5 x 0.2 58.0 billion yen

(3.1.1.26) リスクへの主な対応

法令順守、モニタリング、目標

☑ 規制要件への順守強化

(3.1.1.27) リスク対応費用

150000000

(3.1.1.28) 費用計算の説明

The number of employees engaged in the research of policy and regulatory trends and the study of countermeasures is equivalent to 20 man-hours. Since Epson's average annual salary is about 7.5 million yen, the management cost required will be 7.5 million yen x 20 150 million yen.

(3.1.1.29) 対応の詳細

We manage this risk by holding meetings to investigate policy and regulatory trends, and to consider the need for action and what form that action should take. Such

meetings, held monthly, are organized by the Environmental Planning Dep. and attended by employees in charge from each business units. We collect information on the introduction of new policies and regulations as well as changes to existing ones mainly from two routes: 1) Affiliated industrial associations 2) Employees working at locally incorporated companies The compiled information is analysed by the Environmental Planning Dep. in collaboration with related internal Departments and response measures are considered. Response measures are decided in consultation with the business unit or locally incorporated company that will introduce the measures. For example, in Australia, in March 2021, the government announced the National Plastics Plan 2021, which outlines a policy to phase out styrene foam used in packaging for consumer products. As far as Epson is concerned, styrene foam is essential to ensure cushioning when transporting products that use many mechanical parts. Our production planning department at headquarters constantly exchanges information with our local subsidiary in Australia, and we have asked the product strategy departments and technology development departments at our business units to come up with alternative solutions.

水

(3.1.1.1) リスク識別 ID

選択:

☑ Risk2

(3.1.1.3) リスクの種類と主な環境リスク要因

急性の物理的リスク

☑ 干ばつ

(3.1.1.4) リスクが発生するバリューチェン上の段階

選択:

☑ 直接操業

(3.1.1.6) リスクが発生する国/地域

該当するすべてを選択

☑ 中国

☑ 日本

☑ タイ

☑ インドネシア

☑ ブラジル

☑ フィリピン

(3.1.1.7) リスクが発生する河川流域

該当するすべてを選択

☑ 最上川

☑ その他、具体的にお答えください **:**Tiete, Cikarang, Laguna Lake, Bang Pakong, Taihu Lake, Haihe River

(3.1.1.9) リスクに関する組織固有の詳細

We assessed water risks for all production sites using the World Resources Institute's (WRI) Aqueduct and the World Wide Fund for Nature's (WWF) Water Risk Filter, two of the global standards for water risk assessment. The results indicated that eight production sites in Japan, China, Southeast Asia, and South America are located in areas under water stress. Our production is heavily dependent on water. In addition, we need to provide adequate WASH services to workers working at production sites. If water is not available in a region due to drought and other factors, there is a risk that production capacity will fall, and in the worst case, production will be suspended. At the nine sites identified as being in water stress areas, we checked the local water risk situation through questionnaires and interviews. In addition, we interviewed local agencies that supply water to these production sites. As a result, we confirmed that the impact of water shortages on operations at these sites is limited. Furthermore, an assessment of drought risk in a future (end of the 21st century) as climate change progresses identified that changes in operational risk in the future will be limited.

(3.1.1.11) リスクの主な財務的影響

選択:

☑ 生産能力低下による減収

(3.1.1.12) このリスクが組織に重大な影響を及ぼすと考えられる時間軸

該当するすべてを選択

☑ 短期

☑ 中期

☑ 長期

(3.1.1.13) 想定される時間軸でこのリスクが影響を及ぼす可能性

選択:

☑ 可能性が非常に低い

(3.1.1.14) 影響の程度

選択:

☑ 低い

(3.1.1.16) 選択した将来的の時間軸において、当該リスクが組織の財務状況、業績およびキャッシュフローに及ぼすことが考えられる影響

An assessment of drought risk in a future (end of the 21st century) as climate change progresses identified that changes in operational risk in the future will be limited. Climate-related risks in the 1.5C scenario is low (less than 1 billion yen).

(3.1.1.17) リスクの財務的影響を定量化することができますか。

選択:

☑ はい

(3.1.1.19) 短期的に見込まれる財務上の影響額ー最小（通貨）

1

(3.1.1.20) 短期的に見込まれる財務上の影響額ー最大（通貨）

1000000000

(3.1.1.21) 中期的に見込まれる財務上の影響額ー最小（通貨）

1

(3.1.1.22) 中期的に見込まれる財務上の影響額ー最大（通貨）

1000000000

(3.1.1.23) 長期的に見込まれる財務上の影響額ー最小 (通貨)

1

(3.1.1.24) 長期的に見込まれる財務上の影響額ー最大 (通貨)

1000000000

(3.1.1.25) 財務上の影響額の説明

An assessment of drought risk in a future (end of the 21st century) as climate change progresses identified that changes in operational risk in the future will be limited. Climate-related risks in the 1.5C scenario is low (less than 1 billion yen). Epson's FY2023 sales revenue was 1313.9 billion yen. This is the amount of money that would be required if a facility with annual sales revenue of 50 billion yen, which is equivalent to about 4% of Epson's FY2023 sales revenue, were to suspend operations for approximately one week. 50 billion yen/year 50 weeks 1 billion yen.

(3.1.1.26) リスクへの主な対応

エンゲージメント

☑ サプライヤーとの協働

(3.1.1.27) リスク対応費用

360000000

(3.1.1.28) 費用計算の説明

One of the measures we can take internally to address environmental issues related to water is to invest in facilities for proper water management. In FY2023, capital investment related to water was approximately 360 million yen.

(3.1.1.29) 対応の詳細

We interviewed with local agencies that supply water to these production sites and confirmed that the impact of water shortages on operations at these sites is limited. As a response to operational risks due to drought, we properly manage water use and conduct regular monitoring of local water supply conditions.

[行を追加]

(3.1.2) 報告年における環境リスクがもたらす重大な影響に脆弱な財務指標の額と割合を記入してください。

気候変動

(3.1.2.1) 財務的評価基準

選択:

☑ 売上

(3.1.2.2) この環境課題に対する移行リスクに脆弱な財務指標の額 (質問 1.2 で選択したものと同じ通貨単位で)

58000000000

(3.1.2.3) この環境課題に対する移行リスクに脆弱な財務指標の全体に対する割合 (%)

選択:

☑ 1～10%

(3.1.2.4) この環境課題に対する物理的リスクに脆弱な財務指標の額 (質問 1.2 で選択したものと同じ通貨単位で)

0

(3.1.2.5) この環境課題に対する物理的リスクに脆弱な財務指標の全体に対する割合 (%)

選択:

☑ 1%未満

(3.1.2.7) 財務数値の説明

Epson’s sales revenue in FY2023 was 13139 billion yen. Of our sales revenue,650.8 billion yen was in our office and commercial-use printer business, and since89%

came from inkjet printers, 89% of 650.8 billion yen (580.3 billion yen) is the sales revenue for such inkjet printers. Of our inkjet printers, products for business use, which are likely to be subject to public procurement and laws and regulations, account for more than 50% of sales revenue. When aggregating Epson's market across the four regions of Europe, Japan, the Americas, and Asia/Oceania, the European market accounts for about one-fifth of our sales revenue. If we are late in getting products eco-labelled, we will miss out on public procurement opportunities, and financial performance would suffer as a result. Specifically, failure to comply with strict European regulations would translate to lost opportunities of up to 58.0 billion JPY. The basis for this calculation is business uses sales revenue accounting for 50% of the 580.3 billion yen and one-fifth of that being the lost sales opportunities. 580.3 billion yen x 0.5 x 0.2 58.0 billion yen. The number of employees engaged in the research of policy and regulatory trends and the study of countermeasures is equivalent to 20 man-hours. Since Epson's average annual salary is about 7.5 million yen, the management cost required will be 7.5 million yen x 20 150 million yen.

水

(3.1.2.1) 財務的評価基準

選択:

☑ 売上

(3.1.2.2) この環境課題に対する移行リスクに脆弱な財務指標の額 (質問 1.2 で選択したものと同じ通貨単位で)

0

(3.1.2.3) この環境課題に対する移行リスクに脆弱な財務指標の全体に対する割合 (%)

選択:

☑ 1%未満

(3.1.2.4) この環境課題に対する物理的リスクに脆弱な財務指標の額 (質問 1.2 で選択したものと同じ通貨単位で)

1000000000

(3.1.2.5) この環境課題に対する物理的リスクに脆弱な財務指標の全体に対する割合 (%)

選択:

☑ 1%未満

(3.1.2.7) 財務数値の説明

We recognize the operational risk due to drought as a physical risk in terms of water-related environmental issues, and we have analyzed the amount of this financial indicator to be less than 1 billion yen. Epson's sales revenue in FY2023 was 1313.9 billion yen. This is the amount that would be expected if a site with annual sales revenue on a scale of 50 billion yen, equivalent to about 4% of the total sales revenue, were to suspend operations for about one week. 50 billion yen per year translates into 1 billion per week for 50 weeks. One way to respond to water-related environmental issues within the company is to invest in equipment for proper water management. Capital investment related to water in FY2023 was approximately 360 million yen.
[行を追加]

(3.2) 各河川流域には、水関連リスクの重大な影響にさらされている施設はいくつありますか。これは施設総数のどれぐらいの割合を占めていますか。

Row 1

(3.2.1) 国/地域および河川流域

日本
☑ 最上川

(3.2.2) この河川流域でリスクにさらされている施設が特定されたバリューチェーンの段階

該当するすべてを選択
☑ 直接操業

(3.2.3) 貴組織の直接操業内のこの河川流域における水関連リスクにさらされている施設の数

1

(3.2.4) 貴組織の自社事業内の総施設数に占める、この河川流域における水関連リスクにさらされている施設の割合 (%)

選択:

☑ 1～25%

(3.2.10) 貴組織のグローバルな総売上のうち、影響を受ける可能性のある売上の割合 (%)

選択:

☑ 1～10%

(3.2.11) 説明してください

We assessed water risks for all production sites using the World Resources Institute's (WRI) Aqueduct and the World Wide Fund for Nature's (WWF) Water Risk Filter, two of the global standards for water risk assessment. The results indicated that nine production sites in Japan, China, Southeast Asia, and South America are located in areas under water stress. Our production is heavily dependent on water. For these sites, we have surveyed the situation through questionnaires and interviews with local personnel and local institutions that supply water to the production sites, and have confirmed that the risk of drought is low. However, for these areas, we will continue to monitor the local water environment on a regular basis.

Row 2

(3.2.1) 国/地域および河川流域

ブラジル

☑ その他、具体的にお答えください **:**Tiete

(3.2.2) この河川流域でリスクにさらされている施設が特定されたバリューチェーンの段階

該当するすべてを選択

☑ 直接操業

(3.2.3) 貴組織の直接操業内のこの河川流域における水関連リスクにさらされている施設の数

1

(3.2.4) 貴組織の自社事業内の総施設数に占める、この河川流域における水関連リスクにさらされている施設の割合 (%)

選択:

☑ 1～25%

(3.2.10) 貴組織のグローバルな総売上のうち、影響を受ける可能性のある売上の割合 (%)

選択:

☑ 1%未満

(3.2.11) 説明してください

We assessed water risks for all production sites using the World Resources Institute's (WRI) Aqueduct and the World Wide Fund for Nature's (WWF) Water Risk Filter, two of the global standards for water risk assessment. The results indicated that nine production sites in Japan, China, Southeast Asia, and South America are located in areas under water stress. Our production is heavily dependent on water. For these sites, we have surveyed the situation through questionnaires and interviews with local personnel and local institutions that supply water to the production sites, and have confirmed that the risk of drought is low. However, for these areas, we will continue to monitor the local water environment on a regular basis.

Row 3

(3.2.1) 国/地域および河川流域

インドネシア

☑ その他、具体的にお答えください :Cikarang

(3.2.2) この河川流域でリスクにさらされている施設が特定されたバリューチェーンの段階

該当するすべてを選択

☑ 直接操業

(3.2.3) 貴組織の直接操業内のこの河川流域における水関連リスクにさらされている施設の数

1

(3.2.4) 貴組織の自社事業内の総施設数に占める、この河川流域における水関連リスクにさらされている施設の割合 (%)

選択:

☑ 1～25%

(3.2.10) 貴組織のグローバルな総売上のうち、影響を受ける可能性のある売上の割合 (%)

選択:

☑ 1～10%

(3.2.11) 説明してください

We assessed water risks for all production sites using the World Resources Institute's (WRI) Aqueduct and the World Wide Fund for Nature's (WWF) Water Risk Filter, two of the global standards for water risk assessment. The results indicated that nine production sites in Japan, China, Southeast Asia, and South America are located in areas under water stress. Our production is heavily dependent on water. For these sites, we have surveyed the situation through questionnaires and interviews with local personnel and local institutions that supply water to the production sites, and have confirmed that the risk of drought is low. However, for these areas, we will continue to monitor the local water environment on a regular basis.

Row 4

(3.2.1) 国/地域および河川流域

フィリピン

☑ その他、具体的にお答えください **:**Laguna Lake

(3.2.2) この河川流域でリスクにさらされている施設が特定されたバリューチェーンの段階

該当するすべてを選択

☑ 直接操業

(3.2.3) 貴組織の直接操業内のこの河川流域における水関連リスクにさらされている施設の数

1

(3.2.4) 貴組織の自社事業内の総施設数に占める、この河川流域における水関連リスクにさらされている施設の割合 (%)

選択:

☑ 1～25%

(3.2.10) 貴組織のグローバルな総売上のうち、影響を受ける可能性のある売上の割合 (%)

選択:

☑ 1～10%

(3.2.11) 説明してください

We assessed water risks for all production sites using the World Resources Institute's (WRI) Aqueduct and the World Wide Fund for Nature's (WWF) Water Risk Filter, two of the global standards for water risk assessment. The results indicated that nine production sites in Japan, China, Southeast Asia, and South America are located in areas under water stress. Our production is heavily dependent on water. For these sites, we have surveyed the situation through questionnaires and interviews with local personnel and local institutions that supply water to the production sites, and have confirmed that the risk of drought is low. However, for these areas, we will continue to monitor the local water environment on a regular basis.

Row 5

(3.2.1) 国/地域および河川流域

タイ

☑ その他、具体的にお答えください **:**Bang Pakong

(3.2.2) この河川流域でリスクにさらされている施設が特定されたバリューチェーンの段階

該当するすべてを選択

☑ 直接操業

(3.2.3) 貴組織の直接操業内のこの河川流域における水関連リスクにさらされている施設の数

2

(3.2.4) 貴組織の自社事業内の総施設数に占める、この河川流域における水関連リスクにさらされている施設の割合 (%)

選択:

☑ 1～25%

(3.2.10) 貴組織のグローバルな総売上のうち、影響を受ける可能性のある売上の割合 (%)

選択:

☑ 1～10%

(3.2.11) 説明してください

We assessed water risks for all production sites using the World Resources Institute's (WRI) Aqueduct and the World Wide Fund for Nature's (WWF) Water Risk Filter, two of the global standards for water risk assessment. The results indicated that nine production sites in Japan, China, Southeast Asia, and South America are located in areas under water stress. Our production is heavily dependent on water. For these sites, we have surveyed the situation through questionnaires and interviews with local personnel and local institutions that supply water to the production sites, and have confirmed that the risk of drought is low. However, for these areas, we will continue to monitor the local water environment on a regular basis.

Row 6

(3.2.1) 国/地域および河川流域

中国

☑ その他、具体的にお答えください **:**Taihu Lake

(3.2.2) この河川流域でリスクにさらされている施設が特定されたバリューチェーンの段階

該当するすべてを選択

☑ 直接操業

(3.2.3) 貴組織の直接操業内のこの河川流域における水関連リスクにさらされている施設の数

2

(3.2.4) 貴組織の自社事業内の総施設数に占める、この河川流域における水関連リスクにさらされている施設の割合 (%)

選択:

☑ 1～25%

(3.2.10) 貴組織のグローバルな総売上のうち、影響を受ける可能性のある売上の割合 (%)

選択:

☑ 1～10%

(3.2.11) 説明してください

We assessed water risks for all production sites using the World Resources Institute's (WRI) Aqueduct and the World Wide Fund for Nature's (WWF) Water Risk Filter, two of the global standards for water risk assessment. The results indicated that nine production sites in Japan, China, Southeast Asia, and South America are located in areas under water stress. Our production is heavily dependent on water. For these sites, we have surveyed the situation through questionnaires and interviews with local personnel and local institutions that supply water to the production sites, and have confirmed that the risk of drought is low. However, for these areas, we will continue to monitor the local water environment on a regular basis.

Row 7

(3.2.1) 国/地域および河川流域

中国

☑ その他、具体的にお答えください **:**Haihe River

(3.2.2) この河川流域でリスクにさらされている施設が特定されたバリューチェーンの段階

該当するすべてを選択

☑ 直接操業

(3.2.3) 貴組織の直接操業内のこの河川流域における水関連リスクにさらされている施設の数

1

(3.2.4) 貴組織の自社事業内の総施設数に占める、この河川流域における水関連リスクにさらされている施設の割合 (%)

選択:

☑ 1～25%

(3.2.10) 貴組織のグローバルな総売上のうち、影響を受ける可能性のある売上の割合 (%)

選択:

☑ 1～10%

(3.2.11) 説明してください

We assessed water risks for all production sites using the World Resources Institute's (WRI) Aqueduct and the World Wide Fund for Nature's (WWF) Water Risk Filter, two of the global standards for water risk assessment. The results indicated that nine production sites in Japan, China, Southeast Asia, and South America are located in areas under water stress. Our production is heavily dependent on water. For these sites, we have surveyed the situation through questionnaires and interviews with local personnel and local institutions that supply water to the production sites, and have confirmed that the risk of drought is low. However, for these areas, we will continue to monitor the local water environment on a regular basis.

[行を追加]

(3.3) 報告年の間に、貴組織は水関連の規制違反を理由として罰金、行政指導等、その他の処罰を科されましたか。

	水関連規制に関する違反	コメント
	選択: ☑ いいえ	*We have not been fined, administratively directed, or otherwise penalized for violations of water-related regulations.*

[固定行]

(3.5) 貴組織の事業や活動はカーボンプライシング制度 (ETS、キャップ・アンド・トレード、炭素税) による規制を受けていますか。

選択:

☑ はい

(3.5.1) 貴組織の事業活動に影響を及ぼすカーボンプライシング規制を選択してください。

該当するすべてを選択

☑ 深センパイロット ETS

(3.5.2) 貴組織が規制を受けている各排出量取引制度 (ETS) の詳細を記載してください。

深センパイロット ETS

(3.5.2.1) ETS の対象とされるスコープ 1 排出量の割合

1.1

(3.5.2.2) ETS の対象とされるスコープ 2 排出量の割合

0

(3.5.2.3) 期間開始日

12/31/2022

(3.5.2.4) 期間終了日

12/30/2023

(3.5.2.5) 割当量

30927

(3.5.2.6) 購入した許可量

0

(3.5.2.7) CO2 換算トン単位の検証されたスコープ 1 排出量

1354.71

(3.5.2.8) CO2 換算トン単位の検証されたスコープ 2 排出量

0

(3.5.2.9) 所有権の詳細

選択:

☑ 私たちが所有して運用している施設

(3.5.2.10) コメント

In the Shenzhen Pilot ETS, we have been able to reduce emissions beyond the regulations.
[固定行]

(3.5.4) 規制を受けている、あるいは規制を受けることが見込まれる制度に準拠するための貴組織の戦略を回答してください。

In March 2021, we revised our Environmental Vision 2050 which describes our vision for where we want to be in 2050.In this vision, we aim to become carbon negative in Scopes 1, 2, and 3 by 2050 by working to decarbonize and recycle resources, providing products and services that reduce our environmental impact, and developing environmental technologies.As a strategy, we will change our emission targets for Scopes 1, 2, and 3 from a 2C scenario to a 1.5C scenario to promote further emission controls and decarbonization. This strategy includes regulated sites, and promoting the strategy will lead to compliance with the system (Shenzhen pilot ETS) in which we are participating. The main emission reduction measures in this strategy are the use of renewable energy, energy conservation at facilities, and the elimination of greenhouse gases. To date, we have built up measures to reduce emissions at regulated sites by more than 500 tons of CO2 in total, including energy conservation at facilities, facility upgrades, and production process improvements. We are currently planning to install solar power generation systems to further reduce emissions.

(3.6) 報告年の間に貴組織に大きな影響を与えた、あるいは将来的に貴組織に大きな影響を与えることが見込まれる何らかの環境上の機会を特定していますか。

	特定された環境上の機会
気候変動	*選択:* ☑ はい、機会を特定しており、その一部/すべてが実現されつつあります
水	*選択:* ☑ はい、機会を特定しており、その一部/すべてが実現されつつあります

[固定行]

(3.6.1) 報告年の間に貴組織に大きな影響を与えた、あるいは将来的に貴組織に大きな影響を与えることが見込まれる特定された環境上の機会の詳細を記載してください。

気候変動

(3.6.1.1) 機会 ID

選択:

☑ Opp1

(3.6.1.3) 機会の種類と主な環境機会要因

市場

☑ ブランド価値の向上

(3.6.1.4) 機会が発現するバリューチェーン上の段階

選択:

☑ バリューチェーン下流

(3.6.1.5) 機会が発現する国/エリア

該当するすべてを選択

☑ チリ
☑ 中国
☑ 日本
☑ カナダ
☑ ドイツ
☑ メキシコ
☑ オランダ
☑ 大韓民国
☑ スペイン
☑ ベトナム
☑ ハンガリー
☑ マレーシア
☑ ノルウェー
☑ フィリピン
☑ ポーランド
☑ オーストラリア
☑ ニュージーランド
☑ 香港特別行政区(中国)
☑ アメリカ合衆国（米国）
☑ グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国(英国)
☑ インド
☑ ペルー
☑ ブラジル
☑ フランス
☑ イタリア
☑ コロンビア
☑ コスタリカ
☑ クロアチア
☑ デンマーク
☑ エクアドル
☑ スリランカ
☑ アルゼンチン
☑ インドネシア
☑ シンガポール
☑ 台湾(中国)

(3.6.1.8) 組織固有の詳細

he Corporate Strategy Council and the Board of Directors confirmed that maintaining and reinforcing a strategy of “Achieve sustainability in a circular economy” and “Advancing the frontiers of industry”, with a focus on inkjet innovation using our proprietary technology, is an important climate-related opportunity. Realizing these strategies by leveraging the inkjet technology we have developed over the years to the full to expand our existing and new inkjet businesses creates opportunities. “Advancing the frontiers of industry” in particular is central to creating climate-related opportunities and we are working on: - Realizing resource-saving and highly-efficient production processes, and - collaboration and open innovation focused on inkjet print heads By realizing resource-saving and highly-efficient production processes, we hope to enhance performance and develop the market for conventional inkjet printers, focusing on large capacity ink tank printers and digital textile printers.

(3.6.1.9) 当該機会の主な財務的影響

選択:

☑ 商品とサービスに対する需要増加に起因する売上増加

(3.6.1.10) 当該機会が組織に大きな影響を与えると見込まれる時間軸

該当するすべてを選択

☑ 中期

(3.6.1.11) 想定される時間軸の間に当該機会が影響を与える可能性

選択:

☑ 可能性が高い (66～100%)

(3.6.1.12) 影響の程度

選択:

☑ やや高い

(3.6.1.14) 選択した将来的な時間軸において、当該機会が組織の財務状況、業績およびキャッシュフローに与えることが見込まれる影響

Printers used in offices were typically electrophotographic printers. However, printing methods using inkjet technologies consume much less power and they are increasingly being used in offices. We have also launched a high-capacity ink tank printer. High-capacity systems not only dramatically reduce the frequency of ink

refills and improve user convenience, but they also dramatically reduce the cartridges and other resources required for ink replacement and refilling.

(3.6.1.15) 当該機会の財務上の影響を定量化することができますか。

選択:

☑ はい

(3.6.1.19) 中期的に見込まれる財務上の影響額 - 最小 (通貨)

1

(3.6.1.20) 中期的に見込まれる財務上の影響額 - 最大 (通貨)

447800000000

(3.6.1.23) 財務上の影響額の説明

Our sales revenue from office and home printing in FY2023 was 650.8 billion yen, 89% of which was from inkjet printer sales. We sold 15.55 million printers, 77% of which were high-capacity ink tank printers. This means that high-capacity ink tank printer sales revenue could have exceeded 447.8 billion yen (650.8 x 0.89 x 0.77 447.8 billion yen, Epson's policy prevents us from disclosing the exact figure). The unit price of printers is higher for high-capacity ink tank printers, and therefore sales revenue should have been higher than the sales volume ratio. Replacing conventional electrophotographic printers with inkjet-type high-capacity ink tank printers will reduce carbon dioxide emissions and thus sales revenue for this type of printer has a financial impact of climate-related opportunities.

(3.6.1.24) 機会を実現するための費用

100000000000

(3.6.1.25) 費用計算の説明

To accomplish our material issues of "Achieve sustainability in a circular economy" and "Advancing the frontiers of industry", we will further strengthen and develop our proprietary inkjet technologies, including commercial and industrial printing, print head field sales, and production systems. Hoping to realize this opportunity, in March 2021 we announced plans to invest 100 billion yen over the next 10 years, until 2030, to achieve decarbonization, closed resource loop, and develop environmental technologies. We invested 4.53 billion yen during FY2022 in the expansion of products using recycled plastic and the acquisition of a site for a new plant to recycle metal powder as a raw material for unprocessed products, etc. In addition to this 100 billion yen, we will focus most of our management resources on the development of products and services that contribute to reducing our environmental impact. Inkjet innovation is at the heart of these products and services.

(3.6.1.26) 機会を実現するための戦略

To accomplish our material issues of “Achieve sustainability in a circular economy” and “Advancing the frontiers of industry”, we will further strengthen and develop our proprietary inkjet technologies, including commercial and industrial printing, print head field sales, and production systems. Hoping to realize this opportunity, in March 2021 we announced plans to invest 100 billion yen over the next 10 years, until 2030, to achieve decarbonization, closed resource loop, and develop environmental technologies. We invested 4.79 billion yen during FY2023 in the expansion of products using recycled plastic and the acquisition of a site for a new plant to recycle metal powder as a raw material for unprocessed products, etc. In addition to this 100 billion yen, we will focus most of our management resources on the development of products and services that contribute to reducing our environmental impact. Inkjet innovation is at the heart of these products and services.

水

(3.6.1.1) 機会 ID

選択:

☑ Opp2

(3.6.1.3) 機会の種類と主な環境機会要因

製品およびサービス

☑ 製品使用による水資源への影響低減

(3.6.1.4) 機会が発現するバリューチェーン上の段階

選択:

☑ バリューチェーン下流

(3.6.1.5) 機会が発現する国/エリア

該当するすべてを選択

☑ チリ
☑ 中国
☑ 日本
☑ ドイツ
☑ インド
☑ ペルー

☑ タイ
☑ カナダ
☑ イタリア
☑ メキシコ
☑ オランダ
☑ 大韓民国
☑ スペイン
☑ エクアドル
☑ ハンガリー
☑ マレーシア
☑ ノルウェー
☑ フィリピン
☑ 台湾(中国)
☑ オーストラリア
☑ 香港特別行政区(中国)
☑ アメリカ合衆国（米国）
☑ グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国(英国)
☑ ブラジル
☑ フランス
☑ ベトナム
☑ コロンビア
☑ コスタリカ
☑ クロアチア
☑ デンマーク
☑ ポーランド
☑ スリランカ
☑ アルゼンチン
☑ インドネシア
☑ シンガポール

(3.6.1.6) 機会が発現する河川流域

該当するすべてを選択

☑ 不明

(3.6.1.8) 組織固有の詳細

Under our long-term vision, Epson 25 Renewed, our commercial and industrial printing business is considered as a growth area, and we plan to invest management resources in this area, by considering changes in our business environment to be opportunities. In this area, we are leading the digitalization of printing using inkjet technology and diverse solutions, aiming to reduce environmental impact and improve productivity. One such product, the Monna Lisa series of digital textile printer dispenses functional ink at the necessary point in the printing process, thereby eliminating the need for a separate pretreatment process. This process does not require the steaming or washing required for dye printing, and thus the amount of water used can be significantly reduced, contributing to a reduction in environmental impact through the sustainable printing process.

(3.6.1.9) 当該機会の主な財務的影響

選択:

☑ 新市場と新興市場への参入を通じた売上増加

(3.6.1.10) 当該機会が組織に大きな影響を与えると見込まれる時間軸

該当するすべてを選択

☑ 中期

(3.6.1.11) 想定される時間軸の間に当該機会が影響を与える可能性

選択:

☑ 可能性が非常に高い (90〜100%)

(3.6.1.12) 影響の程度

選択:

☑ 高い

(3.6.1.14) 選択した将来的な時間軸において、当該機会が組織の財務状況、業績およびキャッシュフローに与えることが見込まれる影響

We expect a 15% CAGR by 2025 with respect to opportunities in the growth areas in Epson 25 Renewed. In this area, we have achieved a CAGR of 14.7% in terms of revenue from FY2020 to FY2023.

(3.6.1.15) 当該機会の財務上の影響を定量化することができますか。

選択:

☑ はい

(3.6.1.19) 中期的に見込まれる財務上の影響額 - 最小 (通貨)

1

(3.6.1.20) 中期的に見込まれる財務上の影響額 - 最大 (通貨)

10000000000

(3.6.1.23) 財務上の影響額の説明

Our assessment of climate-related risks and opportunities, based on scenario analysis, anticipates that the financial impact of expanding growth areas in Epson 25 Renewed is high (10 billion yen or more).

(3.6.1.24) 機会を実現するための費用

100000000000

(3.6.1.25) 費用計算の説明

We plan to invest 100 billion yen over the 10 years to 2030 for the goals and actions set forth in the Environmental Vision 2050, including the achievement of this business strategy.

(3.6.1.26) 機会を実現するための戦略

We launched the new Monna Lisa digital textile printing machine ML-32000 series in FY2022. We have entered into a partnership with the fashion brand YUIMA NAKAZATO and since 2023 we have been supporting the presentation of their new collection for the Paris Haute Couture Fashion Week.
[行を追加]

(3.6.2) 報告年の間の、環境上の機会がもたらす大きな影響と整合する財務指標の額と比率を記入してください。

気候変動

(3.6.2.1) 財務的評価基準

選択:

☑ 売上

(3.6.2.2) この環境課題に対する機会と整合する財務指標の額 (1.2 で選択したものと同じ通貨単位で)

943300000000

(3.6.2.3) この環境課題に対する機会と整合する財務指標の全体に対する割合 (%)

選択:

☑ 71～80%

(3.6.2.4) 財務数値の説明

Epson Group’s revenue in FY2023 was 1,313.9 billion yen. Of this, the revenue of the printing solutions business (office and home printing, commercial and industrial printing), which we designated as a growth area under Epson 25 Renewed, and manufacturing solutions was 943.3 billion yen.

水

(3.6.2.1) 財務的評価基準

選択:

☑ 売上

(3.6.2.2) この環境課題に対する機会と整合する財務指標の額 (1.2 で選択したものと同じ通貨単位で)

267900000000

(3.6.2.3) この環境課題に対する機会と整合する財務指標の全体に対する割合 (%)

選択:

☑ 1～10%

(3.6.2.4) 財務数値の説明

Epson Group’s revenue in FY2023 was 1313.9 billion yen. Of this, the revenue of the commercial and industrial printing business related to water risk, one of the

growth areas under Epson 25 Renewed, was 267.9 billion yen in FY2023.
[行を追加]

C4. ガバナンス

(4.1) 貴組織は取締役会もしくは同等の管理機関を有していますか。

(4.1.1) 取締役会または同等の管理機関

選択:

☑ はい

(4.1.2) 取締役会または同等の機関が開催される頻度

選択:

☑ 四半期に 1 回以上の頻度で

(4.1.3) 取締役会または同等の機関の構成メンバー (取締役) の種類

該当するすべてを選択

☑ 常勤取締役またはそれに準ずる者
☑ 非常勤取締役またはそれに準ずる者
☑ 独立社外取締役またはそれに準ずる者

(4.1.4) 取締役会の多様性とインクルージョンに関する方針

選択:

☑ はい、公開された方針があります。

(4.1.5) 当該方針の対象範囲を簡潔に記載してください。

Our policy regarding the Board of Directors is indicated in our Corporate Governance Policy. Article 18 (Composition of the Board of Directors) of Chapter 5 indicates our diversity policy: Epson believes that a diverse Board of Directors is useful for facilitating substantive board discussions that cover all angles and shall maintain a

board that is well-balanced and composed of persons who combine a broad spectrum of knowledge, experience, and skill in their respective areas of expertise, without regard to gender, race, ethnicity, country of origin, nationality, cultural background, age, etc.

(4.1.6) 方針を添付してください (任意)

4.1_epson_governance_policy_e.pdf
[固定行]

(4.1.1) 貴組織では、取締役会レベルで環境課題を監督していますか。

	この環境課題に対する取締役会レベルの監督
気候変動	*選択:* ☑ はい
水	*選択:* ☑ はい
生物多様性	*選択:* ☑ はい

[固定行]

(4.1.2) 環境課題に対する説明責任を負う取締役会のメンバーの役職 (ただし個人名は含めないこと) または委員会を特定し、環境課題を取締役会がどのように監督しているかについての詳細を記入してください。

気候変動

(4.1.2.1) この環境課題に説明責任を負う個人の役職または委員会

該当するすべてを選択

☑ 最高経営責任者(CEO)

(4.1.2.2) この環境課題に対する各役職の説明責任は取締役会を対象とする方針の中で規定されています

選択:

☑ はい

(4.1.2.3) この環境課題に対する当該役職の説明責任を規定する方針類

該当するすべてを選択

☑ 取締役会を対象とするその他の方針、具体的にお答えください

(4.1.2.4) この環境課題が議題に予定されている頻度

選択:

☑ 一部の取締役会で予定される議題 – 少なくとも年に一度

(4.1.2.5) この環境課題が組み込まれたガバナンスメカニズム

該当するすべてを選択

☑ 企業目標設定の監督
☑ 年間予算の審議と指導
☑ シナリオ分析の監督と指導
☑ 事業戦略策定の監督と指導
☑ 事業戦略実行のモニタリング
☑ 政策エンゲージメントの監督と指導
☑ 政策エンゲージメントの監督と指導
☑ 買収/合併/事業売却の監督と指導
☑ 従業員インセンティブの承認と監督
☑ 企業目標に向けての進捗状況のモニタリング
☑ 気候移行計画策定の監督と指導
☑ 開示、監査、検証プロセスの監督
☑ 全社方針やコミットメントの承認
☑ 気候移行計画実行のモニタリング
☑ 大規模な資本的支出の監督と指導
☑ 技術革新/研究開発の優先事項の審議と指導
☑ 依存、インパクト、リスク、機会の評価プロセスの審議と指導
☑ 全社的な方針やコミットメントに対する遵守状況のモニタリング
☑ 組織の定める要件に対するサプライヤーの遵守状況のモニタリング

(4.1.2.7) 説明してください

The Board of Directors makes decisions on basic business policies, important business affairs, and other matters that the Board is responsible for deciding as provided for in internal regulations. Business affairs that the Board is not responsible for deciding are delegated to executive management, and the Board monitors these. Matters discussed by the Board are limited to those of the highest importance (e.g., governance, capital policy, compliance, risk management, deliberations on megatrends and mid- to long-term strategies). Environmental initiatives, including climate change and water risks, are positioned as one of the highest important issues and the executive officer in charge of the environment regularly reports the status of progress in achieving SBTs and other matters to the Board. Management meeting bodies have been established to execute operations. Among them is the Corporate Strategy Council, which usually meets about once a week to have directors, executive officers, and special audit & supervisory officers exhaustively discuss important business themes that affect the entire Epson Group and agenda items brought up before the Board. Environmental initiatives, including climate change and water risks, are positioned as an important business theme, and the executive officer in charge of the environment regularly reports to the Corporate Strategy Council. In FY2023, the Council deliberates on quarterly progress reports on climate change, setting targets for reducing total greenhouse gas emissions in line with the 1.5C scenario as an interim target for 2030, formulating a medium-term environmental action plan for each reduction measure to achieve the target, such as the use of renewable energy and energy-saving products, and investment costs.

水

(4.1.2.1) この環境課題に説明責任を負う個人の役職または委員会

該当するすべてを選択

☑ 最高経営責任者(CEO)

(4.1.2.2) この環境課題に対する各役職の説明責任は取締役会を対象とする方針の中で規定されています

選択:

☑ はい

(4.1.2.3) この環境課題に対する当該役職の説明責任を規定する方針類

該当するすべてを選択

☑ 取締役会を対象とするその他の方針、具体的にお答えください

(4.1.2.4) この環境課題が議題に予定されている頻度

選択:

☑ 一部の取締役会で予定される議題 – 少なくとも年に一度

(4.1.2.5) この環境課題が組み込まれたガバナンスメカニズム

該当するすべてを選択

☑ 企業目標設定の監督
☑ 年間予算の審議と指導
☑ シナリオ分析の監督と指導
☑ 事業戦略策定の監督と指導
☑ 事業戦略実行のモニタリング
☑ 政策エンゲージメントの監督と指導
☑ 政策エンゲージメントの監督と指導
☑ 買収/合併/事業売却の監督と指導
☑ 従業員インセンティブの承認と監督
☑ 企業目標に向けての進捗状況のモニタリング
☑ 気候移行計画策定の監督と指導
☑ 開示、監査、検証プロセスの監督
☑ 全社方針やコミットメントの承認
☑ 気候移行計画実行のモニタリング
☑ 大規模な資本的支出の監督と指導
☑ 技術革新/研究開発の優先事項の審議と指導
☑ 依存、インパクト、リスク、機会の評価プロセスの審議と指導
☑ 全社的な方針やコミットメントに対する遵守状況のモニタリング
☑ 組織の定める要件に対するサプライヤーの遵守状況のモニタリング

(4.1.2.7) 説明してください

The Board of Directors makes decisions on basic business policies, important business affairs, and other matters that the Board is responsible for deciding as provided for in internal regulations. Business affairs that the Board is not responsible for deciding are delegated to executive management, and the Board monitors these. Matters discussed by the Board are limited to those of the highest importance (e.g., governance, capital policy, compliance, risk management, deliberations on megatrends and mid- to long-term strategies). Environmental initiatives, including water-related issues, are also considered one of the highest important issues. Management meeting bodies have been established to execute operations. Among them is the Corporate Strategy Council, which usually meets about once a week to have directors, executive officers, and special audit & supervisory officers discuss important business themes that affect the entire Epson Group and agenda items brought up before the Board of Directors. Environmental initiatives, including climate change and water-related issues, are positioned as an important business theme, and the executive officer in charge of the environment regularly reports to the Corporate Strategy Council. The Corporate Strategy Council reviews targets and strategies related to environmental initiatives and discusses associated budgets and plans, and submits the results of its discussions to the Board of Directors.

生物多様性

(4.1.2.1) この環境課題に説明責任を負う個人の役職または委員会

該当するすべてを選択

☑ 最高経営責任者(CEO)

(4.1.2.2) この環境課題に対する各役職の説明責任は取締役会を対象とする方針の中で規定されています

選択:

☑ はい

(4.1.2.3) この環境課題に対する当該役職の説明責任を規定する方針類

該当するすべてを選択

☑ 取締役会を対象とするその他の方針、具体的にお答えください

(4.1.2.4) この環境課題が議題に予定されている頻度

選択:

☑ 一部の取締役会で予定される議題 – 少なくとも年に一度

(4.1.2.5) この環境課題が組み込まれたガバナンスメカニズム

該当するすべてを選択

☑ 依存、インパクト、リスク、機会の評価プロセスの審議と指導
☑ 開示、監査、検証プロセスの監督
☑ 全社方針やコミットメントの承認
☑ 全社的な方針やコミットメントに対する遵守状況のモニタリング

(4.1.2.7) 説明してください

The Board of Directors makes decisions on basic business policies, important business affairs, and other matters that the Board is responsible for deciding as provided for in internal regulations. Business affairs that the Board is not responsible for deciding are delegated to executive management, and the Board monitors these. Matters discussed by the Board are limited to those of the highest importance (e.g., governance, capital policy, compliance, risk management, deliberations on megatrends and mid- to long-term strategies). Environmental initiatives, including biodiversity issues, are also considered one of the highest importance issues. We are in the process of reviewing our policies and targets on biodiversity.

[固定行]

(4.2) 貴組織の取締役会は、環境課題に対する能力を有していますか。

気候変動

(4.2.1) この環境課題に対する取締役会レベルの能力

選択:

☑ はい

(4.2.2) 取締役会が環境課題に関する能力を維持するためのメカニズム

該当するすべてを選択

☑ 社内の専門家による常設ワーキンググループに定期的に助言を求めています。
☑ 環境課題に関し、組織外のステークホルダーや専門家と定期的にエンゲージメントを行っています。
☑ 環境課題に関する知識を、取締役の指名プロセスに組み込んでいます。
☑ 取締役向けに、環境課題や業界のベストプラクティス、基準 (TCFD、SBTi 等) に関する定期的な研修を行っています。
☑ この環境課題に関して専門的知見を有する取締役会メンバーが少なくとも 1 人います。

(4.2.3) 取締役会メンバーの環境関連の専門知識

経験

☑ 環境課題に重点を置いた職務における役員レベルの経験

水

(4.2.1) この環境課題に対する取締役会レベルの能力

選択:

☑ はい

(4.2.2) 取締役会が環境課題に関する能力を維持するためのメカニズム

該当するすべてを選択

☑ 社内の専門家による常設ワーキンググループに定期的に助言を求めています。
☑ 環境課題に関し、組織外のステークホルダーや専門家と定期的にエンゲージメントを行っています。
☑ 環境課題に関する知識を、取締役の指名プロセスに組み込んでいます。
☑ 取締役向けに、環境課題や業界のベストプラクティス、基準 (TCFD、SBTi 等) に関する定期的な研修を行っています。
☑ この環境課題に関して専門的知見を有する取締役会メンバーが少なくとも 1 人います。

(4.2.3) 取締役会メンバーの環境関連の専門知識

経験

☑ 環境課題に重点を置いた職務における管理職レベルの経験

[固定行]

(4.3) 貴組織では、経営レベルで環境課題に責任を負っていますか。

	この環境課題に対する経営レベルの責任
気候変動	*選択:* ☑ はい
水	*選択:* ☑ はい

	この環境課題に対する経営レベルの責任
生物多様性	*選択:* ☑ はい

[固定行]

(4.3.1) 環境課題に責任を負う経営層で最上位の役職または委員会を記入してください (個人の名前は含めないでください)。

気候変動

(4.3.1.1) 責任を有する個人の役職/委員会

役員レベル

☑ 最高経営責任者(CEO)

(4.3.1.2) この役職が負う環境関連の責任

依存、インパクト、リスクおよび機会

☑ 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会の評価

☑ 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会に関する今後のトレンドに関する評価

☑ 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会の管理

エンゲージメント

☑ ランドスケープ/管轄区域におけるエンゲージメントの管理

☑ 環境課題に関する政策エンゲージメントの管理

☑ 環境関連の要求事項に対するサプライヤーのコンプライアンス管理
☑ 環境課題に関連したバリューチェーン・エンゲージメントの管理

方針、コミットメントおよび目標
☑ 全社の環境方針および/またはコミットメントに対する遵守状況のモニタリング
☑ 全社的な環境方針および/またはコミットメントの策定
☑ 全社的な環境目標の設定

戦略と財務計画
☑ 気候移行計画の作成
☑ 気候移行計画の実行
☑ 環境関連のシナリオ分析の実施
☑ 環境課題を考慮した事業戦略の策定
☑ 環境課題に関連した年次予算の管理
☑ 環境関連の開示、監査、検証プロセスの管理
☑ 環境課題に関連した企業買収、合併、事業売却の管理
☑ 環境課題に関連した主要な資本支出および/または OPEX の管理
☑ イノベーション/低環境負荷製品またはサービス (R&D を含む) に関連した優先事項の管理

その他
☑ 環境実績に関連した従業員インセンティブの提供

(4.3.1.4) 報告系統（レポーティングライン）

選択:
☑ 最高経営責任者 (CEO) に報告

(4.3.1.5) 環境課題に関して取締役会に報告が行われる頻度

選択:
☑ 四半期に 1 回

(4.3.1.6) 説明してください

CEO: The Corporate Strategy Council, chaired by the CEO meets on a weekly basis to deliberate important business affairs as an advisory body to the CEO. The Council was established to allow Directors, Executive Officers, and Special Audit & Supervisory Officers to exhaustively discuss important business themes that affect the entire Epson Group and matters brought up before the Board of Directors. Environmental initiatives, including climate change and water risk, are positioned as an important business theme, and the executive officer in charge of the environment regularly reports to the Corporate Strategy Council. The Council discusses reviews to corporate strategies for the environmental initiatives, and revisions to budgets and business plans in line with such reviews, and then submits the result of their discussions to the Board of Directors.

水

(4.3.1.1) 責任を有する個人の役職/委員会

役員レベル

☑ 最高経営責任者(CEO)

(4.3.1.2) この役職が負う環境関連の責任

依存、インパクト、リスクおよび機会

☑ 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会の評価

☑ 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会に関する今後のトレンドに関する評価

☑ 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会の管理

エンゲージメント

☑ ランドスケープ/管轄区域におけるエンゲージメントの管理

☑ 環境課題に関する政策エンゲージメントの管理

☑ 環境関連の要求事項に対するサプライヤーのコンプライアンス管理

☑ 環境課題に関連したバリューチェーン・エンゲージメントの管理

方針、コミットメントおよび目標

☑ 全社の環境方針および/またはコミットメントに対する遵守状況のモニタリング

☑ 全社的な環境方針および/またはコミットメントの策定

☑ 全社的な環境目標の設定

戦略と財務計画

☑ 気候移行計画の作成
☑ 気候移行計画の実行
☑ 環境関連のシナリオ分析の実施
☑ 環境課題を考慮した事業戦略の策定
☑ 環境課題に関連した年次予算の管理
☑ 環境関連の開示、監査、検証プロセスの管理
☑ 環境課題に関連した企業買収、合併、事業売却の管理
☑ 環境課題に関連した主要な資本支出および/または OPEX の管理
☑ イノベーション/低環境負荷製品またはサービス (R&D を含む) に関連した優先事項の管理

その他

☑ 環境実績に関連した従業員インセンティブの提供

(4.3.1.4) 報告系統（レポーティングライン）

選択:

☑ 最高経営責任者 (CEO) に報告

(4.3.1.5) 環境課題に関して取締役会に報告が行われる頻度

選択:

☑ 四半期に 1 回

(4.3.1.6) 説明してください

CEO: The Corporate Strategy Council, chaired by the CEO meets on a weekly basis to deliberate important business affairs as an advisory body to the CEO. The Council was established to allow Directors, Executive Officers, and Special Audit & Supervisory Officers to exhaustively discuss important business themes that affect the entire Epson Group and matters brought up before the Board of Directors. Environmental initiatives, including climate change and water risk, are positioned as an important business theme, and the executive officer in charge of the environment regularly reports to the Corporate Strategy Council. The Council discusses reviews to corporate strategies for the environmental initiatives, and revisions to budgets and business plans in line with such reviews, and then submits the result of their discussions to the Board of Directors.

生物多様性

(4.3.1.1) 責任を有する個人の役職/委員会

役員レベル

☑ 最高経営責任者(CEO)

(4.3.1.2) この役職が負う環境関連の責任

依存、インパクト、リスクおよび機会

☑ 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会の評価

☑ 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会に関する今後のトレンドに関する評価

☑ 環境への依存、インパクト、リスクおよび機会の管理

エンゲージメント

☑ ランドスケープ/管轄区域におけるエンゲージメントの管理

☑ 環境課題に関する政策エンゲージメントの管理

☑ 環境関連の要求事項に対するサプライヤーのコンプライアンス管理

☑ 環境課題に関連したバリューチェーン・エンゲージメントの管理

方針、コミットメントおよび目標

☑ 全社的な環境方針および/またはコミットメントの策定

戦略と財務計画

☑ 環境課題に関連した事業戦略の実行

☑ イノベーション/低環境負荷製品またはサービス (R&D を含む) に関連した優先事項の管理

☑ 環境課題に関連した年次予算の管理

☑ 環境関連の開示、監査、検証プロセスの管理

☑ 環境課題に関連した企業買収、合併、事業売却の管理

☑ 環境課題に関連した主要な資本支出および/または OPEX の管理

その他

☑ 環境実績に関連した従業員インセンティブの提供

(4.3.1.4) 報告系統（レポーティングライン）

選択:

☑ 最高経営責任者 (CEO) に報告

(4.3.1.5) 環境課題に関して取締役会に報告が行われる頻度

選択:

☑ 四半期に 1 回

(4.3.1.6) 説明してください

CEO: The Corporate Strategy Council, chaired by the CEO meets on a weekly basis to deliberate important business affairs as an advisory body to the CEO. The Council was established to allow Directors, Executive Officers, and Special Audit & Supervisory Officers to exhaustively discuss important business themes that affect the entire Epson Group and matters brought up before the Board of Directors. Environmental initiatives, including climate change and water risk, are positioned as an important business theme, and the executive officer in charge of the environment regularly reports to the Corporate Strategy Council. The Council discusses reviews to corporate strategies for the environmental initiatives, and revisions to budgets and business plans in line with such reviews, and then submits the result of their discussions to the Board of Directors.

[行を追加]

(4.5) 目標達成を含め、環境課題の管理に対して金銭的インセンティブを提供していますか?

気候変動

(4.5.1) この環境課題に関連した金銭的インセンティブの提供

選択:

☑ はい

(4.5.2) この環境課題の管理に関連した役員および取締役会レベルの金銭的インセンティブが全体に占める比率 (%)

16

(4.5.3) 説明してください

Total annual compensation is multiplied by a coefficient based on the degree of achievement of indicators such as company-wide ROIC and sustainability targets, aiming to share the benefits and risks of share price fluctuations with shareholders and to increase incentives for share price appreciation, sustainable growth, and medium- to long-term corporate value enhancement. Specifically, we have set a KPI for our decarbonization initiatives, a key sustainability topic, as one of the above indicators. The achievement of (1) Scope 1 and 2 GHG emissions (total) reduction rates and (2) Scope 3 GHG emissions (emissions intensity per business profit) reduction rates are linked to compensation evaluation indicators. The decarbonization indicators set as KPIs for key sustainability topics are consistent with the science-based target (SBT) in line with the 1.5C scenario, which Epson has set as an intermediate goal to achieve our goal of being carbon negative by 2050.

水

(4.5.1) この環境課題に関連した金銭的インセンティブの提供

選択:

☑ はい

(4.5.2) この環境課題の管理に関連した役員および取締役会レベルの金銭的インセンティブが全体に占める比率 (%)

16

(4.5.3) 説明してください

In FY2022, the compensation system for executives was revised to introduce restricted stock-based compensation. Total annual compensation is multiplied by a coefficient based on the degree of achievement of indicators such as company-wide ROIC and sustainability targets, aiming to share the benefits and risks of share price fluctuations with shareholders and to increase incentives for share price appreciation, sustainable growth, and medium- to long-term corporate value enhancement. One of these sustainability indicators assesses the degree of achievement of our Environmental Vision 2050. To fulfill our social responsibility, we have set the topic of realizing responsible supply chains, and we have set CSR risk levels of our major suppliers, including proper water management, as a KPI.
[固定行]

(4.5.1) 環境課題の管理に対して提供される金銭的インセンティブについて具体的にお答えください **(**ただし個人の名前は含めないでください**)** 。

気候変動

(4.5.1.1) 金銭的インセンティブの対象となる役職

取締役会または役員レベル

☑ 取締役

(4.5.1.2) インセンティブ

該当するすべてを選択

☑ ボーナス – 一定金額

(4.5.1.3) 実績指標

目標

☑ 環境目標達成に向けた進捗

排出量削減

☑ 排出削減イニシアチブの実施

☑ 排出原単位の削減

☑ 総量削減

(4.5.1.4) 当該インセンティブが紐づけられているインセンティブプラン

選択:

☑ 短期インセンティブプランまたは同等のもののみ (契約による年次ボーナス等)

(4.5.1.5) インセンティブに関する追加情報

From the perspective of creating a more practical sustainability governance structure, monetary awards for board members is restricted stock compensation linked to the 4 sustainability key theme indicator items which are tied to materiality.

(4.5.1.6) 当該の役職に対するインセンティブは、どのような形で貴組織の環境関連のコミットメントおよび/または気候関連の移行計画達成に寄与していますか。

We have identified the following material issues as our highly important issues to be addressed by Epson in order to solve social issues: 1) Achieve sustainability in a circular economy, 2) advance the frontiers of industry, 3) improve the quality of life, and 4) fulfill our social responsibility. In order to make initiatives for our material issues effective, we have established key sustainability topics and are steadily promoting them by setting KPIs. To achieve sustainability in a circular economy, we work to enhance resource circularity and curb climate change by effectively using resources such as electricity, energy, and water, and by reducing the use of underground resources, which we believe will lead to a sustainable economy. Decarbonization is one of our key sustainability topics, and we have set the reduction of Scope 1 and 2 GHG emissions, and Scope 3 GHG emissions (intensity per business profit) as KPIs. To fulfill our social responsibility, we have set realizing responsible supply chains as a key sustainability topic, and we have set CSR risk levels of our major suppliers, including setting decarbonization targets and reducing GHG emissions, as KPIs.

水

(4.5.1.1) 金銭的インセンティブの対象となる役職

取締役会または役員レベル

☑ 取締役

(4.5.1.2) インセンティブ

該当するすべてを選択

☑ ボーナス – 一定金額

(4.5.1.3) 実績指標

目標

☑ 環境目標達成に向けた進捗

汚染

☑ 排水の水質改善 – バリューチェーン上流 (直接操業内を除く)

(4.5.1.4) 当該インセンティブが紐づけられているインセンティブプラン

選択:

☑ 短期インセンティブプランまたは同等のもののみ (契約による年次ボーナス等)

(4.5.1.5) インセンティブに関する追加情報

From the perspective of creating a more practical sustainability governance structure, monetary awards for board members is restricted stock compensation linked to the 4 sustainability key theme indicator items which are tied to materiality.

(4.5.1.6) 当該の役職に対するインセンティブは、どのような形で貴組織の環境関連のコミットメントおよび/または気候関連の移行計画達成に寄与していますか。

We have identified the following material issues as our highly important issues to be addressed by Epson in order to solve social issues: 1) Achieve sustainability in a circular economy, 2) advance the frontiers of industry, 3) improve the quality of life, and 4) fulfill our social responsibility. In order to make initiatives for our material issues effective, we have established key sustainability topics and are steadily promoting them by setting KPIs. To achieve sustainability in a circular economy, we work to enhance resource circularity and curb climate change by effectively using resources such as electricity, energy, and water, and by reducing the use of underground resources, which we believe will lead to a sustainable economy. Closed resource-loop initiatives is one of our key sustainability topics. To fulfill our social responsibility, we have set realizing responsible supply chains as a key sustainability topic, and we have set CSR risk levels of our major suppliers, including proper water management, as a KPI.
[行を追加]

(4.6) 貴組織は、環境課題に対処する環境方針を有していますか。

	貴組織は環境方針を有していますか。
	選択: ☑ はい

[固定行]

(4.6.1) 貴組織の環境方針の詳細を記載してください。

Row 1

(4.6.1.1) 対象となる環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

☑ 水

☑ 生物多様性

(4.6.1.2) 対象範囲のレベル

選択:

☑ 組織全体

(4.6.1.3) 対象となるバリューチェーン上の段階

該当するすべてを選択

☑ 直接操業

☑ バリューチェーン上流

☑ バリューチェーン下流

(4.6.1.4) 対象範囲について説明してください。

Epson has established Environmental Vision 2050 as its company-wide, long-term environmental policy. Epson's stated aspiration for the future is “to realize a sustainable and spiritually rich society. Epson is a member of the Responsible Business Alliance (RBA), a global association of companies in the electronics industry that promotes CSR. We link our own key sustainability themes to the goals of the SDGs. As part of its Socially Responsible Procurement Program, Epson uses its own questionnaire (SAQ) based on the RBA's auditing standards to fulfill its social responsibility, including environmental considerations, throughout its supply chain. The President (CEO) name has been used to express Epson's commitment to the SDGs. These cover all Epson Group organizations.

(4.6.1.5) 環境方針の内容

環境に関するコミットメント

☑ 循環経済に向けた戦略に対するコミットメント

☑ 規制および遵守が必須な基準の遵守に対するコミットメント
☑ 規制遵守を超えた環境関連の対策を講じることに対するコミットメント
☑ 全体で損失を出さない宣言
☑ ステークホルダーエンゲージメントと環境課題に関するキャパシティビルディングに対するコミットメント

気候に特化したコミットメント
☑ 再生可能エネルギー100%に対するコミットメント
☑ ネットゼロ排出に対するコミットメント

水に特化したコミットメント
☑ 有害物質の削減または段階的な使用停止に対するコミットメント
☑ 水質汚染の管理/削減/根絶に対するコミットメント
☑ 取水量削減に対するコミットメント
☑ 地元コミュニティにおける安全に管理された水衛生 (WASH) に対するコミットメント
☑ 淡水生態系を保全するためのコミットメント

社会的コミットメント
☑ 国際的に認められた人権の尊重に対するコミットメント

追加的言及/詳細
☑ 水と衛生に関する人権の存在の認識
☑ 自然資源および生態系への依存の詳細
☑ 調達のための環境関連要求事項の詳細
☑ 自然資源および生態系へのインパクトの詳細
☑ 再生可能エネルギー由来の電気の調達慣行の詳細
☑ 期限を決めた環境関連のマイルストーンと目標についての言及
☑ 政策に影響を与えようと努める組織に対するメンバーシップおよび資金的サポートの詳細

(4.6.1.6) 貴組織の環境方針がグローバルな環境関連条約または政策目標に整合したものであるかどうかを記載してください。

該当するすべてを選択

☑ はい、パリ協定に整合しています。

☑ はい、SDGs の目標 6「安全な水とトイレを世界中に」に整合しています。

(4.6.1.7) 公開の有無

選択:

☑ 公開されている

(4.6.1.8) 方針を添付してください。

4.6.1_epson_sustainability_report_2023_e.pdf

Row 2

(4.6.1.1) 対象となる環境課題

該当するすべてを選択

☑ 水

(4.6.1.2) 対象範囲のレベル

選択:

☑ 組織全体

(4.6.1.3) 対象となるバリューチェーン上の段階

該当するすべてを選択

☑ 直接操業

☑ バリューチェーン上流

☑ バリューチェーン下流

(4.6.1.4) 対象範囲について説明してください。

In our Sustainability Report (SR), we indicate our basic policies and perceptions relating to water.This is the Epson Group's company-wide policy. Specifically, the SR explains and states the following: - Water is closely linked to other environmental factors including climate change - Our business activities rely on water and affect the external water environment - The importance that all employees have access to safe drinking water and a sanitary water environment Epson has announced our commitment to contributing to the SDGs in the name of our president (CEO). We have established “Creating new products and services with leading technology” as one of our water-related Key CSR themes, thereby contributing to the innovation of water-related technologies. Lake Suwa is located in the Suwa area where Epson headquarters is located. Local governments, citizens, and organizations in the region have organized the "Suwa Lake Creation Vision Promotion Council" to improve the water quality and desirable use of the lake. Epson is committed to this council through the Suwa Branch of the Nagano Environmental Conservation Association, which is organized by local companies. In order to appropriately disclose information externally, Epson bases information disclosure on compliance with core options in the GRI standards, an international initiative for sustainability reporting, that includes water, and publishes a GRI standards comparison table, that includes water.

(4.6.1.5) 環境方針の内容

環境に関するコミットメント

☑ 循環経済に向けた戦略に対するコミットメント

☑ ランドスケープ復元と自然生態系の長期的保全をサポートする自然に根ざした解決策の実施に対するコミットメント

☑ 絶滅危惧種と保護種に対する悪影響の回避に対する宣言

☑ 共通のサステナビリティ目標推進のため、包括的なマルチステークホルダー・ランドスケープ (河川流域を含む) ・イニシアチブに関与することに対するコミットメント

☑ 規制および遵守が必須な基準の遵守に対するコミットメント

☑ 規制遵守を超えた環境関連の対策を講じることに対するコミットメント

☑ ステークホルダーエンゲージメントと環境課題に関するキャパシティビルディングに対するコミットメント

水に特化したコミットメント

☑ 有害物質の削減または段階的な使用停止に対するコミットメント

☑ 水質汚染の管理/削減/根絶に対するコミットメント

☑ 水消費量削減に対するコミットメント

☑ 地元コミュニティにおける安全に管理された水衛生 (WASH) に対するコミットメント

☑ 淡水生態系を保全するためのコミットメント

追加的言及/詳細

☑ 水と衛生に関する人権の存在の認識

☑ 政策に影響を与えようと努める組織に対するメンバーシップおよび資金的サポートの詳細

☑ 自然資源および生態系への依存の詳細

☑ 調達のための環境関連要求事項の詳細

☑ 自然資源および生態系へのインパクトの詳細
☑ 期限を決めた環境関連のマイルストーンと目標についての言及

(4.6.1.6) 貴組織の環境方針がグローバルな環境関連条約または政策目標に整合したものであるかどうかを記載してください。

該当するすべてを選択

☑ はい、SDGs の目標 6「安全な水とトイレを世界中に」に整合しています。

(4.6.1.7) 公開の有無

選択:

☑ 公開されている

(4.6.1.8) 方針を添付してください。

4.6.1_epson_sustainability_report_2023_e.pdf
[行を追加]

(4.10) 貴組織は、何らかの環境関連の協働的な枠組みまたはイニチアチブの署名者またはメンバーですか。

(4.10.1) 貴組織は、何らかの環境関連の協働的な枠組みまたはイニチアチブの署名者またはメンバーですか。

選択:

☑ はい

(4.10.2) 協働的な枠組みまたはイニシアチブ

該当するすべてを選択

☑ RE100
☑ Task Force on Nature-related Financial Disclosures (TNFD)

☑ 気候変動イニシアティブ (JCI)
☑ 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)
☑ 科学に基づく目標設定イニシアティブ (SBTi)
☑ Zero Discharge of Hazardous Chemicals (ZDHC)

(4.10.3) 各枠組みまたはイニシアチブにおける貴組織の役割をお答えください。

Epson participates in the above collaborative frameworks/initiatives to accelerate efforts to achieve our Environmental Vision 2050 and realize a decarbonized society. As an RE100 member, we make recommendations on expanding the use of renewable energy through those initiatives: RE100: Date joined: March 2021 [Target] Switch to renewable electricity by December 2023 [Results] We switched to procuring all electricity used at our sites worldwide from renewable energy sources in December 2023, as pledged. As one of the progressive companies aiming to switch to renewables by 2050, we believe that achieving this target early is significant from the standpoint of the manufacturing industry in Japan, where the supply of renewable energy is limited. We have not only achieved our own target, but also impacted our downstream supply chains and demonstrated leadership of companies across industries that are aiming to procure renewable electricity/energy. We participated in the Strategic Conference for the Expansion of Renewable Energy in Japan FY2023: Together with RE 100 and Climate Group, which was held in September 2023. At the conference we exchanged opinions with the Climate Group, which leads RE100, and Japanese RE100 members on ways to promote renewable energy, and we made recommendations on the need to develop renewable energy sources.
[固定行]

(4.11) 報告年の間に、貴組織は、環境に (ポジティブにまたはネガティブに) 影響を与え得る政策、法律または規制に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のある活動を行いましたか。

(4.11.1) 環境に影響を与え得る政策、法律、規制に直接的または間接的に影響を及ぼす可能性のある外部とのエンゲージメント活動

該当するすべてを選択

☑ はい、当組織は、その活動が政策、法律または規制に影響を与え得る業界団体または仲介組織を通じて、および/またはそれらの団体に資金提供または現物支援を行うことで、間接的にエンゲージメントを行っています。

(4.11.2) 貴組織が、グローバルな環境関連の条約または政策目標に整合してエンゲージメント活動を行うという公開されたコミットメントまたはポジションステートメントを有しているかどうかを回答してください。

選択:

☑ はい、私たちには世界環境条約や政策目標に沿った公開のコミットメントや立場表明があります

(4.11.3) 公開のコミットメントや立場表明に沿った地球環境条約や政策目標

該当するすべてを選択

☑ パリ協定

☑ SDGs の目標 6「安全な水とトイレを世界中に」

(4.11.4) コミットメントまたはポジションステートメントを添付してください。

4.11_epson_Sustainability_Report_2023.pdf

(4.11.5) 貴組織が透明性登録簿に登録しているかどうかを回答してください。

選択:

☑ いいえ

(4.11.8) 外部とのエンゲージメント活動が貴組織の環境関連のコミットメントおよび/または移行計画と矛盾しないように貴組織で講じているプロセスを説明してください。

Epson is working with its member industrial associations, regional governments, and other stakeholders to promote the reduction of GHG emissions in its value chain toward achieving carbon minus by 2050.Epson has a system for reporting and confirming the activity policies of member organizations on an annual basis and has a process for determining whether or not to continue membership. The use of renewable energy (energy from natural sources) is one of the most effective ways to reduce GHG emissions. Accordingly, Epson is implementing plans to expand its use of renewable energy long-term. However, there are obstacles to expanding renewable energy use, including costs and supply limitations in some regions. Recognizing that there is nothing one company alone can do about these obstacles, Epson decided to declare its support for the important policy recommendations below as one solution. The realization of these recommendations will make it easier to take actions that minimize the impact on future climate change. Coordinated global action is essential to combat climate change. We at Epson will therefore continue our efforts toward decarbonization, including by supporting future such recommendations. When deciding whether to join or continue our association with industry groups, we check whether the group's climate change initiatives are aligned with Epson's own policies. Please see Sustainable Report 2023 page 78. About sustainable development goals related to water conservation and clean water and sanitation, we have set medium-term goals for valuing water resources and are working to improve water use efficiency. With regard to ensuring clean water and sanitation for employees, the RBA confirms that efforts are being made by our company and its suppliers. Please see Sustainable Report 2023 page 79,167.

[固定行]

(4.11.2) 報告年の間に、業界団体またはその他の仲介団体/個人を通じた、環境に対して (ポジティブまたはネガティブな形で) 影響を与え得る政策、法律、規制に関する貴組織の間接的なエンゲージメントの詳細について記載してください。

Row 1

(4.11.2.1) 間接的なエンゲージメントの種類

選択:

☑ 業界団体を通じた間接的なエンゲージメント

(4.11.2.4) 業界団体

全世界

☑ その他のグローバルな業界団体。具体的にお答えください。 **:Japan Climate Initiative (JCI)**

(4.11.2.5) 当該組織または個人がある考え方に立つ政策、法律、規制に関連する環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(4.11.2.6) 貴組織の考え方は、貴組織がエンゲージメントを行う組織または個人の考え方と一致しているかどうかを回答してください。

選択:

☑ 一貫性を有している

(4.11.2.7) 報告年の間に、貴組織が当該組織または個人の考え方に影響を与えようとしたかどうかを回答してください。

選択:

☑ はい、当社は業界団体の現在の立場を公に推奨しています

(4.11.2.8) 貴組織の考え方は当該組織または個人の考え方とどのような形で一致しているのか、それとも異なっているのか、そして当該組織または個人の考え方に影響を及ぼすための行動を取ったかについて記載してください。

Epson is working with its member industrial associations, regional governments, and other stakeholders to promote the reduction of GHG emissions in its value chain toward achieving carbon minus by 2050.Epson has a system for reporting and confirming the activity policies of member organizations on an annual basis and has a process for determining whether or not to continue membership. The use of renewable energy (energy from natural sources) is one of the most effective ways to reduce GHG emissions. Accordingly, Epson is implementing plans to expand its use of renewable energy long-term. However, there are obstacles to expanding renewable energy use, including costs and supply limitations in some regions. Recognizing that there is nothing one company alone can do about these obstacles, Epson decided to declare its support for the important policy recommendations below as one solution. The realization of these recommendations will make it easier to take actions that minimize the impact on future climate change. Coordinated global action is essential to combat climate change. We at Epson will therefore continue our efforts toward decarbonization, including by supporting future such recommendations. When deciding whether to join or continue our association with industry groups, we check whether the group's climate change initiatives are aligned with Epson's own policies.

(4.11.2.9) 報告年の間にこの組織または個人に貴組織が提供した資金額 (通貨)

0

(4.11.2.11) 貴組織のエンゲージメントが、グローバルな環境関連の条約または政策目標と整合しているかどうかについて評価を行っているかを回答してください。

選択:

☑ はい、評価しました。整合しています

(4.11.2.12) 組織の方針や政策、法律、規制への取り組みと一致する世界的な環境条約または政策目標

該当するすべてを選択

☑ パリ協定

Row 2

(4.11.2.1) 間接的なエンゲージメントの種類

選択:

☑ その他の仲介組織または個人を通じた間接的なエンゲージメント

(4.11.2.2) 組織または個人の種類

選択:

☑ 政府機関

(4.11.2.3) 当該組織または個人の考え方を説明してください。

The Lake Suwa Creation Vision was formulated by Nagano Prefecture in 2018 (revised in 2023) and envisions the future of Lake Suwa 20 years from now as “a lake where people and wildlife can coexist and where everyone wants to visit. Epson endorses and supports the Lake Suwa Creation Vision, either directly or through the Nagano Prefecture Environmental Conservation Association.

(4.11.2.5) 当該組織または個人がある考え方に立つ政策、法律、規制に関連する環境課題

該当するすべてを選択

☑ 水

(4.11.2.6) 貴組織の考え方は、貴組織がエンゲージメントを行う組織または個人の考え方と一致しているかどうかを回答してください。

選択:

☑ 一貫性を有している

(4.11.2.7) 報告年の間に、貴組織が当該組織または個人の考え方に影響を与えようとしたかどうかを回答してください。

選択:

☑ はい、当社は業界団体の現在の立場を公に推奨しています

(4.11.2.8) 貴組織の考え方は当該組織または個人の考え方とどのような形で一致しているのか、それとも異なっているのか、そして当該組織または個人の考え方に影響を及ぼすための行動を取ったかについて記載してください。

This vision sets forth the goals, challenges, and initiatives for Lake Suwa in the areas of water quality conservation, ecosystem conservation, and lakeside utilization and community development. Since this vision is an initiative for the creation of Lake Suwa, which is located in the area where Epson was founded, we are supporting the “Lake Suwa Creation Vision” and contributing to water quality and ecosystem conservation of Lake Suwa. As a specific initiative, Epson participates in the Lake Suwa Creation Vision Promotion Conference and cooperates in Lake Suwa cleanup activities. In FY2023, Epson donated a large projector to the Lake Suwa Creation Vision Promotion Council. In FY2023, Epson donated a large projector to the Lake Suwa Creation Vision Promotion Council.

(4.11.2.9) 報告年の間にこの組織または個人に貴組織が提供した資金額 (通貨)

0

(4.11.2.11) 貴組織のエンゲージメントが、グローバルな環境関連の条約または政策目標と整合しているかどうかについて評価を行っているかを回答してください。

選択:

☑ はい、評価しました。整合しています

(4.11.2.12) 組織の方針や政策、法律、規制への取り組みと一致する世界的な環境条約または政策目標

該当するすべてを選択

☑ SDGs の目標 6「安全な水とトイレを世界中に」

[行を追加]

(4.12) 報告年の間に、CDP への回答以外で、貴組織の環境課題に対する対応に関する情報を公開していますか。

選択:

☑ はい

(4.12.1) CDP への回答以外で報告年の間の環境課題に対する貴組織の対応に関する情報についての詳細を記載してください。当該文書を添付してください。

Row 1

(4.12.1.1) 出版物

選択:

☑ 環境関連情報開示基準や枠組みに整合し、メインストリームの報告書で

(4.12.1.2) 報告書が整合している基準または枠組み

該当するすべてを選択

☑ GRI

☑ TCFD

(4.12.1.3) 文書中で対象となっている環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

☑ 水

☑ 生物多様性

(4.12.1.4) 作成状況

選択:

☑ 完成

(4.12.1.5) 内容

該当するすべてを選択

☑ リスクおよび機会

☑ 戦略

☑ 排出量数値

☑ 排出量目標

(4.12.1.6) ページ/章

p.38 "Climate change （TCFD）"

(4.12.1.7) 関連する文書を添付してください。

4.12.1_1_epson_Annual Report 2024.pdf

(4.12.1.8) コメント

Epson Annual Report 2024

Row 2

(4.12.1.1) 出版物

選択:

☑ 環境関連情報開示基準や枠組みに整合し、メインストリームの報告書で

(4.12.1.2) 報告書が整合している基準または枠組み

該当するすべてを選択

☑ GRI

☑ TCFD

(4.12.1.3) 文書中で対象となっている環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

☑ 水

☑ 生物多様性

(4.12.1.4) 作成状況

選択:

☑ 完成

(4.12.1.5) 内容

該当するすべてを選択

☑ リスクおよび機会

☑ 戦略

☑ 排出量数値

☑ 排出量目標

(4.12.1.6) ページ/章

p.31 " Climate change （TCFD）"

(4.12.1.7) 関連する文書を添付してください。

4.12.1_2_epson_yukashouken_houkokusyo 2023.pdf

(4.12.1.8) コメント

Epson Annual Securities Report 2023 ＊Japanese only

Row 3

(4.12.1.1) 出版物

選択:

☑ 自主的に発行するサステナビリティレポートで

(4.12.1.3) 文書中で対象となっている環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

☑ 水

☑ 生物多様性

(4.12.1.4) 作成状況

選択:

☑ 作成中 - 前年分を添付

(4.12.1.5) 内容

該当するすべてを選択

☑ 戦略

☑ ガバナンス

☑ 排出量数値

☑ 排出量目標

☑ 環境方針の内容

☑ 水会計データ

☑ リスクおよび機会

☑ 依存およびインパクト

☑ 公共政策エンゲージメント

☑ バリューチェーン上のエンゲージメント（協働）

(4.12.1.6) ページ/章

p130: Governance, p33: Responding to TCFD Recommendations; Risk and Opportunities, p51: The content of environmental policy, p71: Emissions; GHG Reduction Targets, p.79: Water Accounting; Dependency on water, p79: Water Risk, p133: Biodiversity; Impact Factors on Nature

(4.12.1.7) 関連する文書を添付してください。

4.12.1_3_epson_sustainability_report_2023_e.pdf

(4.12.1.8) コメント

[行を追加]

C5. 事業戦略

(5.1) 貴組織では、環境関連の結果を特定するためにシナリオ分析を用いていますか。

気候変動

(5.1.1) シナリオ分析の使用

選択:

☑ はい

(5.1.2) 分析の頻度

選択:

☑ 年 1 回

水

(5.1.1) シナリオ分析の使用

選択:

☑ はい

(5.1.2) 分析の頻度

選択:

☑ 年 1 回

[固定行]

(5.1.1) 貴組織のシナリオ分析で用いているシナリオの詳細を記載してください。

気候変動

(5.1.1.1) 用いたシナリオ

物理気候シナリオ

☑ 代表濃度経路シナリオ（RCP） 2.6

(5.1.1.2) 用いたシナリオ/シナリオと共に用いた SSP

選択:

☑ SSP2

(5.1.1.3) シナリオに対するアプローチ

選択:

☑ 定性的かつ定量的

(5.1.1.4) シナリオの対象範囲

選択:

☑ 組織全体

(5.1.1.5) シナリオで検討したリスクの種類

該当するすべてを選択

☑ 政策

☑ 市場リスク

☑ 評判リスク

☑ 技術リスク
☑ 法的責任リスク

(5.1.1.6) シナリオの気温アライメント

選択:

☑ 2.0ºC - 2.4ºC

(5.1.1.7) 基準年

2020

(5.1.1.8) 対象となる時間軸

該当するすべてを選択

☑ 2030 年
☑ 2060 年

(5.1.1.9) シナリオにおけるドライビング・フォース

地域の生態系資産の相互作用、依存、インパクト

☑ 自然の状態の変化
☑ 生態系サービスが提供するものの変化
☑ 気候変動 (自然の変化の 5 つの要員のうちの 1 つ)

ステークホルダーや顧客の要求

☑ 消費者感情
☑ インパクトに対する消費者の関心
☑ 消費者に対する自然サービス提供の影響
☑ 自然への影響の不均衡に対する感応度

規制機関、法的政治的体制

☑ グローバルな規制

マクロおよびミクロ経済

☑ 国内経済の成長

☑ 市場のグローバル化

(5.1.1.10) シナリオ中の前提、不確実性および制約

We conducted a scenario analysis of paper demand, which has a significant impact on our business, which is primarily the manufacture of inkjet printers. Relevant issues in the scenarios include changes in forest protection policies as policies, and changes in consumer attitudes toward resource conservation as consumer sentiment. In addition, changes in the industrial structure of each country and market changes such as urbanization, increased data volume, oil prices, and changes in wood fuel demand were considered. These will affect changes in printing paper consumption. On the other hand, alternative products and services are essential to accelerate the shift to paperless. The diffusion of these products and services that accelerate the shift to paperless is the second driver. We concluded that forest conservation awareness and paper-substitution technologies could drive the paperless transition, but that the potential for paperless progress is limited due to global GDP growth and increasing data volumes. As for uncertainties, the report recognizes that it is difficult to objectively foresee the future of the development and diffusion of paper alternative technologies.

(5.1.1.11) シナリオ選択の根拠

[Time horizon] Epson has established Environmental Vision 2050 as a long-term goal, targeting the year 2050. The evaluation time horizon was set to the year 2060, which includes the target year. [Target businesses] Our business strategy is to develop proprietary inkjet technology and we made the inkjet business the target of the scenario analysis. We analyzed the existing inkjet business, which focuses on printers, and new businesses in which inkjet heads are being applied in various industries. In the existing inkjet business, changes in demand for paper and paper processing costs are considered to be important parameters affecting business, and we analyzed the business taking these parameters into consideration.

水

(5.1.1.1) 用いたシナリオ

物理気候シナリオ

☑ 代表濃度経路シナリオ（RCP） 2.6

(5.1.1.2) 用いたシナリオ/シナリオと共に用いた SSP

選択:

☑ SSP2

(5.1.1.3) シナリオに対するアプローチ

選択:

☑ 定性的かつ定量的

(5.1.1.4) シナリオの対象範囲

選択:

☑ 組織全体

(5.1.1.5) シナリオで検討したリスクの種類

該当するすべてを選択

☑ 急性の物理的リスク

☑ 慢性の物理的リスク

☑ 政策

(5.1.1.6) シナリオの気温アライメント

選択:

☑ 2.0ºC - 2.4ºC

(5.1.1.7) 基準年

2010

(5.1.1.8) 対象となる時間軸

該当するすべてを選択

☑ 2050 年

☑ 2090 年

(5.1.1.9) シナリオにおけるドライビング・フォース

地域の生態系資産の相互作用、依存、インパクト

☑ 自然の状態の変化

☑ 生態系サービスが提供するものの変化

☑ 気候変動 (自然の変化の 5 つの要員のうちの 1 つ)

規制機関、法的政治的体制

☑ グローバルな規制

(5.1.1.10) シナリオ中の前提、不確実性および制約

Time horizon] Epson has developed Environmental Vision 2050, setting 2050 as our long-term goal. Scenario analysis was evaluated on a time horizon of short term: within 10 years, medium term: 10-50 years, and long term: over 50 years. The physical risks related to water assumed the situation until the end of the 21st century. [Target businesses] Our business strategy is to develop proprietary inkjet technology and we made the inkjet business the target of the scenario analysis. We analyzed the existing inkjet business, which focuses on printers, and new businesses in which inkjet heads are being applied in various industries. In the existing inkjet business, changes in demand for paper and paper processing costs are considered to be important parameters affecting business, and we analyzed the business taking these parameters into consideration.

(5.1.1.11) シナリオ選択の根拠

Epson revised its Environmental Vision 2050 in conjunction with the publication of the Epson 25 Renewed in 2021, and we pledged our goal of being carbon negative by 2050 and updated our transition scenario to be consistent with 1.5C scenario.

水

(5.1.1.3) シナリオに対するアプローチ

選択:

☑ 定性的かつ定量的

(5.1.1.4) シナリオの対象範囲

選択:

☑ 組織全体

(5.1.1.5) シナリオで検討したリスクの種類

該当するすべてを選択

☑ 急性の物理的リスク

☑ 慢性の物理的リスク

☑ 政策

(5.1.1.7) 基準年

2010

(5.1.1.8) 対象となる時間軸

該当するすべてを選択

☑ 2050 年

☑ 2090 年

(5.1.1.9) シナリオにおけるドライビング・フォース

地域の生態系資産の相互作用、依存、インパクト

☑ 自然の状態の変化

☑ 影響を受ける生態系の数

☑ 気候変動 (自然の変化の 5 つの要員のうちの 1 つ)

規制機関、法的政治的体制

☑ グローバルな規制

(5.1.1.11) シナリオ選択の根拠

[Time horizon] Epson has developed Environmental Vision 2050, setting 2050 as our long-term goal. For the assessment of physical risks related to water, the year 2050 and the end of the 21st century (2090) were set as the assessment time points. [Target businesses] In order for Epson to maintain production, it is necessary to have a stable water supply at its operating sites and to be free from flooding and storm surges. The physical risk of water due to climate change was assessed for the direct operation sites where production sites are located.

気候変動

(5.1.1.3) シナリオに対するアプローチ

選択:

☑ 定性的かつ定量的

(5.1.1.4) シナリオの対象範囲

選択:

☑ 組織全体

(5.1.1.5) シナリオで検討したリスクの種類

該当するすべてを選択

☑ 市場リスク

☑ 評判リスク

☑ 技術リスク

☑ 法的責任リスク

(5.1.1.7) 基準年

2020

(5.1.1.8) 対象となる時間軸

該当するすべてを選択

☑ 2030 年

☑ 2060 年

(5.1.1.9) シナリオにおけるドライビング・フォース

地域の生態系資産の相互作用、依存、インパクト

☑ 気候変動 (自然の変化の 5 つの要員のうちの 1 つ)

ステークホルダーや顧客の要求

☑ 消費者感情

☑ インパクトに対する消費者の関心

☑ 消費者に対する自然サービス提供の影響

規制機関、法的政治的体制

☑ グローバルな規制

マクロおよびミクロ経済

☑ 国内経済の成長

☑ 市場のグローバル化

(5.1.1.11) シナリオ選択の根拠

[Time horizon] Epson has established Environmental Vision 2050 as a long-term goal, targeting the year 2050. The evaluation time horizon was set to the year 2060, which includes the target year. [Target businesses] Our business strategy is to develop proprietary inkjet technology and we made the inkjet business the target of the scenario analysis. We analyzed the existing inkjet business, which focuses on printers, and new businesses in which inkjet heads are being applied in various industries.

[行を追加]

(5.1.2) 貴組織のシナリオ分析の結果の詳細を記載してください。

(5.1.2.1) 報告されたシナリオの分析結果により影響を受けたビジネスプロセス

該当するすべてを選択

☑ リスクと機会の特定・評価・管理

☑ 戦略と財務計画

☑ 目標策定と移行計画

(5.1.2.2) 分析の対象範囲

選択:

☑ 組織全体

(5.1.2.3) シナリオ分析の結果およびその他の環境課題に対してそれが示唆するものを簡潔に記してください。

A.Responding to changes in the demand for paper due to climate change Demand for Epson's core products, printers, is heavily influenced by the amount of paper used. Epson's inkjet printers have excellent energy-saving performance, but we need to respond to changes in the demand for printing on paper due to the increasing trend towards being paperless. Responding to changes in the demand for paper due to climate change In 2020, Epson collaborated with an external research organisation to assess changes in paper demand in a climate change-responsive society. In 2021, transition risks were analysed again to ensure that we will be able to reduce our emissions in line with the 1.5C scenario. As a result, although a strong link between climate change and paper demand cannot be identified, we assume that the demand for paper is falling because of declining factors such as increasing awareness of forest protection and reduced printing opportunities due to alternative paper technologies being offset by the increasing factors due to global GDP growth and increased data volumes. B. Responding to physical risks (floods, high tides, droughts) We are addressing the risk of flooding, sea level rise and drought caused by climate change at the areas in which we operate around the world. Responding to physical risks (floods, high tides, droughts) After assessing each business site for high tides and flooding, we graded the future risk to Epson due to flooding (river flooding), high tides and drought from A to E. As a result, we confirmed that the impact will be slightly higher in China and other sites, but concluded that the impact would be limited. C. Reducing the environmental impact at our customers Our environmentally conscious products provide value for the transition to a climate change-responsive society. Reducing the environmental impact at our customers Market demand is expected for solutions to social issues such as energy conservation, reduction in waste, business efficiency, and productivity improvements. By using Epson's efficient, compact, and precision technologies, and utilizing Epson's inkjet and other technologies, we will reduce the impact on the environment while expanding new business. We expect to achieve compound annual growth rate (CAGR) of 15% with sales revenues from office printing, commercial and industrial printing, print head field sales and production systems, which we identified as growth areas in Epson 25 Renewed. D. Creation of environmental businesses We will provide new value by applying our technology to markets that will grow as a result of the transition to being a climate change-responsive society. Creation of environmental businessesMarket growth in climate solutions and market growth in waste treatment and effective use of resources is expected. Market growth in recycled plastics, high-performance biomaterials, bio-based/biodegradable plastics and metal recycling is anticipated due to the shift to a circular economy. These are positioned as environmental business areas and we will concentrate our management

resources on (1) dry fibre technology applications, (2) naturally derived materials (plastic reduction: recycled plastics, bio-based/biodegradable plastics) and (3) raw material recycling (metals, paper) to provide value to society and create new business opportunities in the 1.5C scenario world.

水

(5.1.2.1) 報告されたシナリオの分析結果により影響を受けたビジネスプロセス

該当するすべてを選択

☑ リスクと機会の特定・評価・管理

☑ 戦略と財務計画

☑ 目標策定と移行計画

(5.1.2.2) 分析の対象範囲

選択:

☑ 組織全体

(5.1.2.3) シナリオ分析の結果およびその他の環境課題に対してそれが示唆するものを簡潔に記してください。

For water risk, water stress areas were identified and assessed for current drought and flood risk. As a result, eight sites were identified as being located in water stress areas. In addition, changes in future physical water risks were assessed, including the case of the 4 C scenario, in which global warming progresses without the world taking any measures beyond the current situation. As a result, it was confirmed that the changes in physical risk to national and international sites due to the intensification of disasters associated with extreme weather events would be limited. In terms of water risk, it is important to accurately assess the situation in each region, and interviews were conducted with local officials and water supply agencies at sites assessed as water risk areas by FY2023 to confirm that they have a certain level of water supply capacity even during drought conditions. In addition, water risk surveys are scheduled to be conducted periodically in conjunction with the review of the mid-term water target. For those sites where there were concerns about the risk of flooding of low-rise facilities, the functions were relocated to nearby sites with low risk of flooding at the time of facility renewal. Regarding the opportunities, digital textile printing in the commercial and industrial printing business area, which applies Epson's inkjet technology, is expected to revolutionize the production process and help reduce water consumption in the textile printing process.
[固定行]

(5.2) 貴組織の戦略には気候移行計画が含まれていますか。

(5.2.1) 移行計画

選択:

☑ はい、世界の気温上昇を 1.5 度以下に抑えるための気候移行計画があります

(5.2.3) 公表されている気候移行計画

選択:

☑ はい

(5.2.4) 化石燃料拡大に寄与する活動に対するあらゆる支出やそこからの売上を放棄するというコミットメントを表明する計画

選択:

☑ はい

(5.2.5) コミットメントに含まれる活動およびコミットメントの実行についての詳細

In our Environmental Vision 2050, we pledged that we will be carbon negative by 2050. As a direct decarbonization measure, we have pledged and achieved our goal of using 100% renewable electricity worldwide by 2023. We are also promoting our energy conversion from fuel and gas to electricity and non-fossil fuels as needed. In 2023, we informed our suppliers that we intended to build an “Epson green supply chain” and called for their support. In addition, we conduct in-house research and development into bio-based plastics and CO2 absorption technologies.

(5.2.7) 貴社の気候移行計画に関して株主からフィードバックが収集される仕組み

選択:

☑ 当社の気候移行計画は年次株主総会(AGMs)で投票が行われます

(5.2.10) 移行計画が依って立つ主要な前提および依存条件の詳細

We evaluated the climate impact on our operations and the financial impact based on the scenario corresponding to a 1.5ºC temperature rise presented by the Intergovernmental Panel on Climate Change (IPCC) and the International Energy Agency (IEA), and internal and external information. The major assumptions are as follows: We rely on natural capital, including water, for the manufacture of our products. Use of our printers is heavily influenced by the amount of paper used. We

assume that demand for printing and information paper is declining. We believe that advanced initiatives are required to decarbonize products, services, and supply chains, and to recycle resources to combat climate change and resource depletion. We assume that the development of environmental technologies that will lead to a dramatic reduction in our environmental impact will require scientific and concrete solutions. We assume that the need for environmentally responsible products and services will increase.

(5.2.11) 現報告期間または前報告期間で開示した移行計画に対する進捗の詳細

Progress in past reporting periods: In FY2021, we revised our Environmental Vision 2050 and set clear targets, including becoming carbon negative. In FY2023, we established a Global Environmental Strategy Promotion Office, as a dedicated department that plays a central role in promoting our environmental strategies. As a result of our transition plan, we have achieved our goal of using 100% renewable energy sources for electricity at all group sites by 2023. We have also created a roadmap for the long-term stable procurement of renewable energy and have planned the construction of our first biomass power plant.

(5.2.12) 貴社の気候移行計画を詳述した関連文書を添付してください(任意)

5.2_epson_sustainability_report_2023_e.pdf

(5.2.13) 貴組織の気候移行計画で検討されたその他の環境課題

該当するすべてを選択

☑ プラスチック

☑ 水

(5.2.14) 貴組織の気候移行計画において、その他の環境課題がどのように検討されたのかを説明してください。

Water: We rely on natural capital, including water, for the manufacture of our products, and we assess the risk of water depletion at our direct operation sites. We also assess the aggravated risk of flooding and high tides due to climate change. Plastic: Along with climate change, resource depletion must be addressed as an environmental issue. We aim to convert the consumption of underground resources. Plastic is derived from petroleum, which is an underground resource. Switching from petroleum-derived plastics to other materials is imperative when considering GHG emissions in the value chain. We are working to reduce the consumption of underground resources through the development of bio-based plastics and introduction of compact products.

[固定行]

(5.3) 環境上のリスクと機会は、貴組織の戦略および/または財務計画に影響を与えてきましたか。

(5.3.1) 環境上のリスクと機会は、貴組織の戦略および/または財務計画に影響を与えました。

選択:

☑ はい、戦略と財務計画の両方に対して。

(5.3.2) 環境上のリスクおよび/または機会が貴組織の戦略に影響を及ぼしてきた事業領域

該当するすべてを選択

☑ 製品およびサービス

☑ バリューチェーン上流/下流

☑ 研究開発への投資

☑ 操業

[固定行]

(5.3.1) 環境上のリスクと機会が貴組織の戦略のどのような領域に対し、またどのような形で影響を与えたかを記載してください。

製品およびサービス

(5.3.1.1) 影響の種類

該当するすべてを選択

☑ 機会

(5.3.1.2) この領域において、貴組織の戦略に影響を与えてきたリスクおよび/または機会に関連する環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.3.1.3) この領域において、環境上のリスクおよび/または機会が貴組織の戦略にどのように影響を及ぼしてきたかを記載してください。

[Situation] We have identified increased demand for low-carbon products and increased revenue from developing and marketing products to meet that demand as opportunities, and strengthened our strategies to take advantage of such opportunities. Inkjet, as our core technology, is essentially a low power consumption technology. Inkjet printers, the strength of which lies in their being energy-efficient, are expected to further expand their market in the future as the demand for high-capacity ink tank printers, one of our flagship products, is increasing. High-capacity ink tanks require significantly fewer resources for consumables than both conventional ink cartridge systems and laser systems. Because they use fewer resources, they emit less GHG and they are therefore advantageous when it comes to tackling climate-related issues. Our strategy is to strengthen our business in the commercial and industrial sectors. In addition to conventional personal and office products, we are also expanding our range of products for commercial and industrial sectors, specifically printers for commercial use such as printing posters and labels and printers for industrial use such as printing textiles and transcription. We are also aiming to provide more energy-saving printers and production methods in these sectors. The period allocated for this strategy is short (0-10 years). [Issues] There are two major challenges to expanding climate-related opportunities in this business sector: -Educating customers on the usefulness and applicability of digital textiles that use our inkjet technology, and introducing and expanding the market for digital textiles -Increasing our development and production capabilities to provide the market with environmentally-friendly printers in a timely fashion [Actions and consequences] We launched TSC Asia in June 2019 to encourage customers to use our inkjet technology to make digital textiles. TSC Asia is a solution centre equipped with facilities for the entire digital textile process and it provides support for digital textile initiatives to customers. In FY2022, we expanded and renovated Solution Center Fujimi in order to provide greater support for digitalization, such as clothing production for affiliated designers and visits by apparel students. This will contribute to the further expansion of the digital textile printing market.

バリューチェーン上流/下流

(5.3.1.1) 影響の種類

該当するすべてを選択

☑ リスク

(5.3.1.2) この領域において、貴組織の戦略に影響を与えてきたリスクおよび/または機会に関連する環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.3.1.3) この領域において、環境上のリスクおよび/または機会が貴組織の戦略にどのように影響を及ぼしてきたかを記載してください。

[Situation and Issues] Epson sets SBT for Scope 3 Cat.1 and Cat.11. We are aware of the need to cut GHG emissions in our supply chain and have developed and implemented strategies to strengthen coordination with suppliers. GHG emissions from Category 1 account for 35% of scope 3 emissions and 30% of all scopes. Epson cannot achieve its GHG target unless suppliers are able to reduce their GHG emissions. The period allocated for this strategy is short (0-10 years). [Action] Our procurement guidelines request all of our suppliers to be aware of and comply with the code of conduct required by the Responsible Business Alliance (RBA). We

joined the RBA in April 2019 as a regular member. We confirm compliance with the procurement guidelines through a detailed CSR evaluation, and coordinate with suppliers to make improvements. Detailed CSR assessments are conducted by all suppliers using the Self-Assessment Questionnaire (SAQ) based on the RBA's standards. We categorize risks based on SAQ results and provide feedback to suppliers. Suppliers evaluated as high risk are audited by an external specialist organization and evaluated on-site to use their findings for improvement activities. We have established guidelines to conduct fair and efficient evaluations, and clarify the procedures for conducting SAQs and audits. To further promote initiatives to address climate-related issues at suppliers, we conduct surveys of our major suppliers in Japan and overseas who account for more than 80% of our procurement spend to determine CO2 emission factors, such as the power and gas required for parts for Epson, and the actual consumption of water resources(environmental impact survey). This is an initiative unique to Epson. We share survey results with suppliers to engage with them in improving their production lines to reduce power and water consumption in their production processes and to reduce the environmental impact of transportation. [Results] Two key decisions: to become a regular member of the RBA and supplier's approach to Scope 1 and 2(environmental impact survey）. In FY2023, we called on our suppliers to join the Epson Green Supply Chain initiative, and began to fully understand the actual situation and work together to reduce suppliers' emissions.

研究開発への投資

(5.3.1.1) 影響の種類

該当するすべてを選択

☑ 機会

(5.3.1.2) この領域において、貴組織の戦略に影響を与えてきたリスクおよび/または機会に関連する環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.3.1.3) この領域において、環境上のリスクおよび/または機会が貴組織の戦略にどのように影響を及ぼしてきたかを記載してください。

[Situation and Issues] Our inkjet technology allows materials to be applied in the required quantities to the required areas only, and therefore, from a production and manufacturing perspective, it has the potential to revolutionize the industrial structure. Minimizing the consumption of materials means that we can reduce the amount of energy used in material manufacturing and processing, thereby substantially reducing GHG emissions. We believe we can create and take advantage of opportunities by maximizing and realizing this potential through collaboration and open innovation, and have further strengthened our "advancing the frontiers of industry" and "achieving sustainability in a circular economy" strategies. The period allocated for this strategy is medium (10-50 years). [Action] To realize these strategies, in FY2019 we started to expand field sales of inkjet heads, the core element of inkjet, around the world. We are aiming for the widespread use in society of PrecisionCore print heads equipped with our cutting-edge technology. This in turn aims to encourage collaboration and open innovation. In July 2019, we entered into a business partnership with Elephantech Inc. (Tokyo, Japan), a start-up company active in the printed electronics sector, and introduced manufacturing methods that

drastically reduce the environmental impact to fundamentally change traditional manufacturing methods of flexible printed circuit board. In August 2019, we opened Fujimi Inkjet Innovation Lab. We aim to use this facility to conduct research in cooperation with a wide range of research institutions and companies in order to use inkjet technology in the industrial sector. In October 2019, we developed an inkjet system for R&D equipped with PrecisionCore heads. We will sell this system to companies and research institutions that are working to innovate production processes using inkjet technology and to develop new materials compatible with inkjet. [Results] We developed a green bond framework in December 2019 to secure funding to aggressively promote open innovation. Green bonds target 10 projects, including investments in research and development, and we decided to issue green bonds in July 2020 worth 70 billion yen in total for all projects.

操業

(5.3.1.1) 影響の種類

該当するすべてを選択

☑ リスク

(5.3.1.2) この領域において、貴組織の戦略に影響を与えてきたリスクおよび/または機会に関連する環境課題

該当するすべてを選択

☑ 水

(5.3.1.3) この領域において、環境上のリスクおよび/または機会が貴組織の戦略にどのように影響を及ぼしてきたかを記載してください。

Our Environmental Vision 2050 is about the proper use of natural capital, including water as a renewable resource. Water is a resource that can be used sustainably if used appropriately. Excessive use, however, can lead to depletion and other environmental problems. We set medium-term targets for water usage over a period of several years, and manage our water usage appropriately while keeping a close eye on local conditions. We will also keep a close watch on changes in water quality regulations in each country and develop a management system to ensure wastewater management in compliance with laws and regulations. One example of measures implemented in FY2022 in response to the results of the water risk assessment is the relocation of production lines from locations identified in the pessimistic scenario as having an increased risk of future flooding due to climate change impacts. As an example of how facilities can improve water usage efficiency, the China site improved the route of pure water used in the cleaning process, reducing deionized water usage by 17.6%.（the President's Environmental Award in FY2023.）

製品およびサービス

(5.3.1.1) 影響の種類

該当するすべてを選択

☑ 機会

(5.3.1.2) この領域において、貴組織の戦略に影響を与えてきたリスクおよび/または機会に関連する環境課題

該当するすべてを選択

☑ 水

(5.3.1.3) この領域において、環境上のリスクおよび/または機会が貴組織の戦略にどのように影響を及ぼしてきたかを記載してください。

We are leveraging the dry fiber and inkjet technologies we have accumulated to expand the products and services that solve social issues related to water. In addition, we will visualize the environmental value of our products, and develop strategic promotional activities in order to make the environmental value of our products known to as many customers as possible. We launched TSC Asia in June 2019 to encourage customers to use our inkjet technology to make digital textiles. TSC Asia is a solution center equipped with facilities for the entire digital textile process, and it provides support for digital textile initiatives to customers. In FY2021, we started to expand and renovate Fujimi Solution Center in order to provide greater support for digitalization, such as clothing production for affiliated designers and visits by apparel students. This will contribute to the further expansion of the digital textile printing market. In FY2022, we entered into a partnership with the fashion brand YUIMA NAKAZATO. A new collection of clothing upcycled from used clothing utilized our digital textile printing technology and dry fiber technology. As a result, we supported part of the new collection of clothing produced for Paris Haute Couture Fashion Week which took place in France in July 2023 and February 2024, in the same way that we did in January 2023.
[行を追加]

(5.3.2) 環境上のリスクと機会が貴組織の財務計画のどのような領域に対し、またどのような形で影響を与えたかを記載してください。

Row 1

(5.3.2.1) 影響を受けた財務計画の項目

該当するすべてを選択

☑ 負債

(5.3.2.2) 影響の種類

該当するすべてを選択

☑ リスク

☑ 機会

(5.3.2.3) これらの財務計画の項目に影響を与えてきたリスクおよび/または機会に関連する環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

☑ 水

(5.3.2.4) 環境上のリスクおよび/または機会が、これらの財務計画の項目にどのように影響を与えてきたかを記載してください。

[Situation and Issues] In addition to strengthening our climate change initiatives and ensuring our production facilities are environmentally friendly, we need to contribute to reducing the environmental impact of our customers by providing the market with high environmental performance products. The implementation of such efforts had a broad implication for our financial plans. [Impact on Financial Plans] We issued 70 billion yen's worth of green bonds in July 2020 having concluded that financing, focused on capital investment in particular, is necessary to avoid climate-related risks and take advantage of opportunities. Strengthening our response to climate-related issues is necessary to achieve a sustainable society, and the following are important for Epson: -Providing highly environmentally friendly products -Reducing the environmental impact at our customers -Having environmentally friendly production facilities We need to strengthen financing to further proceed with these activities and we are thus actively raising funds for environmental activities. Costs required for these projects are: (1) Construction costs for a new building (Building 9) at the Hirooka Office (2) Construction costs for a new building (Building B of the Innovation Center) at the Hirooka Office (3) Construction costs for factory expansion at a manufacturing subsidiary in the Philippines (4) Costs of R&D and production facilities for high-speed linehead inkjet multifunction printers for offices (5) Costs of R&D and production facilities for commercial and industrial printers (6) Costs of R&D and production facilities for inkjet printers and the application of inkjet heads (7) Costs of R&D and production facilities for PaperLab and the application of Dry Fiber Technology (8) Costs of purchasing renewable energy

[行を追加]

(5.4) 貴組織の財務会計において、貴組織の気候移行計画と整合した支出/売上を特定していますか。

	組織の気候移行計画と整合している支出/売上項目の明確化	貴組織の気候移行計画との整合性を評価するために用いた手法または枠組み
	選択: ☑ はい	*該当するすべてを選択* ☑ その他の手法または枠組み

[固定行]

(5.4.1) 気候移行計画に整合する支出/売上の額と割合を定量的に示してください。

Row 1

(5.4.1.1) 整合性を評価するために用いた手法または枠組み

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**Costs incurred in promoting measures based on the company's Environmental Vision 2050

(5.4.1.5) 財務的評価基準

選択:

☑ 当社の地上風力発電および地熱発電の

(5.4.1.6) 報告年中に整合している選択された財務指標の額 (通貨)

1540000000

(5.4.1.7) 選択した財務的評価基準において報告年で整合している割合(%)

2.2

(5.4.1.8) 選択した財務的評価基準において 2025 年に整合している予定の割合(%)

2.2

(5.4.1.9) 選択した財務的評価基準において 2030 年に整合している予定の割合(%)

2.2

(5.4.1.12) 貴組織の気候移行計画との整合性を評価するために用いた手法または枠組みの詳細

We will invest a total of approximately 100 billion yen by 2030 in decarbonization, closed resource-loop initiatives, and environmental technology development in response to climate-related transition risks. Achievements in FY2023 include the switch to renewable energy as a source of electricity, increase in products made from recycled plastic, increase in long-term use of products through refurbishing/reuse, start of construction of a new factory to convert unwanted metals into resources as a raw material for metal powder products, development of dry fiber technology applications, and development of technology for separating and collecting CO2 using a separation membrane. The financial indicators are the investment, expenses, and personnel costs of these initiatives.

Row 2

(5.4.1.1) 整合性を評価するために用いた手法または枠組み

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**Costs incurred in promoting measures based on the company's Environmental Vision 2050

(5.4.1.5) 財務的評価基準

選択:

☑ OPEX

(5.4.1.6) 報告年中に整合している選択された財務指標の額 (通貨)

3250000000

(5.4.1.7) 選択した財務的評価基準において報告年で整合している割合(%)

6.6

(5.4.1.8) 選択した財務的評価基準において 2025 年に整合している予定の割合(%)

6.6

(5.4.1.9) 選択した財務的評価基準において 2030 年に整合している予定の割合(%)

6.6

(5.4.1.12) 貴組織の気候移行計画との整合性を評価するために用いた手法または枠組みの詳細

We will invest a total of approximately 100 billion yen by 2030 in decarbonization, closed resource-loop initiatives, and environmental technology development in response to climate-related transition risks. Achievements in FY2023 include the switch to renewable energy as a source of electricity, increase in products made from recycled plastic, increase in long-term use of products through refurbishing/reuse, start of construction of a new factory to convert unwanted metals into resources as a raw material for metal powder products, development of dry fiber technology applications, and development of technology for separating and collecting CO2 using a separation membrane. The financial indicators are the investment, expenses, and personnel costs of these initiatives.
[行を追加]

(5.9) 報告年における貴組織の水関連の CAPEX と OPEX の傾向と、次報告年に予想される傾向はどのようなものですか。

(5.9.1) 水関連の CAPEX (＋/- %)

81.33

(5.9.2) 次報告年の CAPEX 予想 (+/- %変化)

24.13

(5.9.3) 水関連の OPEX(＋/-の変化率)

53.46

(5.9.4) 次報告年の OPEX 予想 (+/- %変化)

56.35

(5.9.5) 説明してください

We calculated CAPEX based on actual capital expenditure relating to water and projected investment. Capital expenditures are mainly for renewal of wastewater equipment, piping, pumps, tanks, etc. In FY2023, CAPEX increased significantly due to the replacement of wastewater treatment facilities at some sites. CAPEX is expected to increase further in FY2024 as we are planning to upgrade many of our facilities. OPEX is the cost of water withdrawal calculated based on actual water and wastewater rates. Since FY2021, OPEX has once again started to increase and it increased further in FY2023. The OPEX increase can be attributed to a slight increase in water consumption as well as higher water and sewer rates. As our business expands, we expect the unit price of water supply to continue to rise and for OPEX to increase further even if water consumption remains at the current level due to our efforts for water conservation and water recycling.

[固定行]

(5.10) 貴組織は環境外部性に対するインターナル・プライスを使用していますか。

	環境外部性のインターナル・プライスの使用	価格付けされた環境外部性
	選択: ☑ はい	*該当するすべてを選択* ☑ カーボン

[固定行]

(5.10.1) 貴組織のインターナル・カーボンプライスについて詳細を記入してください。

Row 1

(5.10.1.1) 価格付けスキームの種類

選択:

☑ 暗示的価格

(5.10.1.2) インターナル・プライスを導入する目的

該当するすべてを選択

☑ 低炭素投資の推進

☑ エネルギー効率の推進

☑ 戦略および/または財務計画に影響を与える

☑ 意思決定における気候関連課題の検討を奨励する

☑ 気候関連方針と目標の設定および/または達成

☑ リスク評価における気候関連課題の検討を奨励する

(5.10.1.3) 価格を決定する際に考慮される要素

該当するすべてを選択

☑ 再生可能エネルギーの調達の価格/コスト

(5.10.1.4) 価格決定における計算方法と前提条件

Epson uses internal carbon pricing as part of our basis for making investment decisions on environmental measures. We assume that the price of electricity will increase over time. The emission factor of each power company tends to fall as the shift to renewable energy expands. However, the price of ICP also changes as the demand for renewable energy increases and the unit price goes up.

(5.10.1.5) 対象となるスコープ

該当するすべてを選択

☑ スコープ 1

☑ スコープ 2

(5.10.1.6) 使用した価格設定アプローチ - 空間的変動

選択:

☑ 差異化

(5.10.1.7) 価格がどのように異なるのかと、差をつける理由

Epson uses internal carbon pricing as part of our basis for making investment decisions on environmental measures. We calculated the cost of procuring low-carbon electricity based on projected electricity usage when we installed new equipment at our Chitose Plant in FY2018, and we used the cost as a reference, together with IRR and investment-return period, in our evaluations. In FY2019, in relation to this, We finished developing environmental investment guidelines and have been officially utilizing these guidelines from FY2020.Furthermore, in order to reflect that the shift to renewable energy is already complete, we have updated the system to use the unit price of low-carbon electricity contracted at each site and the procurement cost of renewable energy electricity certificates when calculating the effect of reduced electricity consumption. This has led to investment decisions for environmental purposes in each years, such as the appropriate installation of solar power generation equipment at sites in Japan.

(5.10.1.8) 使用した価格設定アプローチ - 経時的変動

選択:

☑ 変動型(時間軸上)

(5.10.1.9) 時間の経過とともに価格がどのように変化すると見ているか

We assume that prices will increase over time. The emission factor of each power company tends to fall as the shift to renewable energy expands. However, the price of ICP also changes as the demand for renewable energy increases and the unit price goes up. For example, the power company's emission factor, which was 0.472 t-CO2/kWh in 2018, when Epson began procuring renewable energy in Nagano Prefecture, changed to 0.459 t-CO2/kWh in 2023.

(5.10.1.10) 使用される実際の最低価格(通貨、CO2 換算トン)

1500

(5.10.1.11) 用いられる実際の最高価格(通貨、CO2 換算トンあたり)

10000

(5.10.1.12) 本インターナル・プライスが適用される事業意思決定プロセス

該当するすべてを選択

☑ 資本支出

☑ 操業

(5.10.1.13) インターナル・プライスは事業の意思決定プロセスにおいて適用必須

選択:

☑ はい、すべての意思決定プロセスにおいて

(5.10.1.14) 報告年における選択されたスコープの総排出量のうち、本インターナル・プライスの対象となる排出量の割合 (%)

0

(5.10.1.15) 価格設定アプローチは目標を達成するためにモニタリングおよび評価されている

選択:

☑ はい

(5.10.1.16) 目的を達成するための価格設定アプローチのモニタリングおよび評価方法の詳細

This measure covers investments made to reduce GHG emissions, conserve energy, and secure renewable energy sources in order to achieve the SBT (Scope 1 and 2) reduction targets. The GHG emission reduction benefits of the investment are sought. The amount of low-carbon electricity procurement in the region from which each site procures is used for the effect of reductions resulting from the investment. A system has been established to monitor the price of low-carbon electricity actually procured in the region of each site each year for the purpose of evaluating the measures, and to reflect this in the calculation.
[行を追加]

(5.11) 環境課題について、貴組織のバリューチェーンと協働していますか。

	環境課題について、このステークホルダーと協働している	対象となる環境課題
サプライヤー	*選択:* ☑ はい	*該当するすべてを選択* ☑ 気候変動 ☑ 水 ☑ プラスチック
顧客	*選択:* ☑ はい	*該当するすべてを選択* ☑ 気候変動 ☑ 水 ☑ プラスチック
投資家と株主	*選択:* ☑ はい	*該当するすべてを選択* ☑ 気候変動 ☑ 水 ☑ プラスチック
その他のバリューチェーンのステークホルダー	*選択:* ☑ はい	*該当するすべてを選択* ☑ 気候変動 ☑ 水 ☑ プラスチック

[固定行]

(5.11.1) 貴組織は、サプライヤーを環境への依存および/またはインパクトによって評価および分類していますか。[データがまだありません]

気候変動

(5.11.1.1) サプライヤーの環境への依存および/またはインパクトの評価

選択:

☑ はい、サプライヤーの依存および/またはインパクトの評価を行っています

(5.11.1.2) サプライヤーの環境への依存および/またはインパクトを評価するための基準

該当するすべてを選択

☑ 流域/ランドスケープの状況

☑ サプライヤー関連スコープ 3 排出量への貢献

(5.11.1.3) 評価した 1 次サプライヤーの割合(%)

選択:

☑ 100%

(5.11.1.4) 環境への重大な依存および/またはインパクトがあるサプライヤーとして分類する閾値の定義

Climate change -related risks at suppliers are assessed as part of a socially responsible procurement program. The survey defines suppliers with substantial environmental impacts, focusing on the top 80% of direct material suppliers by transaction value. Each year, targeted suppliers are surveyed on the status of their social responsibility activities, including Climate change issues, and encouraged to make improvements.

(5.11.1.5) 環境への重大な依存および/またはインパクトの閾値に達している 1 次サプライヤーの割合(%)

選択:

☑ 76～99%

(5.11.1.6) 環境への重大な依存および/またはインパクトの閾値を達している 1 次サプライヤーの数

255

水

(5.11.1.1) サプライヤーの環境への依存および/またはインパクトの評価

選択:

☑ はい、サプライヤーの依存および/またはインパクトの評価を行っています

(5.11.1.2) サプライヤーの環境への依存および/またはインパクトを評価するための基準

該当するすべてを選択

☑ 流域/ランドスケープの状況

☑ 水への依存

(5.11.1.3) 評価した 1 次サプライヤーの割合(%)

選択:

☑ 100%

(5.11.1.4) 環境への重大な依存および/またはインパクトがあるサプライヤーとして分類する閾値の定義

Water-related risks at suppliers are assessed as part of a socially responsible procurement program. The survey defines suppliers with substantial environmental impacts, focusing on the top 80% of direct material suppliers by transaction value. Each year, targeted suppliers are surveyed on the status of their social responsibility activities, including water-related issues, and encouraged to make improvements.

(5.11.1.5) 環境への重大な依存および/またはインパクトの閾値に達している 1 次サプライヤーの割合(%)

選択:

☑ 76～99%

(5.11.1.6) 環境への重大な依存および/またはインパクトの閾値を達している 1 次サプライヤーの数

255

プラスチック

(5.11.1.1) サプライヤーの環境への依存および/またはインパクトの評価

選択:

☑ いいえ、現時点ではサプライヤーの依存および/またはインパクトの評価を行っていませんが、今後 2 年以内に行う予定です

[固定行]

(5.11.2) 貴組織は、環境課題について協働する上で、どのサプライヤーを優先していますか。[データがまだありません]

気候変動

(5.11.2.1) この環境課題に関するサプライヤーエンゲージメントの優先順位付け

選択:

☑ はい、この環境課題について協働するサプライヤーの優先順位をつけています

(5.11.2.2) この環境課題についてどのサプライヤーとのエンゲージメントを優先するかの判断基準

該当するすべてを選択

☑ 気候変動に関連した重大な依存および/またはインパクトがあるサプライヤーとして分類するために使用される基準に従って

(5.11.2.4) 説明してください

We are working to calculate our suppliers' own emissions intensity to reduce supplier-related Scope 3 emissions. We require suppliers to (i) visualize their emissions, (ii) set reduction targets, and (iii) implement reduction measures. In 2023 we identified suppliers who calculate emissions and positioned them as priority suppliers. We have started specific activities to calculate their individual emissions intensity. We have currently identified about 100 priority suppliers and we plan to increase this number in the future.

水

(5.11.2.1) この環境課題に関するサプライヤーエンゲージメントの優先順位付け

選択:

☑ いいえ、この環境課題について協働するサプライヤーの優先順位をつけていません

(5.11.2.3) この環境課題に関してサプライヤーの優先順位付けをしていない主な理由

選択:

☑ 当組織は、すべてのサプライヤーと協働します

(5.11.2.4) 説明してください

We believe that all companies should address water-related environmental issues as a basic environmental and human rights measure. Requirements for suppliers regarding water under the RBA include “management as a documented program as well as compliance with laws and regulations,” and “toilets, canteens, etc. are maintained and managed in a clean manner and operated in accordance with local hygiene regulations. Each year, as part of our socially responsible procurement program, we evaluate suppliers' compliance with water-related requirements, and if a supplier is assessed as having a high risk, we determine that the supplier has substantial strategic impact and have a system in place to conduct on-site verification, request improvements, and provide assistance. In addition, to gain a more detailed picture of the actual situation, we conduct surveys of suppliers' environmental impact, including the status of suppliers' watersheds and water consumption.

プラスチック

(5.11.2.1) この環境課題に関するサプライヤーエンゲージメントの優先順位付け

選択:

☑ いいえ、この環境課題について協働するサプライヤーの優先順位をつけていません

(5.11.2.3) この環境課題に関してサプライヤーの優先順位付けをしていない主な理由

選択:

☑ 標準化された手順がない

(5.11.2.4) 説明してください

Plastics is an important issue from the perspective of resource recycling and reducing supplier-related Scope 3 emissions. We are aiming to eliminate the use of underground resources, and we are working to reduce the amount of plastic used and to switch to bio-based recycled materials. However, bio-based recycled materials are not widely used in plastic products and activities with suppliers are not standardized.

[固定行]

(5.11.5) 貴組織のサプライヤーは、貴組織の購買プロセスの一環として、環境関連の要求事項を満たす必要がありますか。

気候変動

(5.11.5.1) サプライヤーは、購買プロセスの一環として、この環境課題に関連する特定の環境関連の要求事項を満たす必要があります

選択:

☑ はい、この環境課題に関連する環境関連の要求事項はサプライヤー契約に含まれています

(5.11.5.2) サプライヤーの不遵守に対処するための方針

選択:

☑ はい、不遵守に対処するための方針があります

(5.11.5.3) コメント

Climate change-related requirements suppliers should comply with under the RBA i include setting targets and GHG reduction efforts. We require suppliers to agree to comply with the RBA when contracting with them. Each year we assess whether our suppliers are complying with climate change requirements as part of our Socially Responsible Procurement Program. If risks are assessed to be high, suppliers are judged to have a substantial strategic impact, and we have a system to conduct onsite verifications, request improvements and provide support. We also conduct Environmental Impact Surveys of suppliers, that include calculating suppliers' own emissions intensity, to gain a more detailed understanding of the actual situation.

水

(5.11.5.1) サプライヤーは、購買プロセスの一環として、この環境課題に関連する特定の環境関連の要求事項を満たす必要があります

選択:

☑ はい、この環境課題に関連する環境関連の要求事項はサプライヤー契約に含まれています

(5.11.5.2) サプライヤーの不遵守に対処するための方針

選択:

☑ はい、不遵守に対処するための方針があります

(5.11.5.3) コメント

Water-related requirements suppliers should comply with under the RBA include not only legal compliance but also documented program management. We require suppliers to agree to comply with the RBA when contracting with them. Each year we assess whether our suppliers are complying with climate change requirements as part of our Socially Responsible Procurement Program. If risks are assessed to be high, suppliers are judged to have a substantial strategic impact, and we have a system to conduct onsite verifications, request improvements and provide support. We also conduct Environmental Impact Surveys of suppliers, that include calculating suppliers' own emissions intensity, to gain a more detailed understanding of the actual situation.

[固定行]

(5.11.6) 貴組織の購買プロセスの一環としてサプライヤーが満たす必要がある環境関連の要求事項の詳細と、遵守のために実施する措置を具体的にお答えください。

気候変動

(5.11.6.1) 環境関連の要求事項

選択:

☑ 貴組織への GHG 排出量の開示(スコープ 1、2、および 3)

(5.11.6.2) この環境関連の要求事項の遵守をモニタリングするための仕組み

該当するすべてを選択

☑ サプライヤーの自己評価

(5.11.6.3) この環境関連の要求事項を遵守することが求められている 1 次サプライヤーの調達支出における割合(%)

選択:

☑ 76～99%

(5.11.6.4) この環境関連の要求事項を遵守している 1 次サプライヤーの調達支出における割合(%)

選択:

☑ 76～99%

(5.11.6.7) この環境関連の要求事項を遵守することが求められているサプライヤーに起因する、1 次サプライヤー関連スコープ 3 排出量の割合(%)

選択:

☑ 76～99%

(5.11.6.8) この環境関連の要求事項を遵守しているサプライヤーに起因する、1 次サプライヤー関連スコープ 3 排出量の割合(%)

選択:

☑ 76～99%

(5.11.6.9) この環境関連の要求事項に遵守していないサプライヤーへの対応

選択:

☑ 維持して協働する

(5.11.6.10) エンゲージメントした不遵守サプライヤーの割合(%)

選択:

☑ 1%未満

(5.11.6.11) 不遵守であるサプライヤーに対してエンゲージメントする手順

該当するすべてを選択

☑ 一貫した数値的な尺度を通じた不遵守サプライヤーの措置の有効性と取り組みの評価

(5.11.6.12) コメント

Climate change requirements for suppliers under the RBA include “they are monitoring GHG emissions for all Scope 1 and 2 emissions associated with energy consumption and publishing comparisons with emission reduction targets” and “they have introduced measures to improve energy efficiency and minimize all Scope 1 and 2 emissions associated with energy consumption.” Each year, we assess whether our suppliers are complying with Climate Change requirements as part of our Socially Responsible Procurement Program, and if risks are assessed to be high, suppliers are judged to have a substantive strategic impact and we have a system to conduct on-site verifications, request improvements and provide support.

水

(5.11.6.1) 環境関連の要求事項

選択:

☑ 完全に管理された上下水道・衛生（WASH）サービスの全従業員への提供

(5.11.6.2) この環境関連の要求事項の遵守をモニタリングするための仕組み

該当するすべてを選択

☑ サプライヤーの自己評価

(5.11.6.3) この環境関連の要求事項を遵守することが求められている 1 次サプライヤーの調達支出における割合(%)

選択:

☑ 76～99%

(5.11.6.4) この環境関連の要求事項を遵守している 1 次サプライヤーの調達支出における割合(%)

選択:

☑ 76～99%

(5.11.6.5) この環境課題に関連した環境への重大な依存および/またはインパクトがあり、この環境関連の要求事項を遵守することが求められている 1 次サプライヤーの割合(%)

選択:

☑ 100%

(5.11.6.6) この環境課題に関連した環境への重大な依存および/またはインパクトがあり、この環境関連の要求事項を遵守している 1 次サプライヤーの割合(%)

選択:

☑ 76～99%

(5.11.6.9) この環境関連の要求事項に遵守していないサプライヤーへの対応

選択:

☑ 維持して協働する

(5.11.6.10) エンゲージメントした不遵守サプライヤーの割合(%)

選択:

☑ 1%未満

(5.11.6.11) 不遵守であるサプライヤーに対してエンゲージメントする手順

該当するすべてを選択

☑ 一貫した数値的な尺度を通じた不遵守サプライヤーの措置の有効性と取り組みの評価

(5.11.6.12) コメント

Water-related requirements suppliers should comply with under the RBA include “not only legal compliance but also documented program management, maintaining clean toilets and cafeterias, etc., and operating in accordance with local sanitation regulations.” Each year, we assess whether our suppliers are complying with water-related requirements as part of our Socially Responsible Procurement Program, and if risks are assessed to be high, suppliers are judged to have a substantive strategic impact and we have a system to conduct on-site verifications, request improvements and provide support. We also conduct Environmental Impact Surveys of suppliers, including water consumption, to gain a more detailed understanding of the actual situation.

[行を追加]

(5.11.7) 貴組織の環境課題に関するサプライヤーエンゲージメントの詳細を記入してください。

気候変動

(5.11.7.2) サプライヤーエンゲージメントによって推進される行動

選択:

☑ 気候変動への適応

(5.11.7.3) エンゲージメントの種類と詳細

キャパシティビルディング

☑ 明確なマイルストーンのある期限を定めた行動計画を作成するようにサプライヤーを支援する

情報収集

☑ 少なくとも年 1 回、サプライヤーから温室効果ガスに関するデータを収集する

☑ 少なくとも年 1 回、サプライヤーから目標に関する情報を収集する

(5.11.7.4) バリューチェーン上流の対象

該当するすべてを選択

☑ 1 次サプライヤー

☑ 2 次サプライヤー

(5.11.7.5) エンゲージメント対象 1 次サプライヤーからの調達額の割合 (%)

選択:

☑ 76～99%

(5.11.7.6) エンゲージメントの対象となる 1 次サプライヤー関連スコープ 3 排出量の割合 (%)

選択:

☑ 76～99%

(5.11.7.8) 協働している 2 次以上のサプライヤーの数

95

(5.11.7.9) エンゲージメントについて説明し、選択した環境行動に対するエンゲージメントの効果を説明してください

As part of the Socially Responsible Procurement Program, Epson collects and evaluates information from key suppliers who account for more than 80% of our global procurement spend, using a questionnaire (SAQ) developed independently by Epson based on the RBA standards. 80% of this procurement spend can be attributed to approximately 20% of the total number of suppliers. These suppliers are highly critical to our business continuity. We believe that the number of suppliers selected is sufficient to derive the benefits of our supplier engagement activities. If the Tier 1 supplier is a trading company, we request an investigation from the Tier 2 supplier. In the 2022 performance survey (conducted in FY2023), 100% of the targeted suppliers responded. As part of our Socially Responsible Procurement Program, we evaluate suppliers based on their Climate Change requirements, and if they are assessed as having a high risk,we have a system in place to conduct on-site verification, request improvements, and provide support. By gathering information through this survey, we can reduce Climate Change-related risks and prevent the financial impact of Climate Change-related risks by requesting improvements and providing support to high-risk suppliers. The survey consists of questions related to the environment and occupational health and safety. Requirements regarding climate change include (1) understanding GHG Scope 1, 2, and 3 and setting reduction targets, and (2) implementing measures to minimize energy consumption and greenhouse gas emissions. Evaluations are based on a comprehensive aggregation of responses to these questions and are classified into three groups: low risk (86 points or more), medium risk (66-85 points), and high risk (65 points or less). Epson's measure of success in this activity is to achieve 0% high-risk by FY2020: Achieved in FY2020. Currently, we aim to have all major suppliers ranked as low risk in terms of CSR by 2025. The percentage of suppliers judged to be low risk is increasing year by year. In the 2021 survey, it was 84%, but in the 2023 survey, it was 96%. 2023 Survey (RESULT IN CY2022) -High risk: 65 points or less；0％ -Medium risk: 66-85 points；4％ -Low risk: 86-100 points；96％ The results of responses to individual requirements are not disclosed.

(5.11.7.10) エンゲージメントは 1 次サプライヤーがこの環境課題に関連する環境要件を満たすのに役立ちます

選択:

☑ はい、環境要件を具体的にお答えください **:** (1) understanding GHG Scope 1, 2, and 3 and setting reduction targets, and (2) implementing measures to minimize energy consumption and greenhouse gas emissions.

(5.11.7.11) エンゲージメントは、選択した行動について、貴組織の 1 次サプライヤーがさらにそのサプライヤーと協働することを促します

選択:

☑ はい

水

(5.11.7.2) サプライヤーエンゲージメントによって推進される行動

選択:

☑ 完全に管理された上下水道・衛生（WASH）サービスの全従業員への提供

(5.11.7.3) エンゲージメントの種類と詳細

キャパシティビルディング

☑ 明確なマイルストーンのある期限を定めた行動計画を作成するようにサプライヤーを支援する

情報収集

☑ 少なくとも年 1 回、サプライヤーから WASH に関する情報を収集する

(5.11.7.4) バリューチェーン上流の対象

該当するすべてを選択

☑ 1 次サプライヤー

☑ 2 次サプライヤー

(5.11.7.5) エンゲージメント対象 1 次サプライヤーからの調達額の割合 (%)

選択:

☑ 76～99%

(5.11.7.7) エンゲージメントの対象となる環境課題に関して実質的な影響および/または依存度を持つ 1 次サプライヤーの割合 (%)

選択:

☑ 100%

(5.11.7.8) 協働している 2 次以上のサプライヤーの数

95

(5.11.7.9) エンゲージメントについて説明し、選択した環境行動に対するエンゲージメントの効果を説明してください

As part of the Socially Responsible Procurement Program, Epson collects and evaluates information from key suppliers who account for more than 80% of our global procurement spend, using a questionnaire (SAQ) developed independently by Epson based on the RBA standards. 80% of this procurement spend can be attributed to approximately 20% of the total number of suppliers. These suppliers are highly critical to our business continuity. We believe that the number of suppliers selected is sufficient to derive the benefits of our supplier engagement activities. Key suppliers can do business with us on an ongoing basis by responding to the SAQ. We call on suppliers directly to respond to the SAQ during our "Supplier Conference for CSR". If the Tier 1 supplier is a trading company, we request an investigation from the Tier 2 supplier. In the 2022 performance survey (conducted in FY2023), 100% of the targeted suppliers responded. By gathering information through this survey, we can reduce water-related risks and prevent the financial impact of water-related risks by requesting improvements and providing support to high-risk suppliers. The survey consists of questions related to the environment and occupational health and safety. We investigate (1) not only compliance with laws and regulations, but also management as a documented program and (2) toilets and cafeterias be maintained and operated in a clean and well maintained manner and in compliance with local health regulations and so on as requirements regarding water. Evaluations are based on a comprehensive aggregation of responses to these questions and are classified into three groups: low risk (86 points or more), medium risk (66-85 points), and high risk (65 points or less). Epson's measure of success in this activity is to achieve 0% high-risk by FY2020: Achieved in FY2020. Currently, we aim to have all major suppliers ranked as low risk in terms of CSR by 2025. The percentage of suppliers judged to be low risk is increasing year by year. In the 2021 survey, it was 84%, but in the 2023 survey, it was 96%. 2023 Survey (RESULT IN CY2022) - High risk: 65 points or less；0％ -Medium risk: 66-85 points；4％ -Low risk: 86-100 points；96％ The results of responses to individual requirements are not disclosed.

(5.11.7.10) エンゲージメントは 1 次サプライヤーがこの環境課題に関連する環境要件を満たすのに役立ちます

選択:

☑ はい、環境要件を具体的にお答えください **:**Toilets and dining facilities are kept clean and operated, WASH services are provided, and local hygiene rules are observed.

(5.11.7.11) エンゲージメントは、選択した行動について、貴組織の 1 次サプライヤーがさらにそのサプライヤーと協働することを促します

選択:

☑ はい

プラスチック

(5.11.7.2) サプライヤーエンゲージメントによって推進される行動

選択:

☑ その他のサプライヤーエンゲージメントはない

[行を追加]

(5.11.9) バリューチェーンのその他のステークホルダーとの環境エンゲージメント活動の詳細を記入してください。[データがまだありません]

気候変動

(5.11.9.1) ステークホルダーの種類

選択:

☑ その他のバリューチェーン上のステークホルダー、具体的にお答えください **:**WWF

(5.11.9.2) エンゲージメントの種類と詳細

教育/情報の共有

☑ 環境リスクへのエクスポージャーを理解・測定するためのステークホルダーへの教育/との連携

(5.11.9.3) エンゲージメントをしたステークホルダーの種類の割合(%)

選択:

☑ 1%未満

(5.11.9.4) ステークホルダー関連スコープ 3 排出量の割合(%)

選択:

☑ なし

(5.11.9.5) これらのステークホルダーと協働する根拠、およびエンゲージメントの範囲

The EARTH HOUR is a global environmental action against climate change that connects people around the world in a lights-out relay. Epson became the first private company to enter into an international partnership with WWF, and jointly implemented initiatives to promote the participation of as many people as possible in the event. The EARTH HOUR was launched by WWF in 2007 and has been implemented in more than 190 countries and regions to date. The program began sequentially in South Pacific countries beginning at the 20:30 mark of the day. Epson and EARTH HOUR introduced energy-saving actions that can be taken in daily life on their respective websites to encourage more people to sign up for the Hour Bank. Epson, in cooperation with Epson Group sales companies around the world, promoted energy-saving awareness by calling for participation in 26 languages. Epson also exhibited booths at events in Singapore and Japan on the day of the EARTH HOUR 2024.

(5.11.9.6) エンゲージメントの効果と成功を測る指標

EARTH HOUR uses an online counter, the “Hour Bank,” to count the hours spent taking action for the Earth as an indicator of the results of its activities. This is a tally of the time that people around the world have endorsed and declared their support for this initiative. In 2023, we collected 410,000 hours of declarations worldwide; in 2024, we collected 1.4 million hours of declarations, far exceeding last year's figure.

水

(5.11.9.1) ステークホルダーの種類

選択:

☑ 顧客

(5.11.9.2) エンゲージメントの種類と詳細

技術革新と協業

☑ 製品やサービスで環境インパクトを軽減するための技術革新に関してステークホルダーと協力する

(5.11.9.3) エンゲージメントをしたステークホルダーの種類の割合(%)

選択:

☑ 1%未満

(5.11.9.5) これらのステークホルダーと協働する根拠、およびエンゲージメントの範囲

In October 2022, Epson entered into a partnership with the fashion brand YUIMA NAKAZATO. This partnership aims to promote the production of high-quality apparel while reducing environmental impact using Seiko Epson's digital textile printing technology. Digital textile printing technology can reduce the quantity of water, ink, and chemicals used. The amount of water used can be reduced to one-tenth of the normal amount because "steaming" and "washing" in the process after textile printing are unnecessary. We will collaborate with YUIMA NAKAZATO for three years with the aim of transforming the fashion industry by experimenting with a value chain that does not produce waste, such as realizing production at the right time, in the right quantity, and in the right place.

(5.11.9.6) エンゲージメントの効果と成功を測る指標

As a result, Epson supported part of the costume production for the new Paris Haute Couture Fashion Week collection held in France in July 2023 and February 2024, following January 2023. The show featured new upcycled garments made from used clothing using Epson's digital textile printing and dry fiber technology. As a result, together with YUIMA NAKAZATO, Epson has introduced to the fashion industry the technologies, processes, and mechanisms that make it possible to create high-quality garments that meet diverse needs while reducing environmental impact. This initiative has been well received.

[行を追加]

(5.12) 特定の CDP サプライチェーンメンバーと協力できる、相互に利益のある環境イニシアチブがあれば、示してください。

Row 1

(5.12.1) 回答メンバー

選択:

(5.12.2) イニシアチブが関わる環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.12.4) イニシアチブのカテゴリーと種類

技術革新

☑ 顧客の製品/サービスの事業活動に伴う排出量を削減する新しい製品またはサービス

(5.12.5) イニシアチブの詳細

If you replace your office printer from laser printer (LP-M8170) to business inkjet printer (WorkForce Pro WF-C879R), CO2 emissions will be able to reduced 147kg in the average product lifecycle per unit. This is the comparison of global warming impacts of consumables and their packaging. High-capacity ink packs not only reduce costs but contribute to reducing environmental impact by reducing resource consumption and minimizing waste. They also ease the burden of managing consumables replacement and help reduce downtime.

(5.12.6) 期待されるメリット

該当するすべてを選択

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量(顧客のスコープ 1 および 2)の削減

(5.12.7) メリットを得られるまでの推定期間

選択:

☑ 0〜1 年

(5.12.8) このイニシアチブによるライフタイムの CO2 換算削減量および/または節水量を推定できますか。

選択:

☑ はい、ライフタイムの推定 CO2 換算削減量のみ

(5.12.9) 推定 CO2 換算削減量

147.4

Row 2

(5.12.1) 回答メンバー

選択:

(5.12.2) イニシアチブが関わる環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.12.4) イニシアチブのカテゴリーと種類

技術革新

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量を削減する新しい製品またはサービス

(5.12.5) イニシアチブの詳細

If you replace your office printer from laser printer (LP-M8170) to business inkjet printer (WorkForce Pro WF-C879R), CO2 emissions will be able to reduced 147kg in the average product lifecycle per unit. This is the comparison of global warming impacts of consumables and their packaging. High-capacity ink packs not only reduce costs but contribute to reducing environmental impact by reducing resource consumption and minimizing waste. They also ease the burden of managing consumables replacement and help reduce downtime.

(5.12.6) 期待されるメリット

該当するすべてを選択

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量(顧客のスコープ 1 および 2)の削減

(5.12.7) メリットを得られるまでの推定期間

選択:

☑ 0〜1 年

(5.12.8) このイニシアチブによるライフタイムの CO2 換算削減量および/または節水量を推定できますか。

選択:

☑ はい、ライフタイムの推定 CO2 換算削減量のみ

(5.12.9) 推定 CO2 換算削減量

147.4

Row 3

(5.12.1) 回答メンバー

選択:

(5.12.2) イニシアチブが関わる環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.12.4) イニシアチブのカテゴリーと種類

技術革新

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量を削減する新しい製品またはサービス

(5.12.5) イニシアチブの詳細

If you replace your office printer from laser printer (LP-M8170) to business inkjet printer (WorkForce Pro WF-C879R), CO2 emissions will be able to reduced 147kg in the average product lifecycle per unit. This is the comparison of global warming impacts of consumables and their packaging. High-capacity ink packs not only reduce costs but contribute to reducing environmental impact by reducing resource consumption and minimizing waste. They also ease the burden of managing consumables replacement and help reduce downtime.

(5.12.6) 期待されるメリット

該当するすべてを選択

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量(顧客のスコープ 1 および 2)の削減

(5.12.7) メリットを得られるまでの推定期間

選択:

☑ 0～1 年

(5.12.8) このイニシアチブによるライフタイムの CO2 換算削減量および/または節水量を推定できますか。

選択:

☑ はい、ライフタイムの推定 CO2 換算削減量のみ

(5.12.9) 推定 CO2 換算削減量

147.4

Row 4

(5.12.1) 回答メンバー

選択:

(5.12.2) イニシアチブが関わる環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.12.4) イニシアチブのカテゴリーと種類

技術革新

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量を削減する新しい製品またはサービス

(5.12.5) イニシアチブの詳細

If you replace your office printer from laser printer (LP-M8170) to business inkjet printer (WorkForce Pro WF-C879R), CO2 emissions will be able to reduced 147kg in the average product lifecycle per unit. This is the comparison of global warming impacts of consumables and their packaging. High-capacity ink packs not only reduce costs but contribute to reducing environmental impact by reducing resource consumption and minimizing waste. They also ease the burden of managing consumables replacement and help reduce downtime.

(5.12.6) 期待されるメリット

該当するすべてを選択

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量(顧客のスコープ 1 および 2)の削減

(5.12.7) メリットを得られるまでの推定期間

選択:

☑ 0～1 年

(5.12.8) このイニシアチブによるライフタイムの CO2 換算削減量および/または節水量を推定できますか。

選択:

☑ はい、ライフタイムの推定 CO2 換算削減量のみ

(5.12.9) 推定 CO2 換算削減量

147.4

Row 5

(5.12.1) 回答メンバー

選択:

(5.12.2) イニシアチブが関わる環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.12.4) イニシアチブのカテゴリーと種類

技術革新

☑ 顧客の製品/サービスの事業活動に伴う排出量を削減する新しい製品またはサービス

(5.12.5) イニシアチブの詳細

If you replace your office printer from laser printer (LP-M8170) to business inkjet printer (WorkForce Pro WF-C879R), CO2 emissions will be able to reduced 147kg in the average product lifecycle per unit. This is the comparison of global warming impacts of consumables and their packaging. High-capacity ink packs not only reduce costs but contribute to reducing environmental impact by reducing resource consumption and minimizing waste. They also ease the burden of managing consumables replacement and help reduce downtime.

(5.12.6) 期待されるメリット

該当するすべてを選択

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量(顧客のスコープ 1 および 2)の削減

(5.12.7) メリットを得られるまでの推定期間

選択:

☑ 0～1 年

(5.12.8) このイニシアチブによるライフタイムの CO2 換算削減量および/または節水量を推定できますか。

選択:

☑ はい、ライフタイムの推定 CO2 換算削減量のみ

(5.12.9) 推定 CO2 換算削減量

147.4

Row 6

(5.12.1) 回答メンバー

選択:

(5.12.2) イニシアチブが関わる環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.12.4) イニシアチブのカテゴリーと種類

技術革新

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量を削減する新しい製品またはサービス

(5.12.5) イニシアチブの詳細

If you replace your office printer from laser printer (LP-M8170) to business inkjet printer (WorkForce Pro WF-C879R), CO2 emissions will be able to reduced 147kg in the average product lifecycle per unit. This is the comparison of global warming impacts of consumables and their packaging. High-capacity ink packs not only reduce costs but contribute to reducing environmental impact by reducing resource consumption and minimizing waste. They also ease the burden of managing consumables replacement and help reduce downtime.

(5.12.6) 期待されるメリット

該当するすべてを選択

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量(顧客のスコープ 1 および 2)の削減

(5.12.7) メリットを得られるまでの推定期間

選択:

☑ 0～1 年

(5.12.8) このイニシアチブによるライフタイムの CO2 換算削減量および/または節水量を推定できますか。

選択:

☑ はい、ライフタイムの推定 CO2 換算削減量のみ

(5.12.9) 推定 CO2 換算削減量

147.4

Row 7

(5.12.1) 回答メンバー

選択:

(5.12.2) イニシアチブが関わる環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.12.4) イニシアチブのカテゴリーと種類

技術革新

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量を削減する新しい製品またはサービス

(5.12.5) イニシアチブの詳細

If you replace your office printer from laser printer (LP-M8170) to business inkjet printer (WorkForce Pro WF-C879R), CO2 emissions will be able to reduced 147kg in the average product lifecycle per unit. This is the comparison of global warming impacts of consumables and their packaging. High-capacity ink packs not only reduce costs but contribute to reducing environmental impact by reducing resource consumption and minimizing waste. They also ease the burden of managing consumables replacement and help reduce downtime.

(5.12.6) 期待されるメリット

該当するすべてを選択

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量(顧客のスコープ 1 および 2)の削減

(5.12.7) メリットを得られるまでの推定期間

選択:

☑ 0～1 年

(5.12.8) このイニシアチブによるライフタイムの CO2 換算削減量および/または節水量を推定できますか。

選択:

☑ はい、ライフタイムの推定 CO2 換算削減量のみ

(5.12.9) 推定 CO2 換算削減量

147.4

Row 8

(5.12.1) 回答メンバー

選択:

(5.12.2) イニシアチブが関わる環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.12.4) イニシアチブのカテゴリーと種類

技術革新

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量を削減する新しい製品またはサービス

(5.12.5) イニシアチブの詳細

If you replace your office printer from laser printer (LP-M8170) to business inkjet printer (WorkForce Pro WF-C879R), CO2 emissions will be able to reduced 147kg in the average product lifecycle per unit. This is the comparison of global warming impacts of consumables and their packaging. High-capacity ink packs not only reduce costs but contribute to reducing environmental impact by reducing resource consumption and minimizing waste. They also ease the burden of managing consumables replacement and help reduce downtime.

(5.12.6) 期待されるメリット

該当するすべてを選択

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量(顧客のスコープ 1 および 2)の削減

(5.12.7) メリットを得られるまでの推定期間

選択:

☑ 0～1 年

(5.12.8) このイニシアチブによるライフタイムの CO2 換算削減量および/または節水量を推定できますか。

選択:

☑ はい、ライフタイムの推定 CO2 換算削減量のみ

(5.12.9) 推定 CO2 換算削減量

147.4

Row 9

(5.12.1) 回答メンバー

選択:

(5.12.2) イニシアチブが関わる環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.12.4) イニシアチブのカテゴリーと種類

技術革新

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量を削減する新しい製品またはサービス

(5.12.5) イニシアチブの詳細

If you replace your office printer from laser printer (LP-M8170) to business inkjet printer (WorkForce Pro WF-C879R), CO2 emissions will be able to reduced 147kg in the average product lifecycle per unit. This is the comparison of global warming impacts of consumables and their packaging. High-capacity ink packs not only reduce costs but contribute to reducing environmental impact by reducing resource consumption and minimizing waste. They also ease the burden of managing consumables replacement and help reduce downtime.

(5.12.6) 期待されるメリット

該当するすべてを選択

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量(顧客のスコープ 1 および 2)の削減

(5.12.7) メリットを得られるまでの推定期間

選択:

☑ 0〜1 年

(5.12.8) このイニシアチブによるライフタイムの CO2 換算削減量および/または節水量を推定できますか。

選択:

☑ はい、ライフタイムの推定 CO2 換算削減量のみ

(5.12.9) 推定 CO2 換算削減量

147.4

Row 10

(5.12.1) 回答メンバー

選択:

(5.12.2) イニシアチブが関わる環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.12.4) イニシアチブのカテゴリーと種類

技術革新

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量を削減する新しい製品またはサービス

(5.12.5) イニシアチブの詳細

If you replace your office printer from laser printer (LP-M8170) to business inkjet printer (WorkForce Pro WF-C879R), CO2 emissions will be able to reduced 147kg in the average product lifecycle per unit. This is the comparison of global warming impacts of consumables and their packaging. High-capacity ink packs not only reduce costs but contribute to reducing environmental impact by reducing resource consumption and minimizing waste. They also ease the burden of managing consumables replacement and help reduce downtime.

(5.12.6) 期待されるメリット

該当するすべてを選択

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量(顧客のスコープ 1 および 2)の削減

(5.12.7) メリットを得られるまでの推定期間

選択:

☑ 0～1 年

(5.12.8) このイニシアチブによるライフタイムの CO2 換算削減量および/または節水量を推定できますか。

選択:

☑ はい、ライフタイムの推定 CO2 換算削減量のみ

(5.12.9) 推定 CO2 換算削減量

147.4

Row 11

(5.12.1) 回答メンバー

選択:

(5.12.2) イニシアチブが関わる環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.12.4) イニシアチブのカテゴリーと種類

技術革新

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量を削減する新しい製品またはサービス

(5.12.5) イニシアチブの詳細

If you replace your office printer from laser printer (LP-M8170) to business inkjet printer (WorkForce Pro WF-C879R), CO2 emissions will be able to reduced 147kg in the average product lifecycle per unit. This is the comparison of global warming impacts of consumables and their packaging. High-capacity ink packs not only reduce costs but contribute to reducing environmental impact by reducing resource consumption and minimizing waste. They also ease the burden of managing consumables replacement and help reduce downtime.

(5.12.6) 期待されるメリット

該当するすべてを選択

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量(顧客のスコープ 1 および 2)の削減

(5.12.7) メリットを得られるまでの推定期間

選択:

☑ 0～1 年

(5.12.8) このイニシアチブによるライフタイムの CO2 換算削減量および/または節水量を推定できますか。

選択:

☑ はい、ライフタイムの推定 CO2 換算削減量のみ

(5.12.9) 推定 CO2 換算削減量

147.4

Row 12

(5.12.1) 回答メンバー

選択:

(5.12.2) イニシアチブが関わる環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

(5.12.4) イニシアチブのカテゴリーと種類

技術革新

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量を削減する新しい製品またはサービス

(5.12.5) イニシアチブの詳細

If you replace your office printer from laser printer (LP-M8170) to business inkjet printer (WorkForce Pro WF-C879R), CO2 emissions will be able to reduced 147kg in the average product lifecycle per unit. This is the comparison of global warming impacts of consumables and their packaging. High-capacity ink packs not only reduce costs but contribute to reducing environmental impact by reducing resource consumption and minimizing waste. They also ease the burden of managing consumables replacement and help reduce downtime.

(5.12.6) 期待されるメリット

該当するすべてを選択

☑ 顧客の事業活動に伴う排出量(顧客のスコープ 1 および 2)の削減

(5.12.7) メリットを得られるまでの推定期間

選択:

☑ 0～1 年

(5.12.8) このイニシアチブによるライフタイムの CO2 換算削減量および/または節水量を推定できますか。

選択:

☑ はい、ライフタイムの推定 CO2 換算削減量のみ

(5.12.9) 推定 CO2 換算削減量

147.4
[行を追加]

(5.13) 貴組織は、CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより、双方にとって有益な環境イニシアチブをすでに実施していますか。

	CDP サプライチェーンメンバーのエンゲージメントにより実施される環境イニシアチブ	環境イニシアチブを実施しない主な理由	貴組織が環境イニシアチブを実施していない理由を説明してください
	選択: ☑ いいえ、しかし今後 2 年以内に行う予定です	*選択:* ☑ その他、具体的にお答えください :Reduce their own GHG emissions without being required to do so by targeted suppliers	*Promoting environmental activities without the involvement of CDP supply chain members.*

[固定行]

C6. 環境パフォーマンス - 連結アプローチ

(6.1) 環境パフォーマンスデータの計算に関して、選択した連結アプローチを具体的にお答えください。

気候変動

(6.1.1) 使用した連結アプローチ

選択:

☑ 財務管理

(6.1.2) 連結アプローチを選択した根拠を具体的にお答えください

Our environmental activities are regulated by the Epson Group Environmental Activity Management Regulations. Environmental performance data is managed in accordance with the Epson Group Environmental Data Management Regulations. The scope of these activities is based on the consolidated Epson Group using financial management. The environmental performance data for each site is consolidated in a system, and the environmental performance is monitored each month by the department in charge of the environment at head office. Environmental performance data includes energy consumption and GHG emissions, as well as water consumption and volumes of waste. The same consolidated approach used for water and waste is used to manage data on biodiversity.

水

(6.1.1) 使用した連結アプローチ

選択:

☑ 財務管理

(6.1.2) 連結アプローチを選択した根拠を具体的にお答えください

Our environmental activities are regulated by the Epson Group Environmental Activity Management Regulations. Environmental performance data is managed in accordance with the Epson Group Environmental Data Management Regulations. The scope of these activities is based on the consolidated Epson Group using financial management. The environmental performance data for each site is consolidated in a system, and the environmental performance is monitored each month by the department in charge of the environment at head office. Environmental performance data includes energy consumption and GHG emissions, as well as water

consumption and volumes of waste. The same consolidated approach used for water and waste is used to manage data on biodiversity.

プラスチック

(6.1.1) 使用した連結アプローチ

選択:

☑ 財務管理

(6.1.2) 連結アプローチを選択した根拠を具体的にお答えください

Our environmental activities are regulated by the Epson Group Environmental Activity Management Regulations. Environmental performance data is managed in accordance with the Epson Group Environmental Data Management Regulations. The scope of these activities is based on the consolidated Epson Group using financial management. The environmental performance data for each site is consolidated in a system, and the environmental performance is monitored each month by the department in charge of the environment at head office. Environmental performance data includes energy consumption and GHG emissions, as well as water consumption and volumes of waste. The same consolidated approach used for water and waste is used to manage data on biodiversity.

生物多様性

(6.1.1) 使用した連結アプローチ

選択:

☑ 財務管理

(6.1.2) 連結アプローチを選択した根拠を具体的にお答えください

Our environmental activities are regulated by the Epson Group Environmental Activity Management Regulations. Environmental performance data is managed in accordance with the Epson Group Environmental Data Management Regulations. The scope of these activities is based on the consolidated Epson Group using financial management. The environmental performance data for each site is consolidated in a system, and the environmental performance is monitored each month by the department in charge of the environment at head office. Environmental performance data includes energy consumption and GHG emissions, as well as water consumption and volumes of waste. The same consolidated approach used for water and waste is used to manage data on biodiversity.
[固定行]

C7. 環境実績 - 気候変動

(7.1) 今回が CDP に排出量データを報告する最初の年になりますか。

選択:

☑ いいえ

(7.1.1) 貴組織は報告年に構造的変化を経験しましたか。 あるいは過去の構造的変化がこの排出量データの情報開示に含まれていますか。

	構造的変化がありましたか。
	該当するすべてを選択 ☑ いいえ

[固定行]

(7.1.2) 貴組織の排出量算定方法、バウンダリ (境界)、および/または報告年の定義は報告年に変更されましたか。

(7.1.2.1) 評価方法、バウンダリ(境界)や報告年の定義に変更点はありますか。

該当するすべてを選択

☑ はい、評価方法の変更

(7.1.2.2) 評価方法、バウンダリ(境界)、および/または報告年の定義の変更点の詳細

Scope 1: Since FY2021, we have voluntarily applied renewable energy certificates to electricity generated by cogeneration systems (CGS) that use natural gas. The relevant GHG emissions used to be deducted from Scope 1 emissions when calculating our emissions. Starting this year, the GHG emissions is included in our Scope 1 emissions. Scope 2 (location-based): As with the market-based method, Scope 2 emissions used to be set to 0 for sites that completed switching to renewable energy. Starting this year, the average emission factors for each country are used in accordance with the location-based method.

[固定行]

(7.1.3) 7.1.1 および/または 7.1.2 で報告した変更または誤りの結果として、貴組織の基準年排出量および過去の排出量について再計算が行われましたか。

(7.1.3.1) 基準年再計算

選択:

☑ いいえ、その影響が重大性の閾値に至らないため

(7.1.3.3) 重大性の閾値を含む、基準年排出量再計算の方針

The boundary (target sites) was expanded in order to calculate emissions more precisely than in the base year. However, the base year emissions remain unchanged.

(7.1.3.4) 過去の排出量の再計算

選択:

☑ はい

[固定行]

(7.2) 活動データの収集や排出量の計算に使用した基準、プロトコル、または方法の名称を選択してください。

該当するすべてを選択

☑ 国家温室効果ガス インベントリに関する IPCC ガイドライン、2006 年

☑ GHG プロトコル:事業者の排出量の算定及び報告の基準(改訂版)

(7.3) スコープ 2 排出量を報告するための貴組織のアプローチを説明してください。

	スコープ 2、ロケーション基準	スコープ 2、マーケット基準	コメント
	選択: ☑ スコープ 2、ロケーション基準を報告しています	*選択:* ☑ スコープ 2、マーケット基準の値を報告しています	*We use market-based figures for Scope 2 calculations. We also provide location-based figures.*

[固定行]

(7.4) 選択した報告バウンダリ (境界) 内で、開示に含まれていないスコープ 1、スコープ 2、スコープ 3 の排出源 (例えば、施設、特定の温室効果ガス、活動、地理的場所等) はありますか。

選択:

☑ はい

(7.4.1) 選択した報告バウンダリ (境界) 内にあるが、開示に含まれないスコープ 1、スコープ 2、またはスコープ 3 排出量の発生源の詳細を記入してください。

Row 1

(7.4.1.1) 除外する排出源

For financial accounting purposes, environmental activities cover all consolidated subsidiaries; in fiscal 2023, 88 domestic and overseas Group companies (99% or more of the total number of employees), including Seiko Epson Corporation, were included in this total.Excludes companies in which the Seiko Epson Group has less than 50% voting rights, venture investment management, holding companies, subscription business operations, and real estate leasing.

(7.4.1.2) スコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ スコープ 1

☑ スコープ 2(マーケット基準)

(7.4.1.3) 除外する排出源のスコープ 1 との関連性について

選択:

☑ 排出量に関連性はない

(7.4.1.5) 除外する排出源の市場基準スコープ 2 排出量の関連性

選択:

☑ 排出量に関連性はない

(7.4.1.8) 除外された排出源に相当するスコープ 1+2 の総排出量の推定割合

0.8

(7.4.1.10) この発生源が除外される理由を説明します

The activities of the excluded companies do not involve production activities and account for a very small percentage of the Epson Group's GHG emissions. In addition, the company's leased office space does not allow for the development of proactive environmental activities.

(7.4.1.11) 除外された排出源に相当する排出量の割合をどのように推定したかを説明ください

Emissions were calculated based on the number of employees working at the excluded sites as a percentage of group employees. The estimated percentage of emissions from the excluded sources is 0.8% of the total emissions from the excluded sites.

[行を追加]

(7.5) 基準年と基準年排出量を記入してください。

スコープ 1

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

136734.0

(7.5.3) 方法論の詳細

Scope 1 consists of fuels (gas, oil) used by our company and greenhouse gases used in manufacturing processes and cooling systems. We collect the amount of use and emissions for each type of fuel and gas, and calculate by multiplying them by emission coefficients. For processes in which greenhouse gases are removed using abatement devices, the abatement rate is taken into account.

スコープ 2(ロケーション基準)

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

461690

(7.5.3) 方法論の詳細

Scope 2 emissions are from indirect energy use, such as electricity and steam purchased by our company. At our company, most of this comes from purchased electricity. Scope 2 (location-based) was calculated by multiplying the amount of electricity purchased at each site by the emission factor for each country and region.

スコープ 2(マーケット基準)

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

455110.0

(7.5.3) 方法論の詳細

Scope 2 emissions are from indirect energy use, such as electricity and steam purchased by our company. At our company, most of this comes from purchased electricity. For Scope 2 (market standard), the amount of electricity purchased at each site is multiplied by the emission factor for each power company. Note that if the purchased electricity is renewable energy, the emission factor will be zero.

スコープ 3 カテゴリー1:購入した商品およびサービス

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

1100282.0

(7.5.3) 方法論の詳細

*Multiplied the mass of materials that comprise sold products by their emission factors *Same as below ・Basic Guidelines on Accounting for Greenhouse Gas Emissions Throughout the Supply Chain (ver2.6) ・Emission Intensity Database for Calculating GHG Emissions of Organizations Throughout the Supply Chain (Ver.3.4） ・IDEAv2.3*

スコープ 3 カテゴリー2:資本財

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

239828.0

(7.5.3) 方法論の詳細

Multiplied the capital expenditure in each investment account by emission factors

スコープ 3 カテゴリー3:燃料およびエネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれない)

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

39233.0

(7.5.3) 方法論の詳細

Multiplied the amount of each type of energy used at each site by their emission factors

スコープ 3 カテゴリー4:上流の輸送および物流

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

220645.0

(7.5.3) 方法論の詳細

Emissions from transportation to Epson of products and services purchased from suppliers, and emissions from the transport of goods by Epson, were calculated by

multiplying the mass of transported goods and the distance transported by emissions factors

スコープ 3 カテゴリー5:操業で発生した廃棄物

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

5883.0

(7.5.3) 方法論の詳細

Multiplied the amount of each type of waste generated at each site by their emission factors

スコープ 3 カテゴリー6:出張

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

20270.0

(7.5.3) 方法論の詳細

Multiplied the transportation expenses for each transportation mode and lodging expenses by their emission factors

スコープ 3 カテゴリー7:雇用者の通勤

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

34269.0

(7.5.3) 方法論の詳細

Multiplied the transportation expenses for each transportation mode by their emission factors

スコープ 3 カテゴリー8:上流のリース資産

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

4286.0

(7.5.3) 方法論の詳細

For emissions from the operation of leased assets (excluding those not already included in scope 1 or scope 2 inventories), the floor area of leased buildings was multiplied by emission factors

スコープ 3 カテゴリー9:下流の輸送および物流

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

6212.0

(7.5.3) 方法論の詳細

Multiplied the sold product not shipped by Epson and the average distances of transported volumes by their emission factors per unit

スコープ 3 カテゴリー10:販売製品の加工

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

67564.0

(7.5.3) 方法論の詳細

Multiplied the electricity consumed in the processing of intermediate products into finished products by emission factors

スコープ 3 カテゴリー11:販売製品の使用

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

1443832.0

(7.5.3) 方法論の詳細

Multiplied the estimated electricity consumption over the lifetime of sold products by an emission factor

スコープ 3 カテゴリー12:販売製品の生産終了処理

(7.5.1) 基準年終了

03/31/2018

(7.5.2) 基準年排出量(CO2 換算トン)

78678.0

(7.5.3) 方法論の詳細

Multiplied the mass of each type of waste treated by the emission factor for each type of waste treatment

スコープ 3 カテゴリー13:下流のリース資産

(7.5.3) 方法論の詳細

We have no assets leased to customers and this category is not relevant.

スコープ 3 カテゴリー14:フランチャイズ

(7.5.3) 方法論の詳細

We have no franchise business and this category is not relevant.

スコープ 3 カテゴリー15:投資

(7.5.3) 方法論の詳細

We do not engage in investment management and this category is not relevant.

スコープ 3:その他(上流)

(7.5.3) 方法論の詳細

Not applicable

スコープ 3:その他(下流)

(7.5.3) 方法論の詳細

Not applicable
[固定行]

(7.6) 貴組織のスコープ 1 全世界総排出量を教えてください (単位: CO2 換算トン)。

報告年

(7.6.1) スコープ 1 世界合計総排出量(CO2 換算トン)

120577.443

(7.6.3) 方法論の詳細

We calculate CO2 emissions as follows: Energy: Fossil fuel, Gas Formula: (CO2 emissions) (the consumption of Energy) x (CO2 emission factor) The consumption of Energy: The values are based on invoices. CO2 emission factor: The values are based on “IPCC 2019 Guidelines for National Greenhouse Gas Inventories”. Global warming substances Formula: (CO2 emissions) (the emissions of Global warming substances) x (Global warming potential: GWP) The emissions of Global warming substances: We set guidelines based on “2019 Refinement to the 2006 IPCC Guidelines for National Greenhouse Gas Inventories” and calculate the emissions by actual usage. GWP: The values are based on ” IPCC Fifth Assessment Report (AR5)”.

過年度 1 年目

(7.6.1) スコープ 1 世界合計総排出量(CO2 換算トン)

159195.587

(7.6.2) 終了日

03/30/2023

(7.6.3) 方法論の詳細

We calculate CO2 emissions as follows: Energy: Fossil fuel, Gas Formula: (CO2 emissions) (the consumption of Energy) x (CO2 emission factor) The consumption

of Energy: The values are based on invoices. CO2 emission factor: The values are based on “IPCC 2019 Guidelines for National Greenhouse Gas Inventories”. Global warming substances Formula: (CO2 emissions) (the emissions of Global warming substances) x (Global warming potential: GWP) The emissions of Global warming substances: We set guidelines based on “IPCC Good Practice Guidance and Uncertainty Management in National Greenhouse Gas Inventories“ and calculate the emissions by actual usage. GWP: The values are based on ” IPCC Fifth Assessment Report (AR5)”.

過去 **2** 年

(7.6.1) スコープ 1 世界合計総排出量(CO2 換算トン)

124723.826

(7.6.2) 終了日

03/30/2022

(7.6.3) 方法論の詳細

We calculate CO2 emissions as follows: Energy: Fossil fuel, Gas Formula: (CO2 emissions) (the consumption of Energy) x (CO2 emission factor) The consumption of Energy: The values are based on invoices. CO2 emission factor: The values are based on “IPCC 2019 Guidelines for National Greenhouse Gas Inventories”. Global warming substances Formula: (CO2 emissions) (the emissions of Global warming substances) x (Global warming potential: GWP) The emissions of Global warming substances: We set guidelines based on “IPCC Good Practice Guidance and Uncertainty Management in National Greenhouse Gas Inventories“ and calculate the emissions by actual usage. GWP: The values are based on ” IPCC Fifth Assessment Report (AR5)”.
[固定行]

(7.7) 貴組織のスコープ 2 全世界総排出量を教えてください (単位: CO2 換算トン)。

報告年

(7.7.1) スコープ 2、ロケーション基準全世界総排出量 (CO2 換算トン)

414739.133

(7.7.2) スコープ 2、マーケット基準全世界総排出量 (CO2 換算トン) (該当する場合)

15251.499

(7.7.4) 方法論の詳細

We calculate CO2 emissions as follows: Electricity Formula: (CO2 emissions) (the consumption of electricity) x (CO2 emission factor) The consumption of Electricity: The values are based on invoices. CO2 emission factor: [location-based emissions] The values in case of Japan are based on National average coefficient presented by the Ministry of the Environment. The values in case of outside Japan are based on IEA (2023) Emission Factors. [market-based emissions] The values based on each local electric power supplier's emission factors. Steam Formula: (CO2 emissions) (the consumption of steam) x (CO2 emission factor) The consumption of steam: The values are based on invoices. CO2 emission factor: The values are based on "Greenhouse Gas Emissions Calculation and Reporting Manual Ver.5.0)" presented by the Ministry of the Environment.

過年度 **1** 年目

(7.7.1) スコープ **2**、ロケーション基準全世界総排出量 **(CO2** 換算トン**)**

421970.24

(7.7.2) スコープ **2**、マーケット基準全世界総排出量 **(CO2** 換算トン**) (**該当する場合**)**

92855

(7.7.3) 終了日

03/30/2023

(7.7.4) 方法論の詳細

We calculate CO2 emissions as follows: Electricity Formula: (CO2 emissions) (the consumption of electricity) x (CO2 emission factor) The consumption of Electricity: The values are based on invoices. CO2 emission factor: [location-based emissions] The values in case of Japan are based on National average coefficient presented by the Ministry of the Environment. The values in case of outside Japan are based on IEA (2023) Emission Factors. [market-based emissions] The values based on each local electric power supplier's emission factors. Steam Formula: (CO2 emissions) (the consumption of steam) x (CO2 emission factor) The consumption of steam: The values are based on invoices. CO2 emission factor: The values are based on "Greenhouse Gas Emissions Calculation and Reporting Manual Ver.5.0)" presented by the Ministry of the Environment. The location-based emissions for the previous years will be modified using the above methodology. There is no revision of market-based emissions.

過去 **2** 年

(7.7.1) スコープ 2、ロケーション基準全世界総排出量 (CO2 換算トン)

417792.367

(7.7.2) スコープ 2、マーケット基準全世界総排出量 (CO2 換算トン) (該当する場合)

229883

(7.7.3) 終了日

03/30/2022

(7.7.4) 方法論の詳細

We calculate CO2 emissions as follows: Electricity Formula: (CO2 emissions) (the consumption of electricity) x (CO2 emission factor) The consumption of Electricity: The values are based on invoices. CO2 emission factor: [location-based emissions] The values in case of Japan are based on National average coefficient presented by the Ministry of the Environment. The values in case of outside Japan are based on IEA (2023) Emission Factors. [market-based emissions] The values based on each local electric power supplier's emission factors. Steam Formula: (CO2 emissions) (the consumption of steam) x (CO2 emission factor) The consumption of steam: The values are based on invoices. CO2 emission factor: The values are based on "Greenhouse Gas Emissions Calculation and Reporting Manual Ver.5.0)" presented by the Ministry of the Environment. The location-based emissions for the previous years will be modified using the above methodology. There is no revision of market-based emissions.
[固定行]

(7.8) 貴組織のスコープ 3 全世界総排出量を示すとともに、除外項目について開示および説明してください。

購入した商品およびサービス

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性あり、算定済み

(7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

948086

(7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

☑ 平均データ手法

(7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

1.58

(7.8.5) 説明してください

*Multiplied the mass of materials that comprise sold products by their emission factors We independently calculated specific consumption units for some parts using information from suppliers. *Same as below ・Basic Guidelines on Accounting for Greenhouse Gas Emissions Throughout the Supply Chain (ver2.6) ・Emission Intensity Database for Calculating GHG Emissions of Organizations Throughout the Supply Chain (Ver.3.4） ・IDEAv2.3*

資本財

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性あり、算定済み

(7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

173774

(7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

☑ 支出額に基づいた手法

(7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

(7.8.5) 説明してください

Multiplied the capital expenditure in each investment account by emission factors

燃料およびエネルギー関連活動(スコープ 1 または 2 に含まれない)

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性あり、算定済み

(7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

22654

(7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

☑ 燃料に基づいた手法

(7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

(7.8.5) 説明してください

Multiplied the amount of each type of energy used at each site by their emission factors

上流の輸送および物流

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性あり、算定済み

(7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

140991

(7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

☑ 距離に基づいた手法

(7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

(7.8.5) 説明してください

Emissions from transportation to Epson of products and services purchased from suppliers, and emissions from the transport of goods by Epson, were calculated by multiplying the mass of transported goods and the distance transported by emissions factors

操業で発生した廃棄物

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性あり、算定済み

(7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

3465

(7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

☑ 廃棄物の種類特有の手法

(7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

(7.8.5) 説明してください

Multiplied the amount of each type of waste generated at each site by their emission factors

出張

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性あり、算定済み

(7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

31586

(7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

☑ 支出額に基づいた手法

(7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

(7.8.5) 説明してください

Multiplied the transportation expenses for each transportation mode and lodging expenses by their emission factors

雇用者の通勤

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性あり、算定済み

(7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

35401

(7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

☑ 支出額に基づいた手法

(7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

(7.8.5) 説明してください

Multiplied the transportation expenses for each transportation mode by their emission factors

上流のリース資産

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性あり、算定済み

(7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

1541

(7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

☑ 賃貸資産特有の手法

(7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

(7.8.5) 説明してください

For emissions from the operation of leased assets (excluding those not already included in scope 1 or scope 2 inventories), the floor area of leased buildings was multiplied by emission factors

下流の輸送および物流

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性あり、算定済み

(7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

4599

(7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

☑ 距離に基づいた手法

(7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

(7.8.5) 説明してください

Multiplied the sold product not shipped by Epson and the average distances of transported volumes by their emission factors per unit

販売製品の加工

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性あり、算定済み

(7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

32871

(7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

☑ 平均データ手法

(7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

(7.8.5) 説明してください

Multiplied the electricity consumed in the processing of intermediate products into finished products by emission factors

販売製品の使用

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性あり、算定済み

(7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

865507

(7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

☑ 平均データ手法

(7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

(7.8.5) 説明してください

Multiplied the estimated electricity consumption over the lifetime of sold products by an emission factor

販売製品の生産終了処理

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性あり、算定済み

(7.8.2) 報告年の排出量(CO2 換算トン)

91378

(7.8.3) 排出量計算方法

該当するすべてを選択

☑ 廃棄物の種類特有の手法

(7.8.4) サプライヤーまたはバリューチェーン・パートナーから得たデータを用いて計算された排出量の割合

0

(7.8.5) 説明してください

Multiplied the mass of each type of waste treated by the emission factor for each type of waste treatment

下流のリース資産

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性がない、理由の説明

(7.8.5) 説明してください

We have no assets leased to customers and this category is not relevant.

フランチャイズ

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性がない、理由の説明

(7.8.5) 説明してください

We have no franchise business and this category is not relevant.

投資

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性がない、理由の説明

(7.8.5) 説明してください

We do not engage in investment management and this category is not relevant.

その他(上流)

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

Not applicable

その他(下流)

(7.8.1) 評価状況

選択:

☑ 関連性を評価していない

(7.8.5) 説明してください

Not applicable
[固定行]

(7.9) 報告した排出量に対する検証/保証の状況を回答してください。

	検証/保証状況
スコープ 1	*選択:* ☑ 第三者検証/保証を実施中
スコープ 2(ロケーション基準またはマーケット基準)	*選択:* ☑ 第三者検証/保証を実施中
スコープ 3	*選択:* ☑ 第三者検証/保証を実施中

[固定行]

(7.9.1) スコープ 1 排出量に対して実施した検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。

Row 1

(7.9.1.1) 検証/保証の実施サイクル

選択:

☑ 年 1 回のプロセス

(7.9.1.2) 報告年における検証/保証取得状況

選択:

☑ 完成

(7.9.1.3) 検証/保証の種別

選択:

☑ 限定的保証

(7.9.1.4) 声明書を添付

7.9.1_Verification Report.pdf

(7.9.1.5) ページ/章

Page1

(7.9.1.6) 関連する規格

選択:

☑ ISO14064-3

(7.9.1.7) 検証された報告排出量の割合(%)

100
[行を追加]

(7.9.2) スコープ 2 排出量に対して実施した検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。

Row 1

(7.9.2.1) スコープ 2 の手法

選択:

☑ スコープ 2 マーケット基準

(7.9.2.2) 検証/保証の実施サイクル

選択:

☑ 年 1 回のプロセス

(7.9.2.3) 報告年における検証/保証取得状況

選択:

☑ 完成

(7.9.2.4) 検証/保証の種別

選択:

☑ 限定的保証

(7.9.2.5) 声明書を添付

7.9.2_Verification Report.pdf

(7.9.2.6) ページ/章

Page1

(7.9.2.7) 関連する規格

選択:

☑ ISO14064-3

(7.9.2.8) 検証された報告排出量の割合(%)

100
[行を追加]

(7.9.3) スコープ 3 排出量に対して実施した検証/保証の詳細を記入し、関連する報告書を添付してください。

Row 1

(7.9.3.1) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ スコープ 3:購入した商品およびサービス

(7.9.3.2) 検証/保証の実施サイクル

選択:

☑ 年 1 回のプロセス

(7.9.3.3) 報告年における検証/保証取得状況

選択:

☑ 完成

(7.9.3.4) 検証/保証の種別

選択:

☑ 限定的保証

(7.9.3.5) 声明書を添付

7.9.3_Verification Report.pdf

(7.9.3.6) ページ/章

Page1

(7.9.3.7) 関連する規格

選択:

☑ ISO14064-3

(7.9.3.8) 検証された報告排出量の割合(%)

100

Row 2

(7.9.3.1) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ スコープ 3:販売製品の使用

(7.9.3.2) 検証/保証の実施サイクル

選択:

☑ 年 1 回のプロセス

(7.9.3.3) 報告年における検証/保証取得状況

選択:

☑ 完成

(7.9.3.4) 検証/保証の種別

選択:

☑ 限定的保証

(7.9.3.5) 声明書を添付

7.9.3_Verification Report.pdf

(7.9.3.6) ページ/章

Page1

(7.9.3.7) 関連する規格

選択:

☑ ISO14064-3

(7.9.3.8) 検証された報告排出量の割合(%)

100
[行を追加]

(7.10) 報告年における排出量総量 (スコープ **1+2** 合計) は前年と比較してどのように変化しましたか。

選択:

☑ 減少

(7.10.1) 世界総排出量 (スコープ **1** と **2** の合計) の変化の理由を特定し、理由ごとに前年と比較して排出量がどのように変化したかを示してください。

再生可能エネルギー消費の変化

(7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

77535

(7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

☑ 減少

(7.10.1.3) 排出量（割合）

33.03

(7.10.1.4) 計算を説明してください

Achieve 100% renewable energy by December 2023. As a result, a 33.03% reduction change in renewable energy consumption / (total scope 1 and scope 2 emissions in the previous year (234,738t)

その他の排出量削減活動

(7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

17881

(7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

☑ 減少

(7.10.1.3) 排出量（割合）

7.62

(7.10.1.4) 計算を説明してください

Measures were implemented, such as preventing steam leaks, optimizing pressure, substituting substances, and installing and operating abatement equipment, resulting in a 7.61% reduction reduction in emissions due to measures / (total Scope 1 and Scope 2 emissions from the previous year (234,738t)

投資引き上げ

(7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

0

(7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

☑ 変更なし

(7.10.1.3) 排出量（割合）

0

(7.10.1.4) 計算を説明してください

Not applicable.

買収

(7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

0

(7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

☑ 変更なし

(7.10.1.3) 排出量（割合）

0

(7.10.1.4) 計算を説明してください

Not applicable.

合併

(7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

0

(7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

☑ 変更なし

(7.10.1.3) 排出量（割合）

0

(7.10.1.4) 計算を説明してください

Not applicable.

生産量の変化

(7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

13891

(7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

☑ 減少

(7.10.1.3) 排出量（割合）

5.92

(7.10.1.4) 計算を説明してください

Production volume has decreased from last year, decreasing by 5.92% Emissions decrease due to decreased production volume / (Total Scope 1 and Scope 2 emissions for the previous year (234,738t)

方法論の変更

(7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

4709

(7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

☑ 減少

(7.10.1.3) 排出量（割合）

2.01

(7.10.1.4) 計算を説明してください

Due to a revision of the guidelines for calculating greenhouse gas emissions, etc., a 2.01% decrease was achieved Emissions reduction due to methodology changes / (total Scope 1 and Scope 2 emissions from the previous year (234,738t)

バウンダリ(境界)の変更

(7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

0

(7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

☑ 変更なし

(7.10.1.3) 排出量（割合）

0

(7.10.1.4) 計算を説明してください

Not applicable.

物理的操業条件の変化

(7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

0

(7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

☑ 変更なし

(7.10.1.3) 排出量（割合）

0

(7.10.1.4) 計算を説明してください

Not applicable.

特定していない

(7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

1

(7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

☑ 変更なし

(7.10.1.3) 排出量（割合）

0

(7.10.1.4) 計算を説明してください

Not applicable.

その他

(7.10.1.1) 排出量の変化(CO2 換算トン)

2204

(7.10.1.2) 排出量変化の増減

選択:

☑ 減少

(7.10.1.3) 排出量（割合）

0.94

(7.10.1.4) 計算を説明してください

Refrigerant usage decreased due to air conditioning equipment renewal, etc., resulting in a 0.94% decrease Decrease in emissions due to decreased refrigerant usage / (total Scope 1 and Scope 2 emissions for the previous year (234,738t)
[固定行]

(7.10.2) 7.10 および 7.10.1 の排出量実績計算は、ロケーション基準のスコープ 2 排出量値もしくはマーケット基準のスコープ 2 排出量値のどちらに基づいていますか。

選択:

☑ マーケット基準

(7.12) 生物起源炭素由来の二酸化炭素排出は貴組織に関連しますか。

選択:

☑ いいえ

(7.15) 貴組織では、スコープ 1 排出量の温室効果ガスの種類別の内訳を作成していますか。

選択:

☑ はい

(7.15.1) スコープ 1 全世界総排出量の内訳を温室効果ガスの種類ごとに回答し、使用した地球温暖化係数 (GWP) それぞれの出典も記入してください。

Row 1

(7.15.1.1) GHG

選択:

☑ CO2

(7.15.1.2) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

64034.9

(7.15.1.3) GWP 参照

選択:

☑ IPCC 第 5 次評価報告書(AR5 – 100 年値)

Row 2

(7.15.1.1) GHG

選択:

☑ CH4

(7.15.1.2) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0.726

(7.15.1.3) GWP 参照

選択:

☑ IPCC 第 5 次評価報告書(AR5 – 100 年値)

Row 3

(7.15.1.1) GHG

選択:

☑ N2O

(7.15.1.2) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

669.259

(7.15.1.3) GWP 参照

選択:

☑ IPCC 第 5 次評価報告書(AR5 – 100 年値)

Row 4

(7.15.1.1) GHG

選択:

☑ HFCs

(7.15.1.2) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

7514.204

(7.15.1.3) GWP 参照

選択:

☑ IPCC 第 5 次評価報告書(AR5 – 100 年値)

Row 5

(7.15.1.1) GHG

選択:

☑ PFCs

(7.15.1.2) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

36726.15

(7.15.1.3) GWP 参照

選択:

☑ IPCC 第 5 次評価報告書(AR5 – 100 年値)

Row 6

(7.15.1.1) GHG

選択:

☑ SF6

(7.15.1.2) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

9338.136

(7.15.1.3) GWP 参照

選択:

☑ IPCC 第 5 次評価報告書(AR5 – 100 年値)

Row 7

(7.15.1.1) GHG

選択:

☑ NF3

(7.15.1.2) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

2294.068

(7.15.1.3) GWP 参照

選択:

☑ IPCC 第 5 次評価報告書(AR5 – 100 年値)
[行を追加]

(7.16) スコープ 1 および 2 の排出量の内訳を国/地域別で回答してください。

アルゼンチン

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

66.343

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

43.546

オーストラリア

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

417.58

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

3.131

ブラジル

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

98.398

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

194.749

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

16.298

カナダ

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

53.25

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

34.273

チリ

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

23.265

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

15.342

中国

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

1660.142

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

41472.034

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

536.61

コロンビア

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

5.704

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

3.3

コスタリカ

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0.029

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0.019

チェコ

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

12.206

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

デンマーク

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

1.685

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

エクアドル

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0.209

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0.143

フランス

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

37.215

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

ドイツ

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

79.938

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

香港特別行政区(中国)

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

147.387

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

ハンガリー

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0.914

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

インド

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

250.484

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0.619

インドネシア

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

651.512

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

43156.103

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

イタリア

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

169.91

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

208.294

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

日本

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

114401.573

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

217427.178

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

マレーシア

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

464.964

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

33238.526

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

13110.035

メキシコ

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

68.788

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

47.574

オランダ

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

63.517

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

114.094

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

ニュージーランド

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

2.399

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

ノルウェー

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0.097

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

ペルー

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

16.128

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

8.982

フィリピン

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

1260.41

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

53204.329

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

ポーランド

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

13.985

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

大韓民国

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

115.377

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

シンガポール

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0.092

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

9573.948

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

スペイン

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

50.691

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

スリランカ

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

2.274

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

台湾(中国)

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

439.057

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

291.664

タイ

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

175.997

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

18788.64

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国(英国)

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

932.241

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

1472.784

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0

アメリカ合衆国（米国）

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

698.687

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

4195.599

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

1139.963

ベトナム

(7.16.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.16.2) スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)

19.824

(7.16.3) スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)

0
[固定行]

(7.17) スコープ 1 世界総排出量の内訳のうちのどれを記入できるか示してください。

該当するすべてを選択

☑ 事業部門別

(7.17.1) 事業部門別にスコープ 1 全世界総排出量の内訳をお答えください。

	事業部門	スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)
Row 1	*Manufacturing Solutions*	*1116.257*
Row 2	*Microdevices*	*61208.184*
Row 3	*Printing Solutions & IJS*	*20432.389*
Row 4	*Wearable Products*	*1623.7*
Row 5	*Rest*	*13197.251*
Row 6	*Visual Products*	*22999.662*

[行を追加]

(7.20) スコープ 2 世界総排出量の内訳のうちのどれを記入できるか示してください。

該当するすべてを選択

☑ 事業部門別

(7.20.1) 事業部門別にスコープ 2 全世界総排出量の内訳をお答えください。

	事業部門	スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)	スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)
Row 1	*Rest*	*42313.492*	*1552.194*
Row 2	*Microdevices*	*139443.562*	*9908.127*
Row 3	*Visual Products*	*47049.929*	*0*

	事業部門	スコープ 2、ロケーション基準(CO2 換算トン)	スコープ 2、マーケット基準(CO2 換算トン)
Row 4	*Manufacturing Solutions*	*3549.837*	*0*
Row 5	*Wearable Products*	*25846.837*	*3782.213*
Row 6	*Printing Solutions & IJS*	*166667.45*	*8.965*

[行を追加]

(7.22) 連結会計グループと回答に含まれる別の事業体の間のスコープ **1** およびスコープ **2** 総排出量の内訳をお答えください。

連結会計グループ

(7.22.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

120577.443

(7.22.2) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

414739.133

(7.22.3) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

15251.499

(7.22.4) 説明してください

No companies report outside the reporting boundary.

その他すべての事業体

(7.22.1) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.22.2) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

0

(7.22.3) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0

(7.22.4) 説明してください

No companies report outside the reporting boundary.
[固定行]

(7.23) 貴組織の CDP 回答に含まれる子会社の排出量データの内訳を示すことはできますか。

選択:

☑ はい

(7.23.1) スコープ 1 およびスコープ 2 の総排出量の内訳を子会社別にお答えください。

Row 1

(7.23.1.1) 子会社名

EPSON ATMIX CORPORATION

(7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

☑ 電子部品

(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

☑ 固有 ID はありません

(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

2868.716

(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

16507.601

(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0

(7.23.1.15) コメント

There is no ISIN code because it is not listed. This subsidiary has already converted to renewable energy and has no CO2 emissions associated with electricity usage.

Row 2

(7.23.1.1) 子会社名

PT. INDONESIA EPSON INDUSTRY

(7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

☑ 電気機器

(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

☑ 固有 ID はありません

(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

368.342

(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

26212.545

(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0

(7.23.1.15) コメント

There is no ISIN code because it is not listed.

Row 3

(7.23.1.1) 子会社名

TOHOKU EPSON CORPORATION

(7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

☑ 電気機器

(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

☑ 固有 ID はありません

(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

59190.352

(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

97795.783

(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0.0

(7.23.1.15) コメント

There is no ISIN code because it is not listed. This subsidiary has already converted to renewable energy and has no CO2 emissions associated with electricity usage.

Row 4

(7.23.1.1) 子会社名

Epson Precision (Philippines), Inc.

(7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

☑ 電気機器

(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

☑ 固有 ID はありません

(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

1260.41

(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

52907.18

(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0.0

(7.23.1.15) コメント

There is no ISIN code because it is not listed. This subsidiary has already converted to renewable energy and has no CO2 emissions associated with electricity usage

Row 5

(7.23.1.1) 子会社名

EPSON AMERICA, INC.

(7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

☑ 家庭用品および事務用品卸売り

(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

☑ 固有 ID はありません

(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

441.316

(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

1659.103

(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

1084.146

(7.23.1.15) コメント

There is no ISIN code because it is not listed. The subsidiary converted to renewable energy in 2023.

Row 6

(7.23.1.1) 子会社名

EPSON EUROPE ELECTRONICS GMBH

(7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

☑ ハイテク金属製品卸売りおよび流通

(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

☑ 固有 ID はありません

(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

21.574

(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0

(7.23.1.15) コメント

There is no ISIN code because it is not listed. This subsidiary has already converted to renewable energy and has no CO2 emissions associated with electricity usage.

Row 7

(7.23.1.1) 子会社名

EPSON FRANCE S.A.S

(7.23.1.2) 主な事業活動

選択:

☑ 家庭用品および事務用品卸売り

(7.23.1.3) この子会社に対して貴組織が提示できる固有 ID を選択してください

該当するすべてを選択

☑ 固有 ID はありません

(7.23.1.12) スコープ 1 排出量(CO2 換算トン)

0

(7.23.1.13) スコープ 2 排出量、ロケーション基準(CO2 換算トン)

37.215

(7.23.1.14) スコープ 2、マーケット基準排出量(CO2 換算トン)

0

(7.23.1.15) コメント

There is no ISIN code because it is not listed. This subsidiary has already converted to renewable energy and has no CO2 emissions associated with electricity usage.
[行を追加]

(7.26) 本報告対象期間に販売した商品またはサービス量に応じて、貴組織の排出量を以下に示す顧客に割り当ててください。

Row 1

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 1

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

0.9

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 1 emissions are from use of fuel for air conditioning and the use of greenhouse gases at production facilities.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 2

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 2: マーケット基準

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

3.4

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 2 emissions are electricity used to power production lines in factory, lighting in offices.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 3

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 3

(7.26.3) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ カテゴリー6:出張
☑ カテゴリー2:資本財
☑ カテゴリー7:雇用者の通勤
☑ カテゴリー8:上流のリース資産
☑ カテゴリー5:操業で発生した廃棄物
☑ カテゴリー1:購入した商品およびサービス
☑ カテゴリー3:燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1・2 に含まれない)

☑ カテゴリー4:上流の輸送および物流

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

15.5

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Category 1 Multiplied the mass of materials that comprise sold products by their emission factors Category 2 Multiplied the capital expenditure in each investment account by emission factors Category 3 Multiplied the amount of each type of energy used at each site by their emission factors Category 4 Emissions from transportation to Epson of products and services purchased from suppliers, and emissions from the transport of goods by Epson, were calculated by multiplying the mass of transported goods and the distance transported by emissions factors Category 5 Multiplied the amount of each type of waste generated at each site by their emission factors Category 6 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode and lodging expenses by their emission factors Category 7 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode by their emission factors Category 8 For emissions from the operation of leased assets (excluding those not already included in scope 1 or scope 2 inventories), the floor area of leased buildings was multiplied by emission factors

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 4

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 1

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

13

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 1 emissions are from use of fuel for air conditioning and the use of greenhouse gases at production facilities.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 5

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 2: マーケット基準

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

52.4

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 2 emissions are electricity used to power production lines in factory, lighting in offices.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 6

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 3

(7.26.3) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ カテゴリー6:出張
☑ カテゴリー2:資本財
☑ カテゴリー7:雇用者の通勤
☑ カテゴリー8:上流のリース資産
☑ カテゴリー4:上流の輸送および物流
☑ カテゴリー5:操業で発生した廃棄物
☑ カテゴリー1:購入した商品およびサービス
☑ カテゴリー3:燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1・2 に含まれない)

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

236.6

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Category 1 Multiplied the mass of materials that comprise sold products by their emission factors Category 2 Multiplied the capital expenditure in each investment account by emission factors Category 3 Multiplied the amount of each type of energy used at each site by their emission factors Category 4 Emissions from transportation to Epson of products and services purchased from suppliers, and emissions from the transport of goods by Epson, were calculated by multiplying the mass of transported goods and the distance transported by emissions factors Category 5 Multiplied the amount of each type of waste generated at each site by their emission factors Category 6 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode and lodging expenses by their emission factors Category 7 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode by their emission factors Category 8 For emissions from the operation of leased assets (excluding those not already included in scope 1 or scope 2 inventories), the floor area of leased buildings was multiplied by emission factors

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 7

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 1

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

35.7

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 1 emissions are from use of fuel for air conditioning and the use of greenhouse gases at production facilities.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 8

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 2: マーケット基準

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

143.5

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 2 emissions are electricity used to power production lines in factory, lighting in offices.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 9

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 3

(7.26.3) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ カテゴリー6:出張
☑ カテゴリー2:資本財
☑ カテゴリー7:雇用者の通勤
☑ カテゴリー8:上流のリース資産
☑ カテゴリー4:上流の輸送および物流
☑ カテゴリー5:操業で発生した廃棄物
☑ カテゴリー1:購入した商品およびサービス
☑ カテゴリー3:燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1・2 に含まれない)

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

647.8

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Category 1 Multiplied the mass of materials that comprise sold products by their emission factors Category 2 Multiplied the capital expenditure in each investment account by emission factors Category 3 Multiplied the amount of each type of energy used at each site by their emission factors Category 4 Emissions from transportation to Epson of products and services purchased from suppliers, and emissions from the transport of goods by Epson, were calculated by multiplying the mass of transported goods and the distance transported by emissions factors Category 5 Multiplied the amount of each type of waste generated at each site by their emission factors Category 6 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode and lodging expenses by their emission factors Category 7 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode by their emission factors Category 8 For emissions from the operation of leased assets (excluding those not already included in scope 1 or scope 2 inventories), the floor area of leased buildings was multiplied by emission factors

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 10

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 1

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

2.5

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 1 emissions are from use of fuel for air conditioning and the use of greenhouse gases at production facilities.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 11

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 2: マーケット基準

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

10.1

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 2 emissions are electricity used to power production lines in factory, lighting in offices.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 12

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 3

(7.26.3) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ カテゴリー6:出張
☑ カテゴリー2:資本財
☑ カテゴリー7:雇用者の通勤
☑ カテゴリー8:上流のリース資産
☑ カテゴリー4:上流の輸送および物流
☑ カテゴリー5:操業で発生した廃棄物
☑ カテゴリー1:購入した商品およびサービス
☑ カテゴリー3:燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1・2 に含まれない)

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

45.5

(7.26.10) 不確実性(±%)

9

(7.26.11) 主要排出源

Category 1 Multiplied the mass of materials that comprise sold products by their emission factors Category 2 Multiplied the capital expenditure in each investment account by emission factors Category 3 Multiplied the amount of each type of energy used at each site by their emission factors Category 4 Emissions from transportation to Epson of products and services purchased from suppliers, and emissions from the transport of goods by Epson, were calculated by multiplying the mass of transported goods and the distance transported by emissions factors Category 5 Multiplied the amount of each type of waste generated at each site by their emission factors Category 6 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode and lodging expenses by their emission factors Category 7 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode by their emission factors Category 8 For emissions from the operation of leased assets (excluding those not already included in scope 1 or scope 2 inventories), the floor area of leased buildings was multiplied by emission factors

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 13

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 1

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

40

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 1 emissions are from use of fuel for air conditioning and the use of greenhouse gases at production facilities.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 14

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 2: マーケット基準

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

160.8

(7.26.10) 不確実性(±%)

(7.26.11) 主要排出源

Scope 2 emissions are electricity used to power production lines in factory, lighting in offices.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 15

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 3

(7.26.3) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ カテゴリー6:出張
☑ カテゴリー2:資本財
☑ カテゴリー7:雇用者の通勤
☑ カテゴリー5:操業で発生した廃棄物
☑ カテゴリー1:購入した商品およびサービス
☑ カテゴリー3:燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1・2 に含まれない)

☑ カテゴリー8:上流のリース資産

☑ カテゴリー4:上流の輸送および物流

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

726.3

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Category 1 Multiplied the mass of materials that comprise sold products by their emission factors Category 2 Multiplied the capital expenditure in each investment account by emission factors Category 3 Multiplied the amount of each type of energy used at each site by their emission factors Category 4 Emissions from transportation to Epson of products and services purchased from suppliers, and emissions from the transport of goods by Epson, were calculated by multiplying the mass of transported goods and the distance transported by emissions factors Category 5 Multiplied the amount of each type of waste generated at each site by their emission factors Category 6 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode and lodging expenses by their emission factors Category 7 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode by their emission factors Category 8 For emissions from the operation of

leased assets (excluding those not already included in scope 1 or scope 2 inventories), the floor area of leased buildings was multiplied by emission factors

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 16

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 1

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

0.1

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 1 emissions are from use of fuel for air conditioning and the use of greenhouse gases at production facilities.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 17

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 2: マーケット基準

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

0.3

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 2 emissions are electricity used to power production lines in factory, lighting in offices.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 18

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 3

(7.26.3) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ カテゴリー6:出張
☑ カテゴリー2:資本財
☑ カテゴリー7:雇用者の通勤
☑ カテゴリー8:上流のリース資産
☑ カテゴリー4:上流の輸送および物流
☑ カテゴリー5:操業で発生した廃棄物
☑ カテゴリー1:購入した商品およびサービス
☑ カテゴリー3:燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1・2 に含まれない)

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

1.4

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Category 1 Multiplied the mass of materials that comprise sold products by their emission factors Category 2 Multiplied the capital expenditure in each investment account by emission factors Category 3 Multiplied the amount of each type of energy used at each site by their emission factors Category 4 Emissions from transportation to Epson of products and services purchased from suppliers, and emissions from the transport of goods by Epson, were calculated by multiplying the mass of transported goods and the distance transported by emissions factors Category 5 Multiplied the amount of each type of waste generated at each site by their emission factors Category 6 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode and lodging expenses by their emission factors Category 7 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode by their emission factors Category 8 For emissions from the operation of leased assets (excluding those not already included in scope 1 or scope 2 inventories), the floor area of leased buildings was multiplied by emission factors

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 19

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 1

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

72

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 1 emissions are from use of fuel for air conditioning and the use of greenhouse gases at production facilities.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 20

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 2: マーケット基準

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

0

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 2 emissions are electricity used to power production lines in factory, lighting in offices.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 21

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 3

(7.26.3) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ カテゴリー6:出張
☑ カテゴリー2:資本財
☑ カテゴリー7:雇用者の通勤
☑ カテゴリー4:上流の輸送および物流
☑ カテゴリー5:操業で発生した廃棄物
☑ カテゴリー1:購入した商品およびサービス
☑ カテゴリー3:燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1・2 に含まれない)

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

5559.8

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Category 1 Multiplied the mass of materials that comprise sold products by their emission factors Category 2 Multiplied the capital expenditure in each investment account by emission factors Category 3 Multiplied the amount of each type of energy used at each site by their emission factors Category 4 Emissions from transportation to Epson of products and services purchased from suppliers, and emissions from the transport of goods by Epson, were calculated by multiplying the mass of transported goods and the distance transported by emissions factors Category 5 Multiplied the amount of each type of waste generated at each site by their emission factors Category 6 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode and lodging expenses by their emission factors Category 7 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode by their emission factors Category 8 For emissions from the operation of leased assets (excluding those not already included in scope 1 or scope 2 inventories), the floor area of leased buildings was multiplied by emission factors

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 22

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 1

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

277

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 1 emissions are from use of fuel for air conditioning and the use of greenhouse gases at production facilities.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 23

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 2: マーケット基準

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

0

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 2 emissions are electricity used to power production lines in factory, lighting in offices.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 24

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 3

(7.26.3) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ カテゴリー6:出張
☑ カテゴリー2:資本財
☑ カテゴリー7:雇用者の通勤
☑ カテゴリー8:上流のリース資産
☑ カテゴリー4:上流の輸送および物流
☑ カテゴリー5:操業で発生した廃棄物
☑ カテゴリー1:購入した商品およびサービス
☑ カテゴリー3:燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1・2 に含まれない)

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

17527.3

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Category 1 Multiplied the mass of materials that comprise sold products by their emission factors Category 2 Multiplied the capital expenditure in each investment account by emission factors Category 3 Multiplied the amount of each type of energy used at each site by their emission factors Category 4 Emissions from transportation to Epson of products and services purchased from suppliers, and emissions from the transport of goods by Epson, were calculated by multiplying the mass of transported goods and the distance transported by emissions factors Category 5 Multiplied the amount of each type of waste generated at each site by their emission factors Category 6 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode and lodging expenses by their emission factors Category 7 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode by their emission factors Category 8 For emissions from the operation of leased assets (excluding those not already included in scope 1 or scope 2 inventories), the floor area of leased buildings was multiplied by emission factors

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 25

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 1

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

3.4

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 1 emissions are from use of fuel for air conditioning and the use of greenhouse gases at production facilities.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 26

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 2: マーケット基準

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

0

(7.26.10) 不確実性(±%)

(7.26.11) 主要排出源

Scope 2 emissions are electricity used to power production lines in factory, lighting in offices.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 27

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 3

(7.26.3) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ カテゴリー6:出張
☑ カテゴリー2:資本財
☑ カテゴリー7:雇用者の通勤
☑ カテゴリー5:操業で発生した廃棄物
☑ カテゴリー1:購入した商品およびサービス
☑ カテゴリー3:燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1・2 に含まれない)

☑ カテゴリー8:上流のリース資産

☑ カテゴリー4:上流の輸送および物流

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

113.2

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Category 1 Multiplied the mass of materials that comprise sold products by their emission factors Category 2 Multiplied the capital expenditure in each investment account by emission factors Category 3 Multiplied the amount of each type of energy used at each site by their emission factors Category 4 Emissions from transportation to Epson of products and services purchased from suppliers, and emissions from the transport of goods by Epson, were calculated by multiplying the mass of transported goods and the distance transported by emissions factors Category 5 Multiplied the amount of each type of waste generated at each site by their emission factors Category 6 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode and lodging expenses by their emission factors Category 7 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode by their emission factors Category 8 For emissions from the operation of

leased assets (excluding those not already included in scope 1 or scope 2 inventories), the floor area of leased buildings was multiplied by emission factors

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 28

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 1

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

40.3

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 1 emissions are from use of fuel for air conditioning and the use of greenhouse gases at production facilities.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 29

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 2: マーケット基準

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

0

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Scope 2 emissions are electricity used to power production lines in factory, lighting in offices.

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.

Row 30

(7.26.1) 回答メンバー

選択:

(7.26.2) 排出のスコープ

選択:

☑ スコープ 3

(7.26.3) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ カテゴリー6:出張
☑ カテゴリー2:資本財
☑ カテゴリー7:雇用者の通勤
☑ カテゴリー8:上流のリース資産
☑ カテゴリー4:上流の輸送および物流
☑ カテゴリー5:操業で発生した廃棄物
☑ カテゴリー1:購入した商品およびサービス
☑ カテゴリー3:燃料・エネルギー関連活動(スコープ 1・2 に含まれない)

(7.26.4) 割り当てレベル

選択:

☑ 事業ユニット (子会社)

(7.26.6) 割り当て方法

選択:

☑ 購入した製品の市場価値に基づいた割り当て

(7.26.7) 供給する商品/サービスの市場価値または分量の単位

選択:

☑ 貨幣単位

(7.26.9) 排出量(単位：CO2 換算トン)

1046

(7.26.10) 不確実性(±%)

10

(7.26.11) 主要排出源

Category 1 Multiplied the mass of materials that comprise sold products by their emission factors Category 2 Multiplied the capital expenditure in each investment account by emission factors Category 3 Multiplied the amount of each type of energy used at each site by their emission factors Category 4 Emissions from transportation to Epson of products and services purchased from suppliers, and emissions from the transport of goods by Epson, were calculated by multiplying the mass of transported goods and the distance transported by emissions factors Category 5 Multiplied the amount of each type of waste generated at each site by their emission factors Category 6 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode and lodging expenses by their emission factors Category 7 Multiplied the transportation expenses for each transportation mode by their emission factors Category 8 For emissions from the operation of leased assets (excluding those not already included in scope 1 or scope 2 inventories), the floor area of leased buildings was multiplied by emission factors

(7.26.12) 割り当ては第三者により検証済みですか。

選択:

☑ いいえ

(7.26.13) GHG 発生源をどのように特定したか、この方法における制限事項と仮定を含めて説明してください。

It is specified within the financial control based on the GHG protocol.Customer sales information is not disclosed. Therefore, market value or quantity of goods/services supplied to the requesting member is blank.
[行を追加]

(7.27) 排出量を顧客ごとに割り当てる際の課題と、その課題を克服するために役立つことは何ですか。

Row 1

(7.27.1) 割当の課題

選択:

☑ 製品ラインが多様であることから、それぞれの製品/製品ラインのコストを正確に算定するのが難しい

(7.27.2) その課題を克服するために何が役立つか説明してください

Currently, Epson allocates its emissions to each customer using the Emission Allocation Method. Epson manufactures a wide variety of products, from office equipment such as printers to industrial equipment and electronic devices. It is difficult to calculate the GHG emissions associated with these diverse products/product lines. In order to improve the accuracy of the emissions allocated to each customer, it is necessary to allocate emissions by product group.

Row 2

(7.27.1) 割当の課題

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**Third-party guarantees for calculated results

(7.27.2) その課題を克服するために何が役立つか説明してください

Even if we can allocate emissions to each product, you need evidence for the calculation results before providing them to your customers. We need to have the calculation results verified by a third party.
[行を追加]

(7.28) 今後、顧客ごとの排出量を割り当てられるようにする計画はありますか。

(7.28.1) 今後、顧客ごとの排出量を割り当てられるようにする計画はありますか。

選択:

☑ はい

(7.28.2) 能力をどのように開発するか記述してください

Epson is building a system to calculate the carbon footprint of each product throughout its life cycle and obtain third-party assurance. Once the carbon footprint of each product has been calculated, it will be possible to allocate Epson's emissions to each product.
[固定行]

(7.29) 報告年の事業支出のうち何%がエネルギー使用によるものでしたか。

選択:

☑ 0%超、5%以下

(7.30) 貴組織がどのエネルギー関連活動を行ったか選択してください。

	貴社が報告年に次のエネルギー関連活動を実践したかどうかを示します。
燃料の消費(原料を除く)	*選択:* ☑ はい
購入または獲得した電力の消費	*選択:*

	貴社が報告年に次のエネルギー関連活動を実践したかどうかを示します。
	☑ はい
購入または獲得した熱の消費	*選択:* ☑ いいえ
購入または獲得した蒸気の消費	*選択:* ☑ はい
購入または獲得した冷熱の消費	*選択:* ☑ いいえ
電力、熱、蒸気、または冷熱の生成	*選択:* ☑ はい

[固定行]

(7.30.1) 貴組織のエネルギー消費量合計 (原料を除く) を MWh 単位で報告してください。

燃料の消費(原材料を除く)

(7.30.1.1) 発熱量

選択:

☑ HHV （高位発熱量）

(7.30.1.2) 再生可能エネルギー源からのエネルギー量（単位：MWh）

0

(7.30.1.3) 非再生可能エネルギー源からのエネルギー量（単位：MWh）

334548

(7.30.1.4) 総エネルギー量(再生可能と非再生可能) MWh

334548

購入または獲得した電力の消費

(7.30.1.1) 発熱量

選択:

☑ 発熱量の確認不能

(7.30.1.2) 再生可能エネルギー源からのエネルギー量（単位：MWh）

787646

(7.30.1.3) 非再生可能エネルギー源からのエネルギー量（単位：MWh）

74502

(7.30.1.4) 総エネルギー量(再生可能と非再生可能) MWh

862149

購入または獲得した蒸気の消費

(7.30.1.1) 発熱量

選択:

☑ 発熱量の確認不能

(7.30.1.2) 再生可能エネルギー源からのエネルギー量（単位：MWh）

0

(7.30.1.3) 非再生可能エネルギー源からのエネルギー量（単位：MWh）

2389

(7.30.1.4) 総エネルギー量(再生可能と非再生可能) MWh

2389

自家生成非燃料再生可能エネルギーの消費

(7.30.1.1) 発熱量

選択:

☑ 発熱量の確認不能

(7.30.1.2) 再生可能エネルギー源からのエネルギー量（単位：MWh）

9409

(7.30.1.4) 総エネルギー量(再生可能と非再生可能) MWh

9409

合計エネルギー消費量

(7.30.1.1) 発熱量

選択:

☑ 発熱量の確認不能

(7.30.1.2) 再生可能エネルギー源からのエネルギー量（単位：MWh）

797056

(7.30.1.3) 非再生可能エネルギー源からのエネルギー量（単位：MWh）

411439

(7.30.1.4) 総エネルギー量(再生可能と非再生可能) MWh

1208495
[固定行]

(7.30.6) 貴組織の燃料消費の用途を選択してください。

	貴社がこのエネルギー用途の活動を行うかどうかを示してください
発電のための燃料の消費量	*選択:* ☑ はい
熱生成のための燃料の消費量	*選択:* ☑ いいえ
蒸気生成のための燃料の消費量	*選択:* ☑ はい
冷却生成のための燃料の消費量	*選択:* ☑ いいえ

	貴社がこのエネルギー用途の活動を行うかどうかを示してください
コジェネレーションまたはトリジェネレーションのための燃料の消費	*選択:* ☑ はい

[固定行]

(7.30.7) 貴組織が消費した燃料の量 (原料を除く) を燃料の種類別に MWh 単位で示します。

持続可能なバイオマス

(7.30.7.1) 発熱量

選択:

☑ 発熱量の確認不能

(7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)

0

(7.30.7.3) 電力の自家生成のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.7) 自家コジェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)

0

その他のバイオマス

(7.30.7.1) 発熱量

選択:

☑ 発熱量の確認不能

(7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)

0

(7.30.7.3) 電力の自家生成のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.7) 自家コジェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)

0

その他の再生可能燃料(例えば、再生可能水素)

(7.30.7.1) 発熱量

選択:

☑ 発熱量の確認不能

(7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)

0

(7.30.7.3) 電力の自家生成のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.7) 自家コジェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)

0

石炭

(7.30.7.1) 発熱量

選択:

☑ 発熱量の確認不能

(7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)

0

(7.30.7.3) 電力の自家生成のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.7) 自家コジェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)

0

石油

(7.30.7.1) 発熱量

選択:

☑ HHV

(7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)

72540

(7.30.7.3) 電力の自家生成のために消費された燃料(MWh)

328

(7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)

72211

(7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.7) 自家コジェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)

0

天然ガス

(7.30.7.1) 発熱量

選択:

☑ HHV

(7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)

262008

(7.30.7.3) 電力の自家生成のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)

158082

(7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.7) 自家コジェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)

103925

その他の非再生可能燃料(例えば、再生不可水素)

(7.30.7.1) 発熱量

選択:

☑ 発熱量の確認不能

(7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)

0

(7.30.7.3) 電力の自家生成のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.7) 自家コジェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)

0

燃料合計

(7.30.7.1) 発熱量

選択:

☑ HHV

(7.30.7.2) 組織によって消費された燃料合計(MWh)

334548

(7.30.7.3) 電力の自家生成のために消費された燃料(MWh)

328

(7.30.7.4) 熱の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.5) 蒸気の自家発生のために消費された燃料(MWh)

230294

(7.30.7.6) 冷却の自家発生のために消費された燃料(MWh)

0

(7.30.7.7) 自家コジェネ・トリジェネレーションのために消費された燃料(MWh)

103925
[固定行]

(7.30.9) 貴組織が報告年に生成、消費した電力、熱、蒸気および冷熱に関する詳細をお答えください。

電力

(7.30.9.1) 総生成量(MWh)

55376

(7.30.9.2) 組織によって消費される生成量（MWh）

55227

(7.30.9.3) 再生可能エネルギー源からの総生成量（MWh）

9559

(7.30.9.4) 組織によって消費される再生可能エネルギー源からの生成量(MWh)

9409

熱

(7.30.9.1) 総生成量(MWh)

0

(7.30.9.2) 組織によって消費される生成量（MWh）

0

(7.30.9.3) 再生可能エネルギー源からの総生成量（MWh）

0

(7.30.9.4) 組織によって消費される再生可能エネルギー源からの生成量(MWh)

0

蒸気

(7.30.9.1) 総生成量(MWh)

15734

(7.30.9.2) 組織によって消費される生成量（MWh）

15734

(7.30.9.3) 再生可能エネルギー源からの総生成量（MWh）

0

(7.30.9.4) 組織によって消費される再生可能エネルギー源からの生成量(MWh)

0

冷熱

(7.30.9.1) 総生成量(MWh)

0

(7.30.9.2) 組織によって消費される生成量（MWh）

0

(7.30.9.3) 再生可能エネルギー源からの総生成量（MWh）

0

(7.30.9.4) 組織によって消費される再生可能エネルギー源からの生成量(MWh)

0
[固定行]

(7.30.16) 報告年における電力/熱/蒸気/冷熱の消費量の国/地域別の内訳を示してください。

アルゼンチン

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

215.26

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

215.26

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

オーストラリア

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

643.82

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

643.82

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

ブラジル

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

1454.43

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

55.23

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

1509.66

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

カナダ

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

452.42

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

452.42

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

チリ

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

62.42

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

62.42

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

中国

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

67275.97

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

2389.21

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

69665.18

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

コロンビア

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

37.55

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

37.55

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

コスタリカ

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

71.7

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

71.70

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

チェコ

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

28.86

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

28.86

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

デンマーク

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

15.54

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

15.54

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

エクアドル

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

1.51

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

1.51

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

フランス

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

717.06

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

717.06

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

ドイツ

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

230.24

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

230.24

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

香港特別行政区(中国)

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

230.87

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

230.87

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

ハンガリー

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

4.8

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

4.80

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

インド

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

351.36

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

351.36

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

インドネシア

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

55442.07

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

55442.07

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

イタリア

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

739.68

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

108.77

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

848.45

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

日本

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

473276.72

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

46764.17

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

15734.48

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

535775.37

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

マレーシア

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

53792.73

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

53792.73

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

メキシコ

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

169.1

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

169.10

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

オランダ

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

366.74

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

366.74

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

ニュージーランド

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

17.76

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

17.76

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

ノルウェー

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

15.62

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

15.62

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

ペルー

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

86.9

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

86.90

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

フィリピン

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

75211.09

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

3560

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

78771.09

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

ポーランド

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

21.6

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

21.60

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

大韓民国

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

253.13

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

253.13

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

シンガポール

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

25062.69

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

621.27

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

25683.96

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

スペイン

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

338.39

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

338.39

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

スリランカ

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

4.52

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

4.52

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

台湾(中国)

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

771.63

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

771.63

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

タイ

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

40344.94

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

3275.7

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

43620.64

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国(英国)

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

7215.99

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

7215.99

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

アメリカ合衆国（米国）

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

11407.28

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

805.02

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

12212.30

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.

ベトナム

(7.30.16.1) 購入した電力の消費量(MWh)

35.28

(7.30.16.2) 自家発電した電力の消費量(MWh)

0

(7.30.16.3) この電力消費量の一部または全部が、RE100 コミットメントの除外対象となっていますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.16.4) 購入した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.5) 自家生成した熱、蒸気、冷熱の消費量(MWh)

0

(7.30.16.6) 電気/蒸気/冷熱エネルギー総消費量 (MWh)

35.28

(7.30.16.7) 除外対象にした電力消費の詳細を記入してください

All are subject to the RE100 commitment.
[固定行]

(7.30.17) 報告年における貴組織の再生可能電力購入について、国/地域別に詳細をお答えください。

Row 1

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ アルゼンチン

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 風力

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

74

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ アルゼンチン

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2018

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 2

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国(英国)

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 再生可能電力ミックス、具体的にお答えください **:**Wind, Hydropower

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

13

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国(英国)

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2022

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 3

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国(英国)

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 再生可能電力ミックス、具体的にお答えください :Solar, Hydropower, Biomass, Wind, Landfill Gas

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

7203

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ グレート・ブリテンおよび北アイルランド連合王国(英国)

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2019

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2021

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**Carbon Trust Assurance

Row 4

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ イタリア

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 風力

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

358

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ アイルランド

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2014

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2022

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 5

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ イタリア

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 風力

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

132

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ GO（Guarantee of Origin)

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ イタリア

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2015

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2022

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 6

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ イタリア

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 水力発電(発電能力不明)

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

250

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ GO（Guarantee of Origin)

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ イタリア

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

1901

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2020

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 7

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ インド

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 風力

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

233

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ インド

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2021

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 8

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ インド

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

1

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ インド

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2023

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2024 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 9

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ インド

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 風力

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

122

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ インド

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2023

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2024 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2022

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 10

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ インドネシア

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 小規模水力発電(25 MW 未満)

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

21767

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ インドネシア

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2005

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 11

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ インドネシア

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 持続可能なバイオマス

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

33675

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ インドネシア

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2020

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2020

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**RSPO, ISPO

(7.30.17.12) コメント

The fuel, PKS (Palm Kernel Shell), was determined to be sustainable biomass because it is generated in the palm oil production process that has acquired the international certification, RSPO (Roundtable on Sustainable Palm Oil).

Row 12

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ オーストラリア

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 再生可能電力ミックス、具体的にお答えください **:**Wind, Solar, Hydropower, Biomass

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

639

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ オーストラリア

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**GreenPower

Row 13

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ オランダ

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 風力

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

453

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ オランダ

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2010

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**Building energy label: A+

Row 14

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ カナダ

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

161

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**NAR

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ アメリカ合衆国（米国）

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2020

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 15

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 大韓民国

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

253

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ Korean REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 大韓民国

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2018

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2022 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2022

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 16

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ コスタリカ

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 大規模水力発電(25 MW 超)

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

23

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ コスタリカ

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2016

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 17

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ コロンビア

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 大規模水力発電(25 MW 超)

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

16

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ コロンビア

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

1992

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 18

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ シンガポール

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

355

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ ベトナム

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2020

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 19

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ シンガポール

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 大規模水力発電(25 MW 超)

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

22979

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ ベトナム

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2012

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 20

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ シンガポール

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 第三者が所有する現地設備から購入(オンサイト PPA)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

1728

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ シンガポール

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2023

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 21

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ スペイン

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 水力発電(発電能力不明)

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

338

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ スペイン

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2022

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 22

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ タイ

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

217

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ タイ

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2016

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 23

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ タイ

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 持続可能なバイオマス

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

25794

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ タイ

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2007

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2022

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

(7.30.17.12) コメント

The rice husks used for fuel are abundant rice husks generated from rice mills, and since the rice milling and power generation businesses are operated by the same group company, it was determined that the raw materials could be used sustainably. In addition, biomass power generation was determined to be sustainable biomass because it meets the sustainable energy sources set forth in the Bio-Circular-Green (BCG) Economy philosophy and strategy promoted by the Thai government.

Row 24

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 台湾(中国)

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

49

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ T-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 台湾(中国)

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2023

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 25

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 台湾(中国)

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

210

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ T-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 台湾(中国)

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2023

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 26

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ チリ

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

21

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ チリ

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2023

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 27

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ ドイツ

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 再生可能電力ミックス、具体的にお答えください **:**Wind, Hydropower, Solar

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

168

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ ドイツ

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2022

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 28

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ ドイツ

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 再生可能電力ミックス、具体的にお答えください **:**Hydropower, Biomass, Geothermal, Wind, Solar

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

62

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ ドイツ

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2011

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 29

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

28293

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ その他、具体的にお答えください :Non-fossil certificate

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2012

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2021

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 30

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 持続可能なバイオマス

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

1

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ J-クレジット(再生可能)

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2017

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2021 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2021

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

(7.30.17.12) コメント

Under Japan's J-Credit Scheme, which strictly examines the legality and sustainability of raw materials, it was determined to be sustainable biomass.

Row 31

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

2

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ J-クレジット(再生可能)

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2010

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2020 年より前

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2021

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 32

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 大規模水力発電(25 MW 超)

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

404146

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

1900

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2021

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 33

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 再生可能電力ミックス、具体的にお答えください **:**Hydropower, Wind

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

22641

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

1939

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2021

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 34

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 再生可能電力ミックス、具体的にお答えください **:**Solar, Hydropower

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

53

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

1923

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2021

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 35

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

17361

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ J-クレジット(再生可能)

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2013

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2021

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 36

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 第三者が所有する現地設備から購入(オンサイト PPA)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

780

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2021

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2021

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 37

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ ニュージーランド

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 大規模水力発電(25 MW 超)

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

18

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ NZECS

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ ニュージーランド

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

1965

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**NZECS

Row 38

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ フィリピン

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 再生可能電力ミックス、具体的にお答えください :Geothermal, Hydropower

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

74791

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ フィリピン

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

1979

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2018

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 39

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ フィリピン

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 大規模水力発電(25 MW 超)

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

420

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ フィリピン

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

1983

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 40

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ ブラジル

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 風力

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

1134

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ ブラジル

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2017

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**The internation REC STANDARD

Row 42

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ ブラジル

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 風力

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

32

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ ブラジル

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2015

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 43

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ フランス

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 再生可能電力ミックス、具体的にお答えください **:**Hydropower, Wind, Biomass

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

717

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ フランス

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2020

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 44

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ ベトナム

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

37

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ ベトナム

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2020

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 45

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ ペルー

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 風力

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

39

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ ペルー

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2016

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 46

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ マレーシア

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

12627

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ その他、具体的にお答えください :GET

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ マレーシア

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2023

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 47

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ マレーシア

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

87

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ TIGR

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ マレーシア

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 48

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ マレーシア

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 大規模水力発電(25 MW 超)

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

7759

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ マレーシア

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2014

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 49

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ マレーシア

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

9306

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ マレーシア

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 50

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ メキシコ

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

52

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ メキシコ

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2020

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 51

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 香港特別行政区(中国)

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 小規模水力発電(25 MW 未満)

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

56

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 中国

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2020

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2024

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 52

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 香港特別行政区(中国)

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 大規模水力発電(25 MW 超)

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

175

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 中国

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2007

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2022 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 53

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 中国

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 第三者が所有する現地設備から購入(オンサイト PPA)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

2695

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 中国

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2020

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2020

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 54

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ アメリカ合衆国（米国）

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 風力

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

6055

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ アメリカ合衆国（米国）

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2009

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2022

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ Green-e 認証済み (R) 再生可能エネルギー

Row 55

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ アメリカ合衆国（米国）

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力サプライヤーとの小売供給契約(小売グリーン電力)

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 再生可能電力ミックス、具体的にお答えください **:**Wind, Solar

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

31

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ 契約

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ アメリカ合衆国（米国）

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ いいえ

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 56

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ アメリカ合衆国（米国）

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

1563

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ その他、具体的にお答えください :NAR

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ アメリカ合衆国（米国）

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2020

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 57

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ アメリカ合衆国（米国）

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 風力

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

659

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ US-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ アメリカ合衆国（米国）

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2022

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2022 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ Green-e 認証済み (R) 再生可能エネルギー

Row 58

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ タイ

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 持続可能なバイオマス

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

14334

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ タイ

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2016

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2022

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

(7.30.17.12) コメント

The rice husks used for fuel are abundant rice husks generated from rice mills, and since the rice milling and power generation businesses are operated by the same group company, it was determined that the raw materials could be used sustainably. In addition, biomass power generation was determined to be sustainable biomass because it meets the sustainable energy sources set forth in the Bio-Circular-Green (BCG) Economy philosophy and strategy promoted by the Thai government.

Row 59

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 中国

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 小規模水力発電(25 MW 未満)

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

3370

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 中国

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2013

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2023 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2024

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

Row 60

(7.30.17.1) 購入した再生可能電力を消費した国/地域

選択:

☑ 中国

(7.30.17.2) 調達方法

選択:

☑ 電力と分離されたエネルギー属性証明(EACs)の調達

(7.30.17.3) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 大規模水力発電(25 MW 超)

(7.30.17.4) 報告年に選択した調達方法を通じて消費された再生可能電力(MWh)

61119

(7.30.17.5) トラッキング(追跡)手法

選択:

☑ I-REC

(7.30.17.6) 購入した再生可能電力の原産(発電)地の国/地域

選択:

☑ 中国

(7.30.17.7) 発電施設の運転開始あるいはリパワリングの年を報告できますか。

選択:

☑ はい

(7.30.17.8) 発電施設の運転開始年(例えば、最初の商業運転またはリパわリングの日付)

2005

(7.30.17.9) 再生可能エネルギー/属性のビンテージ(すなわち、生成年)

選択:

☑ 2022 年

(7.30.17.10) 供給手配開始年

2023

(7.30.17.11) 購入した再生可能電力と関連したエコラベル

選択:

☑ 追加自主ラベルなし

[行を追加]

(7.30.18) 報告年における貴組織の低炭素熱、蒸気、および冷熱の購入について、国/地域別に詳細をお答えください。

	調達方法
Row 1	*選択:* ☑ なし(低炭素熱、蒸気、または冷熱の購入なし)

[行を追加]

(7.30.19) 報告年における貴組織の再生可能電力の発電について、国/地域別に具体的にお答えください。

Row 1

(7.30.19.1) 発電した国/地域

選択:

☑ ドイツ

(7.30.19.2) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.19.3) 施設発電能力(MW)

0.05

(7.30.19.4) 報告年にこの施設で発電された再生可能電力の総発電量(MWh)

9.83

(7.30.19.5) 報告年にこの施設から貴社が消費した再生可能電力(MWh)

0

(7.30.19.6) この発電に対して発行されたエネルギー属性証明

選択:

☑ いいえ

Row 2

(7.30.19.1) 発電した国/地域

選択:

☑ イタリア

(7.30.19.2) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.19.3) 施設発電能力(MW)

0.13

(7.30.19.4) 報告年にこの施設で発電された再生可能電力の総発電量(MWh)

108.77

(7.30.19.5) 報告年にこの施設から貴社が消費した再生可能電力(MWh)

108.77

(7.30.19.6) この発電に対して発行されたエネルギー属性証明

選択:

☑ いいえ

Row 3

(7.30.19.1) 発電した国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.19.2) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.19.3) 施設発電能力(MW)

0.85

(7.30.19.4) 報告年にこの施設で発電された再生可能電力の総発電量(MWh)

1178.18

(7.30.19.5) 報告年にこの施設から貴社が消費した再生可能電力(MWh)

1038.35

(7.30.19.6) この発電に対して発行されたエネルギー属性証明

選択:

☑ いいえ

Row 4

(7.30.19.1) 発電した国/地域

選択:

☑ フィリピン

(7.30.19.2) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.19.3) 施設発電能力(MW)

3

(7.30.19.4) 報告年にこの施設で発電された再生可能電力の総発電量(MWh)

3560

(7.30.19.5) 報告年にこの施設から貴社が消費した再生可能電力(MWh)

3560

(7.30.19.6) この発電に対して発行されたエネルギー属性証明

選択:

☑ いいえ

Row 5

(7.30.19.1) 発電した国/地域

選択:

☑ シンガポール

(7.30.19.2) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.19.3) 施設発電能力(MW)

0.19

(7.30.19.4) 報告年にこの施設で発電された再生可能電力の総発電量(MWh)

621.27

(7.30.19.5) 報告年にこの施設から貴社が消費した再生可能電力(MWh)

621.27

(7.30.19.6) この発電に対して発行されたエネルギー属性証明

選択:

☑ いいえ

Row 6

(7.30.19.1) 発電した国/地域

選択:

☑ タイ

(7.30.19.2) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.19.3) 施設発電能力(MW)

2.8

(7.30.19.4) 報告年にこの施設で発電された再生可能電力の総発電量(MWh)

3275.7

(7.30.19.5) 報告年にこの施設から貴社が消費した再生可能電力(MWh)

3275.7

(7.30.19.6) この発電に対して発行されたエネルギー属性証明

選択:

☑ いいえ

Row 7

(7.30.19.1) 発電した国/地域

選択:

☑ アメリカ合衆国（米国）

(7.30.19.2) 再生可能電力技術の種類

選択:

☑ 太陽光

(7.30.19.3) 施設発電能力(MW)

0.56

(7.30.19.4) 報告年にこの施設で発電された再生可能電力の総発電量(MWh)

805.02

(7.30.19.5) 報告年にこの施設から貴社が消費した再生可能電力(MWh)

805.02

(7.30.19.6) この発電に対して発行されたエネルギー属性証明

選択:

☑ いいえ

[行を追加]

(7.30.20) 貴組織の再生可能電力調達戦略が、貴組織が操業する国/地域の系統に新たな容量をもたらすことに対してどのように直接的または間接的に貢献するのかを説明してください。

Epson joined the RE100 Initiative in April 2021 and has set a company-wide target of procuring all electricity from renewable energy sources by 2023 and is working toward this target. To achieve this target, in each country and region where we have sites, we indirectly encourage expansions of power grids and certificates by communicating our policies and needs to local power generators and renewable energy certificate suppliers. As a result of these efforts, Epson completed the switch to 100% renewable energy at all domestic locations in November 2021. Currently, Epson is promoting procurement activities to switch to 100% renewable energy at locations in countries and regions other than Japan, and is indirectly contributing to the expansion of the power grid in each country and region, just as in Japan. As a result of these efforts, Epson has switched to 100% renewable energy at all domestic locations in November 2021, and at all locations worldwide in December 2023.

(7.30.21) 報告年に貴組織は再生可能電力の調達に対して障壁や課題に直面しましたか。

	再生可能電力調達の課題
	選択: ☑ はい、自社が操業する特定の国/地域で

[固定行]

(7.30.22) 報告年に貴組織が直面した再生可能電力の調達に対する国/地域固有の課題を具体的にお答えください。

Row 1

(7.30.22.1) 国/地域

選択:

☑ 中国

(7.30.22.2) 選択した国/地域内で再生可能電力を調達するのが困難だった理由

該当するすべてを選択

☑ 不安定な規制

(7.30.22.3) この国/地域内で直面した障壁の追加詳細を記入してください

Currently, although it is possible to purchase I-RECs locally produced and consumed (in China) that comply with RE100, the Chinese government is considering introducing a certification system for China's own green electricity certificates (GECs), that is separate from I-RECs. We are aware that GECs may have the limitations on corporate claims based on double-counting concerns. If China sets emission targets (such as a limit on total emissions) for each site as a domestic regulation, the government will likely recommend China's own certification system, in which case, there is a strong likelihood that I-REC will not be allowed to use.

Row 2

(7.30.22.1) 国/地域

選択:

☑ 日本

(7.30.22.2) 選択した国/地域内で再生可能電力を調達するのが困難だった理由

該当するすべてを選択

☑ その他、具体的にお答えください

(7.30.22.3) この国/地域内で直面した障壁の追加詳細を記入してください

Since green gas and green gas certification schemes do not exist in the Japanese market, there is no way to convert electricity generated using cogeneration systems (CGS) fueled by natural gas into renewable energy. We understand that these are not permitted under the RE100 technical standard. However in order to procure 100% of our electricity from renewable energy sources as a corporate policy, we are voluntarily using renewable energy certificates to switch to renewable energy. As a system, CGS excels in energy conservation and the reduction of CO2 emissions. The pipelines that supply natural gas to CGS are highly resilient to natural disasters such as earthquakes and typhoons. The system was introduced to avoid the impact of production stoppages due to momentary power outages in the manufacturing industry, and given that the Japanese government is promoting measures such as CO2 methanation to achieve carbon neutrality in the future, measures to solve issues in the medium- and long-term are needed, and CGS should not be eliminated indiscriminately.

Row 3

(7.30.22.1) 国/地域

選択:

☑ シンガポール

(7.30.22.2) 選択した国/地域内で再生可能電力を調達するのが困難だった理由

該当するすべてを選択

☑ 市場での再生可能電力の供給力の限界

(7.30.22.3) この国/地域内で直面した障壁の追加詳細を記入してください

Singapore has a very limited supply of renewable energy due to its small land area which makes it difficult to install power generation facilities. As a result, it is difficult to convert all of the electricity used at our sales and production sites in Singapore to 100% renewable energy produced in Singapore. Since Singapore has not developed and does not operate a power grid that crosses countries as in North America and Europe, it is not possible to purchase power from neighbouring Malaysia. We understand that Singapore's use of renewable electricity from neighboring countries is not permitted under the RE100 Technical Criteria, but this is not realistically possible. In order to achieve 100% renewable energy as a company policy, we are purchasing I-RECs in the ASEAN region in addition to expanding on-site power generation.

Row 4

(7.30.22.1) 国/地域

選択:

☑ 台湾(中国)

(7.30.22.2) 選択した国/地域内で再生可能電力を調達するのが困難だった理由

該当するすべてを選択

☑ 再生可能電力の法外な価格設定

(7.30.22.3) この国/地域内で直面した障壁の追加詳細を記入してください

Due to the Taiwanese government's unique renewable energy policy and the difficulty of expanding renewable energy facilities, the amount of domestic renewable energy procurement and distribution is small and very expensive. Some building owners offer to procure Bundle T-RECs, but the amount provided is limited to a certain amount due to the limited distribution volume. In order to use all renewable energy, Unbundle T-RECs, which are very expensive compared to other regions, are allocated.
[行を追加]

(7.45) 報告年のスコープ 1 と 2 の全世界総排出量について、単位通貨総売上あたりの CO2 換算トン単位で詳細を説明し、貴組織の事業に当てはまる追加の原単位指標を記入します。

Row 1

(7.45.1) 原単位数値

1.03e-7

(7.45.2) 指標分子(スコープ 1 および 2 の組み合わせ全世界総排出量、CO2 換算トン)

135828.94

(7.45.3) 指標の分母

選択:

☑ 売上額合計

(7.45.4) 指標の分母:単位あたりの総量

1313900000000

(7.45.5) 使用したスコープ 2 の値

選択:

☑ マーケット基準

(7.45.6) 前年からの変化率

58.6

(7.45.7) 変化の増減

選択:

☑ 減少

(7.45.8) 変化の理由

該当するすべてを選択

☑ 再生可能エネルギー消費の変化

☑ その他の排出量削減活動

(7.45.9) 説明してください

We have set mid- to long-term GHG reduction targets in our value chain to realize our 1.5C goal, a long-term target shared throughout the world, and Epson 25 Renewed. These have been approved as reduction targets consistent with scientific findings by the Science Based Targets initiative. In the case of Scope 2, which accounts for a large proportion of our total GHG emissions, we are promoting initiatives to reduce emissions by proactively making capital investments and improving systems (resources), such as upgrading to more energy-efficient facilities and expanding the use of renewable energy to achieve the SBTs. In December 2023, we achieved our goal of meeting 100% of our electricity needs from renewable energy at all of our sites worldwide. As a result, our CO2 emissions intensity for Scope 1 and 2 in FY2023 decreased to 58.6% compared to the FY2021 level.
[行を追加]

(7.52) 貴組織の事業に関連がある、追加の気候関連指標を記入してください。

Row 1

(7.52.1) 詳細

選択:

☑ エネルギー使用量

(7.52.2) 指標値

1208495

(7.52.3) 指標分子

Energy consumption

(7.52.5) 前年からの変化率

98.43

(7.52.6) 変化の増減

選択:

☑ 減少

(7.52.7) 説明してください

Energy consumption is calculated from gas, oil, etc. and electricity consumption. 96% of Epson's electricity consumption in FY2023 was derived from renewable energy sources. Demand for electricity derived from renewable energy sources is expected to increase in the future. In order to increase the rate of renewable energy, it is important not only to procure renewable energy, but also to reduce energy use.
[行を追加]

(7.53) 報告年に有効な排出量目標はありましたか。

該当するすべてを選択

☑ 総量目標

☑ 原単位目標

(7.53.1) 排出の総量目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。

Row 1

(7.53.1.1) 目標参照番号

選択:

☑ Abs 1

(7.53.1.2) これは科学に基づく目標ですか

選択:

☑ はい、この目標は科学に基づく目標イニシアチブ（SBTi）の承認を受けている

(7.53.1.3) 科学に基づく目標イニシアチブの公式検証文書

7.53.1_Seiko Epson Corporation Voluntary Ambition Update Approval Letter_D01.pdf

(7.53.1.4) 目標の野心度

選択:

☑ 1.5℃目標に整合済み

(7.53.1.5) 目標設定日

10/25/2021

(7.53.1.6) 目標の対象範囲

選択:

☑ 組織全体

(7.53.1.7) 目標の対象となる温室効果ガス

該当するすべてを選択

☑ 二酸化炭素(CO2)

☑ メタン(CH4)

☑ 亜酸化窒素(N2O)

☑ ハイドロフルオロカーボン (HFC)

(7.53.1.8) スコープ

該当するすべてを選択

☑ スコープ 1

☑ スコープ 2

(7.53.1.9) スコープ 2 算定方法

選択:

☑ マーケット基準

(7.53.1.11) 基準年の終了日

03/30/2018

(7.53.1.12) 目標の対象となる基準年スコープ 1 排出量 (CO2 換算トン)

136734

(7.53.1.13) 目標の対象となる基準年スコープ 2 排出量 (CO2 換算トン)

455110

(7.53.1.31) 目標の対象となる基準年のスコープ 3 総排出量 (CO2 換算トン)

0.000

(7.53.1.32) すべての選択したスコープの目標の対象となる基準年総排出量 (CO2 換算トン)

591844.000

(7.53.1.33) スコープ 1 の基準年総排出量のうち、目標の対象となる基準年スコープ 1 排出量の割合

23.1

(7.53.1.34) スコープ 2 の基準年総排出量のうち、目標の対象となる基準年スコープ 2 排出量の割合

76.9

(7.53.1.53) 選択した全スコープの基準年総排出量のうち、選択した全スコープの目標の対象となる基準年排出量の割合

15.4

(7.53.1.54) 目標の終了日

03/30/2026

(7.53.1.55) 基準年からの目標削減率 (%)

33.6

(7.53.1.56) 選択した全スコープの目標で対象とする目標の終了日における総排出量 (CO2 換算トン)

392984.416

(7.53.1.57) 目標の対象となる報告年のスコープ 1 排出量 (CO2 換算トン)

120.577

(7.53.1.58) 目標の対象となる報告年のスコープ 2 排出量 (CO2 換算トン)

15.251

(7.53.1.77) すべての選択したスコープの目標の対象となる報告年の総排出量 (CO2 換算トン)

135.828

(7.53.1.78) 目標の対象となる土地関連の排出量

選択:

☑ いいえ、土地関連の排出量を対象としていません (例: 非 FLAG SBT)

(7.53.1.79) 基準年に対して達成された目標の割合

297.55

(7.53.1.80) 報告年の目標の状況

選択:

☑ 達成済み

(7.53.1.82) 目標対象範囲を説明し、除外事項を教えてください

The plan was revised to Epson 25 Renewed, and the medium- and long-term GHG reduction targets in the value chain were changed to be more ambitious. This goal is aligned with the worldwide 1.5C goal. These have been approved as reduction targets consistent with scientific findings by the Science Based Targets initiative. Our environmental activities cover all consolidated subsidiaries for financial accounting purposes. In FY 2023, 80 domestic and overseas group companies (covering more than 95% of sales revenue), including Seiko Epson Corporation were included in data aggregation. This is the same scope of data used in disclosure to CDP. Scope 1 and Scope 2 data from relatively small offices and sales companies are not included in the data we disclose to CDP. The estimated percentage of emissions from the excluded sources is 0.8% of the total emissions from the excluded sites.

(7.53.1.83) 目標の目的

Epson's Environmental Vision 2050 aims to achieve carbon-negative emissions by 2050, and the targets by 2025 are consistent with the reduction scenario to achieve net zero emissions under the 1.5 degree scenario.

(7.53.1.85) セクター別脱炭素化アプローチを用いて設定された目標

選択:

☑ いいえ

(7.53.1.86) 目標の達成に最も貢献した排出量削減イニシアチブを列挙してください

Epson has switched to 100% electricity from renewable energy sources at all domestic and overseas sites by 2023.
[行を追加]

(7.53.2) 貴組織の排出原単位目標とその目標に対する進捗状況の詳細を記入してください。

Row 1

(7.53.2.1) 目標参照番号

選択:

☑ Int 1

(7.53.2.2) これは科学に基づく目標ですか

選択:

☑ はい、この目標は科学に基づく目標イニシアチブ（SBTi）の承認を受けている

(7.53.2.3) 科学に基づく目標イニシアチブの公式検証文書

7.53.2_Seiko Epson Corporation Voluntary Ambition Update Approval Letter_D01.pdf

(7.53.2.4) 目標の野心度

選択:

☑ 1.5℃目標に整合済み

(7.53.2.5) 目標設定日

10/25/2021

(7.53.2.6) 目標の対象範囲

選択:

☑ 組織全体

(7.53.2.7) 目標の対象となる温室効果ガス

該当するすべてを選択

☑ メタン(CH4)

☑ ペルフルオロカーボン (PFC)

☑ 二酸化炭素(CO2)
☑ 亜酸化窒素(N2O)
☑ 三フッ化窒素(NF3)
☑ 六フッ化硫黄(SF6)
☑ ハイドロフルオロカーボン (HFC)

(7.53.2.8) スコープ

該当するすべてを選択

☑ スコープ 3

(7.53.2.10) スコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ カテゴリー1:購入した商品およびサービス
☑ カテゴリー11:販売製品の使用

(7.53.2.11) 原単位指標

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**Metric tons CO2e per Business profit(unit：thousand t/100 million yen)

(7.53.2.12) 基準年の終了日

03/30/2018

(7.53.2.15) スコープ 3 カテゴリー1 の基準年の原単位数値:購入した商品・サービス (活動単位あたりの CO2 換算トン)

1.47

(7.53.2.25) スコープ 3 カテゴリー11 の基準年の原単位数値:販売製品の使用 (活動単位あたりの CO2 換算トン)

1.93

(7.53.2.32) スコープ 3 合計の基準年の原単位数値 (活動単位あたりの CO2 換算トン)

3.4000000000

(7.53.2.33) 選択した全スコープの基準年の原単位数値 (活動単位あたりの CO2 換算トン)

3.4000000000

(7.53.2.36) スコープ 3 カテゴリー1 の基準年の総排出量における割合:スコープ 3 カテゴリー1 の対象となる購入した商品・サービス:購入した商品・サービスの原単位数値

43

(7.53.2.46) スコープ 3 カテゴリー11 の基準年の総排出量における割合:スコープ 3 カテゴリー11 の対象となる販売製品の使用:販売製品の使用の原単位数値

57

(7.53.2.53) このスコープ 3 の原単位数値で対象となるスコープ 3 (すべてのスコープ 3 カテゴリー) の基準年総排出量のうちの割合

78

(7.53.2.54) この原単位数値で対象となる選択した全スコープの基準年総排出量の割合

66

(7.53.2.55) 目標の終了日

03/30/2026

(7.53.2.56) 基準年からの目標削減率 (%)

44

(7.53.2.57) 選択した全スコープの目標の終了日における原単位数値　(活動の単位あたりの CO2 換算トン)

1.9040000000

(7.53.2.59) スコープ 3 総量排出量で見込まれる変化率

-26

(7.53.2.62) スコープ 3 カテゴリー1 の報告年の原単位数値:購入した商品・サービス (活動単位あたりの CO2 換算トン)

1.47

(7.53.2.72) スコープ 3 カテゴリー11 の報告年の原単位数値:販売製品の使用 (活動単位あたりの CO2 換算トン)

1.34

(7.53.2.79) スコープ 3 総計の報告年の原単位数値(活動単位あたりの CO2 換算トン)

2.8100000000

(7.53.2.80) 選択した全スコープの報告年の原単位数値(活動単位あたりの CO2 換算トン)

2.8100000000

(7.53.2.81) 目標の対象となる土地関連の排出量

選択:

☑ いいえ、土地関連の排出量を対象としていません (例: 非 FLAG SBT)

(7.53.2.82) 基準年に対して達成された目標の割合

39.44

(7.53.2.83) 報告年の目標の状況

選択:

☑ 進行中

(7.53.2.85) 目標対象範囲を説明し、除外事項を教えてください

The plan was revised to Epson 25 Renewed, and the medium- and long-term GHG reduction targets in the value chain were changed to be more ambitious. This goal is aligned with the worldwide 1.5C goal. These have been approved as reduction targets consistent with scientific findings by the Science Based Targets initiative. Our environmental activities cover all consolidated subsidiaries for financial accounting purposes. In FY 2023, 80 domestic and overseas group companies (covering more than 95% of sales revenue), including Seiko Epson Corporation were included in data aggregation. This is the same scope of data used in disclosure to CDP.

(7.53.2.86) 目標の目的

In terms of Scope 3, emissions are greatest in Category 11 (customer electricity use), followed by Category 1, (raw material procurement stage). As part of Epson 25 Renewed Corporate Vision, we aim to provide environmental value and to reduce our environmental impact together with our customers. We have established indicators linked to product value in each product category, and we have set an ambitious goal of reducing Scope 3 emissions per business profit, which is ultimately linked to management indicators.

(7.53.2.87) 目標を達成するための計画、および報告年の終わりに達成された進捗状況

Epson aims to deliver high customer value by drawing on our unique efficient, compact and precision technologies and initiatives. In particular, the printing solutions and visual communications segments, which constitute86% of Epson's sales (FY2023), focus on developing products with small, lightweight designs and fewer consumables to reduce the burden on the environment throughout the products' lifecycle. We are also focusing on developing products that reduce environmental impact during use through energy-saving designs and the use of fewer consumables. In FY2023, we further intensified our engagement with suppliers. Specifically, we ask our suppliers to visualize their emissions and set reduction targets.

(7.53.2.88) セクター別脱炭素化アプローチを用いて設定された目標

選択:

☑ いいえ

[行を追加]

(7.54) 報告年に有効なその他の気候関連目標がありましたか。

該当するすべてを選択

☑ 低炭素エネルギー消費または生産を増加または維持するための目標:

☑ ネットゼロ目標

(7.54.1) 低炭素エネルギー消費または生産を増加させる目標の詳細を記入してください。

Row 1

(7.54.1.1) 目標参照番号

選択:

☑ Low 1

(7.54.1.2) 目標設定日

10/25/2021

(7.54.1.3) 目標の対象範囲

選択:

☑ 組織全体

(7.54.1.4) 目標の種類: エネルギー担体

選択:

☑ 電力

(7.54.1.5) 目標の種類: 活動

選択:

☑ 消費

(7.54.1.6) 目標の種類: エネルギー源

選択:

☑ 再生可能エネルギー源のみ

(7.54.1.7) 基準年の終了日

03/30/2021

(7.54.1.8) 基準年の選択したエネルギー担体の消費量または生産量(MWh)

156440

(7.54.1.9) 基準年の低炭素または再生可能エネルギーの割合(%)

19

(7.54.1.10) 目標の終了日

12/30/2023

(7.54.1.11) 目標終了日の低炭素または再生可能エネルギーの割合

100

(7.54.1.12) 報告年の低炭素または再生可能エネルギーの割合(%)

96.7

(7.54.1.13) 基準年に対して達成された目標の割合

95.93

(7.54.1.14) 報告年の目標の状況

選択:

☑ 達成済み

(7.54.1.16) この目標は排出量目標の一部ですか

Abs 1: Converting electricity to renewable energy contributes to reducing your company's Scope2 emissions.

(7.54.1.17) この目標は包括的なイニシアチブの一部ですか

該当するすべてを選択

☑ RE100

(7.54.1.19) 目標対象範囲を説明し、除外事項を教えてください

Epson joined the RE100 Initiative in April 2021 and has set a company-wide target of procuring all electricity from renewable energy sources by 2023. This means that, by 2023, all Epson Group sites throughout the world will meet their electricity needs from 100% renewable energy. Epson is currently working to achieve this target, which is part of the absolute Scope 2 emissions reduction target Abs 1, and does not include smaller leased properties, such as some sales offices.

(7.54.1.20) 目標の目的

Epson aims to be “carbon negative” in its “Environmental Vision 2050. We have positioned the use of renewable energy as an important theme for achieving the goal of decarbonization and have set this goal.

(7.54.1.22) この目標の達成に最も貢献した取組を列挙してください

Our efforts to achieve targets are largely based on procuring electricity derived from renewable energy sources from power companies, as well as the installation of solar power generation equipment at our sites and the purchase of renewable electricity certificates and carbon offset credits. Due to the 100% renewable energy switchover in December 2023, the share of renewable energy in FY2023 will not be 100%.

[行を追加]

(7.54.3) ネットゼロ目標の詳細を記入してください。

Row 1

(7.54.3.1) 目標参照番号

選択:

☑ NZ1

(7.54.3.2) 目標設定日

03/30/2020

(7.54.3.3) 目標の対象範囲

選択:

☑ 組織全体

(7.54.3.4) このネットゼロ目標に関連する目標

該当するすべてを選択

☑ Abs1

☑ Int1

(7.54.3.5) ネットゼロを達成する目標最終日

03/30/2051

(7.54.3.6) これは科学に基づく目標ですか

選択:

☑ いいえ、しかし、今後 2 年以内に設定する予定です

(7.54.3.8) スコープ

該当するすべてを選択

☑ スコープ 1
☑ スコープ 2
☑ スコープ 3

(7.54.3.9) 目標の対象となる温室効果ガス

該当するすべてを選択

☑ メタン(CH4)
☑ 二酸化炭素(CO2)
☑ 亜酸化窒素(N2O)
☑ 六フッ化硫黄(SF6)
☑ 三フッ化窒素(NF3)
☑ ペルフルオロカーボン (PFC)
☑ ハイドロフルオロカーボン (HFC)

(7.54.3.10) 目標対象範囲を説明し、除外事項を教えてください

We aim to be carbon negative in scopes 1, 2 and 3 by 2050.

(7.54.3.11) 目標の目的

In March 2020, we revised our Environmental Vision 2050 which describes our vision for where we want to be in 2050. In this vision, we aim to become carbon negative in Scopes 1, 2, and 3 by 2050 by working to decarbonize and recycle resources, providing products and services that reduce our environmental impact, and developing environmental technologies.

(7.54.3.12) 目標終了時に恒久的炭素除去によって残余排出量をニュートラル化するつもりがありますか。

選択:

☑ はい

(7.54.3.13) 貴社のバリューチェーンを越えて排出量を軽減する計画がありますか

選択:

☑ はい、報告年にすでにこれに取り組みました

(7.54.3.14) ニュートラル化やバリューチェーンを越えた軽減のために炭素クレジットの購入やキャンセルをする意図がありますか

該当するすべてを選択

☑ はい、バリューチェーンを越えた軽減のために現在、炭素クレジットの購入・キャンセルを行っています。

(7.54.3.15) 目標終了時のニュートラル化のための中間目標や短期投資の計画

As a short-term milestone, we are aiming to reduce Scope 1 and 2 emissions by 19% by 2025 compared to FY2017. This has been certified by Science Based Target Initiative and is expected to be achieved. We are aiming to reduce Scope 3 emissions per business profit by 44% by 2025 compared to FY2017. We are currently working to set our targets for 2025 and beyond. In reviewing our emissions reduction targets, we are considering acquiring SBT certification for our net-zero target. For these activities, we plan to invest 100 billion yen by 2030.This includes technologies that absorb CO2 through in-house technologies, with the aim of not only neutralizing the company's own residual emissions in the future, but also turning it into a business.

(7.54.3.16) 貴社のバリューチェーンを越えて排出量を軽減するための行動について説明してください

Epson aims to deliver high customer value by drawing on our unique efficient, compact and precision technologies and initiatives. In particular, the printing solutions and visual communications segments, which constitute86% of Epson’s sales (FY2023), focus on developing products with small, lightweight designs and fewer consumables to reduce the burden on the environment throughout the products’ lifecycle. We are also focusing on developing products that reduce environmental impact during use through energy-saving designs and the use of fewer consumables. In FY2023, we also started full-fledged engagement activities with our suppliers. Specifically, we have asked suppliers to visualize their emissions and set reduction targets.

(7.54.3.17) 報告年の目標の状況

選択:

☑ 進行中

(7.54.3.19) 目標審査プロセス

We are currently working to set our targets for 2025 and beyond. In reviewing our emissions reduction targets, we are considering acquiring SBT certification for our net-zero target(Near-term, Long-term).

[行を追加]

(7.55) 報告年内に有効であった排出量削減イニシアチブがありましたか。これには、計画段階及び実行段階のものを含みます。

選択:

☑ はい

(7.55.1) 各段階のイニシアチブの総数を示し、実施段階のイニシアチブについては推定排出削減量 **(CO2** 換算**)** もお答えください。

	イニシアチブの数	**CO2** 換算トン単位での年間 **CO2** 換算の推定排出削減総量(*の付いた行のみ)
調査中	*0*	*数値入力*
実施予定	*135*	*202*
実施開始	*12*	*7*
実施中	*167*	*108*
実施できず	*5*	*数値入力*

[固定行]

(7.55.2) 報告年に実施されたイニシアチブの詳細を以下の表に記入してください。

Row 1

(7.55.2.1) イニシアチブのカテゴリーとイニシアチブの種類

建物のエネルギー効率

☑ 断熱

(7.55.2.2) 推定年間 CO2e 排出削減量(CO2 換算トン)

1

(7.55.2.3) 排出量低減が起こっているスコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ スコープ 1

(7.55.2.4) 自発的/義務的

選択:

☑ 自主的

(7.55.2.5) 年間経費節減額 (単位通貨 – C0.4 で指定の通り)

1840152

(7.55.2.6) 必要投資額 (単位通貨 –C0.4 で指定の通り)

251500

(7.55.2.7) 投資回収期間

選択:

☑ 1～3 年

(7.55.2.8) イニシアチブの推定活動期間

選択:

☑ 1〜2 年

(7.55.2.9) コメント

At each plant, we added heat insulation and thermal insulation to steam pipes to prevent heat loss and reduce fuel consumption.

Row 2

(7.55.2.1) イニシアチブのカテゴリーとイニシアチブの種類

建物のエネルギー効率
☑ 冷暖房空調設備(HVAC)

(7.55.2.2) 推定年間 CO2e 排出削減量(CO2 換算トン)

0

(7.55.2.3) 排出量低減が起こっているスコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ スコープ 1
☑ スコープ 2(ロケーション基準)
☑ スコープ 2(マーケット基準)

(7.55.2.4) 自発的/義務的

選択:

☑ 自主的

(7.55.2.5) 年間経費節減額 (単位通貨 – C0.4 で指定の通り)

37744545

(7.55.2.6) 必要投資額 (単位通貨 –C0.4 で指定の通り)

119489081

(7.55.2.7) 投資回収期間

選択:

☑ 1～3 年

(7.55.2.8) イニシアチブの推定活動期間

選択:

☑ 1～2 年

(7.55.2.9) コメント

We select and install high energy-saving performance equipment when installing or upgrading air conditioning equipment at each plant.

Row 3

(7.55.2.1) イニシアチブのカテゴリーとイニシアチブの種類

建物のエネルギー効率

☑ 照明

(7.55.2.2) 推定年間 CO2e 排出削減量(CO2 換算トン)

0

(7.55.2.3) 排出量低減が起こっているスコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ スコープ 2(ロケーション基準)

☑ スコープ 2(マーケット基準)

(7.55.2.4) 自発的/義務的

選択:

☑ 自主的

(7.55.2.5) 年間経費節減額 (単位通貨 – C0.4 で指定の通り)

22001554

(7.55.2.6) 必要投資額 (単位通貨 –C0.4 で指定の通り)

106278950

(7.55.2.7) 投資回収期間

選択:

☑ 1～3 年

(7.55.2.8) イニシアチブの推定活動期間

選択:

☑ 1～2 年

(7.55.2.9) コメント

LED lights are being used at each plant to reduce emissions from electricity use.

Row 4

(7.55.2.1) イニシアチブのカテゴリーとイニシアチブの種類

生産プロセスにおけるエネルギー効率

☑ 廃熱回収

(7.55.2.2) 推定年間 CO2e 排出削減量(CO2 換算トン)

0

(7.55.2.3) 排出量低減が起こっているスコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ スコープ 1

☑ スコープ 2(ロケーション基準)

☑ スコープ 2(マーケット基準)

(7.55.2.4) 自発的/義務的

選択:

☑ 自主的

(7.55.2.5) 年間経費節減額 (単位通貨 – C0.4 で指定の通り)

3300

(7.55.2.6) 必要投資額 (単位通貨 –C0.4 で指定の通り)

20700

(7.55.2.7) 投資回収期間

選択:

☑ 4～10 年

(7.55.2.8) イニシアチブの推定活動期間

選択:

☑ 1〜2 年

(7.55.2.9) コメント

Power consumption is reduced by using waste heat to heat the air supply to the outdoor air conditioner as well as to heat pure raw water.

Row 5

(7.55.2.1) イニシアチブのカテゴリーとイニシアチブの種類

生産プロセスにおけるエネルギー効率

☑ プロセス最適化

(7.55.2.2) 推定年間 CO2e 排出削減量(CO2 換算トン)

295

(7.55.2.3) 排出量低減が起こっているスコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ スコープ 1

☑ スコープ 2(ロケーション基準)

☑ スコープ 2(マーケット基準)

(7.55.2.4) 自発的/義務的

選択:

☑ 自主的

(7.55.2.5) 年間経費節減額 (単位通貨 – C0.4 で指定の通り)

177335302

(7.55.2.6) 必要投資額 (単位通貨 –C0.4 で指定の通り)

330616806

(7.55.2.7) 投資回収期間

選択:

☑ 11～15 年

(7.55.2.8) イニシアチブの推定活動期間

選択:

☑ 1～2 年

(7.55.2.9) コメント

Our plants are working to reduce energy use by strengthening and thoroughly managing the use of equipment such as turning off unnecessary lights, adjusting air conditioner temperature settings, and controlling equipment using sensors and timers.

Row 6

(7.55.2.1) イニシアチブのカテゴリーとイニシアチブの種類

生産プロセスにおけるエネルギー効率

☑ 圧縮空気

(7.55.2.2) 推定年間 CO2e 排出削減量(CO2 換算トン)

0

(7.55.2.3) 排出量低減が起こっているスコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ スコープ 2(ロケーション基準)

☑ スコープ 2(マーケット基準)

(7.55.2.4) 自発的/義務的

選択:

☑ 自主的

(7.55.2.5) 年間経費節減額 (単位通貨 – C0.4 で指定の通り)

23043253

(7.55.2.6) 必要投資額 (単位通貨 –C0.4 で指定の通り)

15376797

(7.55.2.7) 投資回収期間

選択:

☑ 1～3 年

(7.55.2.8) イニシアチブの推定活動期間

選択:

☑ 1～2 年

(7.55.2.9) コメント

Each plant checks for and repairs air leaks to eliminate loss and operates air compressors efficiently to save energy.

Row 7

(7.55.2.1) イニシアチブのカテゴリーとイニシアチブの種類

生産プロセスにおけるエネルギー効率

☑ 機械/設備の置き換え

(7.55.2.2) 推定年間 CO2e 排出削減量(CO2 換算トン)

8

(7.55.2.3) 排出量低減が起こっているスコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ スコープ 1

☑ スコープ 2(ロケーション基準)

☑ スコープ 2(マーケット基準)

(7.55.2.4) 自発的/義務的

選択:

☑ 自主的

(7.55.2.5) 年間経費節減額 (単位通貨 – C0.4 で指定の通り)

110788454

(7.55.2.6) 必要投資額 (単位通貨 –C0.4 で指定の通り)

2062777975

(7.55.2.7) 投資回収期間

選択:

☑ 11～15 年

(7.55.2.8) イニシアチブの推定活動期間

選択:

☑ 1～2 年

(7.55.2.9) コメント

Each plant is reducing emissions by installing low environmental impact, high-efficiency equipment when upgrading equipment and facilities.

Row 8

(7.55.2.1) イニシアチブのカテゴリーとイニシアチブの種類

生産プロセスにおけるエネルギー効率

☑ 電化

(7.55.2.2) 推定年間 CO2e 排出削減量(CO2 換算トン)

0

(7.55.2.3) 排出量低減が起こっているスコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ スコープ 1

(7.55.2.4) 自発的/義務的

選択:

☑ 自主的

(7.55.2.5) 年間経費節減額 (単位通貨 – C0.4 で指定の通り)

1282737

(7.55.2.6) 必要投資額 (単位通貨 –C0.4 で指定の通り)

83950516

(7.55.2.7) 投資回収期間

選択:

☑ 16～20 年

(7.55.2.8) イニシアチブの推定活動期間

選択:

☑ 1～2 年

(7.55.2.9) コメント

Each plant is switching from equipment that uses LPG to electricity derived from renewable energy sources to reduce emissions.

Row 9

(7.55.2.1) イニシアチブのカテゴリーとイニシアチブの種類

生産プロセスにおけるエネルギー効率

☑ その他、具体的にお答えください **:**Implement measures to prevent steam and air supply leaks

(7.55.2.2) 推定年間 CO2e 排出削減量(CO2 換算トン)

13

(7.55.2.3) 排出量低減が起こっているスコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ スコープ 1

☑ スコープ 2(ロケーション基準)

☑ スコープ 2(マーケット基準)

(7.55.2.4) 自発的/義務的

選択:

☑ 自主的

(7.55.2.5) 年間経費節減額 (単位通貨 – C0.4 で指定の通り)

1163970

(7.55.2.6) 必要投資額 (単位通貨 –C0.4 で指定の通り)

640000

(7.55.2.7) 投資回収期間

選択:

☑ 1～3 年

(7.55.2.8) イニシアチブの推定活動期間

選択:

☑ 1～2 年

(7.55.2.9) コメント

Each plant inspects for steam leaks and reduces gas consumption by reducing steam leak.

Row 10

(7.55.2.1) イニシアチブのカテゴリーとイニシアチブの種類

低炭素エネルギー消費

☑ 太陽光発電

(7.55.2.2) 推定年間 CO2e 排出削減量(CO2 換算トン)

0

(7.55.2.3) 排出量低減が起こっているスコープまたはスコープ 3 カテゴリー

該当するすべてを選択

☑ スコープ 2(ロケーション基準)

☑ スコープ 2(マーケット基準)

(7.55.2.4) 自発的/義務的

選択:

☑ 自主的

(7.55.2.5) 年間経費節減額 (単位通貨 – C0.4 で指定の通り)

95597734

(7.55.2.6) 必要投資額 (単位通貨 –C0.4 で指定の通り)

54538842

(7.55.2.7) 投資回収期間

選択:

☑ 4～10 年

(7.55.2.8) イニシアチブの推定活動期間

選択:

☑ 1～2 年

(7.55.2.9) コメント

We have installed solar power generators at our domestic and overseas sites to reduce GHG emissions.
[行を追加]

(7.55.3) 排出削減活動への投資を促進するために貴社はどのような方法を使っていますか。

Row 1

(7.55.3.1) 方法

選択:

☑ 社内カーボン プライシング

(7.55.3.2) コメント

We have developed and used criteria and guidelines for determining the incorporated payback period. The payback period for ordinary capital investment is short (three to five years), and the investment in solar power generation, for example, does not proceed due to not meeting the investment criteria, even when there are environmental benefits involved. Therefore, for projects that fall under investments for environmental purposes, we have established a framework whereby the payback period can be extended from three years to five years for machinery and equipment, and from five years to 10 years for equipment attached to buildings such as photovoltaic panels. Even if the payback period exceeds the criteria, investment projects that offer significant effects to reduce environmental impacts are deliberated and investment is encouraged. Given that we have already completed the shift to renewable electricity/energy, we have updated our calculation method to calculate the effect of reduced electricity consumption. Specifically, we use the unit price of low-carbon electricity contracted at each site and the procurement cost of renewable energy certificates in internal carbon pricing. This has led to investment decisions for environmental purposes, such as the appropriate installation of solar power generation equipment at sites in Japan.

[行を追加]

(7.73) 貴組織では、自社製品またはサービスに関する製品レベルのデータを提供していますか。

選択:

☑ はい、CDP 質問書を通じてデータを提供します

(7.73.2) データを提供したい製品/サービスに関して下表に記入してください。

Row 1

(7.73.2.2) 商品/サービスの名前

Work Force Enterprise LM-C6000

(7.73.2.3) 商品/サービスの内容

Epson's LM series business inkjet printers have been downsized from the previous LX series to have a smaller footprint and can be installed in limited space. The smaller size and lighter weight also reduce the use of resources, contributing to the reduction of environmental impact.

(7.73.2.4) 製品の種類

選択:

☑ 最終

(7.73.2.5) 一意の製品 ID

One

(7.73.2.6) kgCO2e/単位での総排出量

900

(7.73.2.9) 変化の説明

Since the data for this product is released for the first time in the CDP disclosure, "% change from previous figure supplied" and "Date of previous figure supplied" are left blank.

(7.73.2.10) ライフサイクル排出量の推定に使用された方法

選択:

☑ ISO 14040 & 14044

[行を追加]

(7.73.3) 製品/サービスのライフサイクル上の段階について下表にデータを記入してください。

Row 1

(7.73.3.2) 商品/サービスの名前

WorkForce Enterprise LM-C6000

(7.73.3.3) スコープ

選択:

☑ スコープ 3

(7.73.3.4) ライフサイクル段階

選択:

☑ 廃棄物

(7.73.3.5) ライフサイクル上の段階での排出量(単位：CO2 換算 kg/単位量)

17

(7.73.3.6) 貴組織の所有下あるいは管理下にあるライフサイクルの段階

選択:

☑ はい

(7.73.3.7) 使用したデータの種類

選択:

☑ 一次

(7.73.3.9) 該当する場合は、製品排出量データの検証/保証について説明してください

It is certified by the SuMPO Environmental Label Program. Please see the following URL address. https://ecoleaf-label.jp/en/

Row 2

(7.73.3.2) 商品/サービスの名前

WorkForce Enterprise LM-C6000

(7.73.3.3) スコープ

選択:

☑ スコープ 3

(7.73.3.4) ライフサイクル段階

選択:

☑ 民生用

(7.73.3.5) ライフサイクル上の段階での排出量(単位：CO2 換算 kg/単位量)

170

(7.73.3.6) 貴組織の所有下あるいは管理下にあるライフサイクルの段階

選択:

☑ はい

(7.73.3.7) 使用したデータの種類

選択:

☑ 一次

(7.73.3.9) 該当する場合は、製品排出量データの検証/保証について説明してください

It is certified by the SuMPO Environmental Label Program. Please see the following URL address. https://ecoleaf-label.jp/en/

Row 3

(7.73.3.2) 商品/サービスの名前

WorkForce Enterprise LM-C6000

(7.73.3.3) スコープ

選択:

☑ スコープ 3

(7.73.3.4) ライフサイクル段階

選択:

☑ 材料収集

(7.73.3.5) ライフサイクル上の段階での排出量(単位：CO2 換算 kg/単位量)

900

(7.73.3.6) 貴組織の所有下あるいは管理下にあるライフサイクルの段階

選択:

☑ はい

(7.73.3.7) 使用したデータの種類

選択:

☑ 一次

(7.73.3.9) 該当する場合は、製品排出量データの検証/保証について説明してください

It is certified by the SuMPO Environmental Label Program. Please see the following URL address. https://ecoleaf-label.jp/en/

Row 4

(7.73.3.2) 商品/サービスの名前

WorkForce Enterprise LM-C6000

(7.73.3.3) スコープ

選択:

☑ スコープ 3

(7.73.3.4) ライフサイクル段階

選択:

☑ 輸送

(7.73.3.5) ライフサイクル上の段階での排出量(単位：CO2 換算 kg/単位量)

(7.73.3.6) 貴組織の所有下あるいは管理下にあるライフサイクルの段階

選択:

☑ はい

(7.73.3.7) 使用したデータの種類

選択:

☑ 一次

(7.73.3.9) 該当する場合は、製品排出量データの検証/保証について説明してください

It is certified by the SuMPO Environmental Label Program. Please see the following URL address. https://ecoleaf-label.jp/en/

Row 5

(7.73.3.2) 商品/サービスの名前

WorkForce Enterprise LM-C6000

(7.73.3.3) スコープ

選択:

☑ スコープ 1 および 2

(7.73.3.4) ライフサイクル段階

選択:

☑ 製造

(7.73.3.5) ライフサイクル上の段階での排出量(単位：CO2 換算 kg/単位量)

50

(7.73.3.6) 貴組織の所有下あるいは管理下にあるライフサイクルの段階

選択:

☑ はい

(7.73.3.7) 使用したデータの種類

選択:

☑ 一次

(7.73.3.9) 該当する場合は、製品排出量データの検証/保証について説明してください

It is certified by the SuMPO Environmental Label Program. Please see the following URL address. https://ecoleaf-label.jp/en/
[行を追加]

(7.73.5) 質問 7.73.4 で述べられた活動のどれかが、回答を要請している CDP サプライチェーンメンバー企業によって推進されましたか。

選択:

☑ いいえ

(7.74) 貴組織の製品やサービスを低炭素製品に分類していますか。

選択:

☑ はい

(7.74.1) 低炭素製品に分類している貴組織の製品やサービスを具体的にお答えください。

Row 1

(7.74.1.1) 集合のレベル

選択:

☑ 製品群またはサービス群

(7.74.1.2) 製品またはサービスを低炭素に分類するために使用されタクソノミー

選択:

☑ グリーンボンド原則(ICMA)

(7.74.1.3) 製品またはサービスの種類

その他

☑ その他、具体的にお答えください **:**Inkjet printers

(7.74.1.4) 製品またはサービスの内容

Epson aims to deliver high customer value by drawing on our unique efficient, compact and precision technologies and initiatives. In particular, the printing solutions and visual communications segments, which constitute 86% of Epson's sales (FY2023), focus on developing products with small, lightweight designs and fewer consumables to reduce the burden on the environment throughout the products' lifecycle. We are also focusing on developing products that reduce environmental impact during use through energy-saving designs and the use of fewer consumables.

(7.74.1.5) この低炭素製品またはサービスの削減貢献量を推定しましたか

選択:

☑ はい

(7.74.1.6) 削減貢献量を計算するために使用された方法

選択:

☑ Guidelines for Assessing the Contribution of Products to Avoided Greenhouse Gas Emissions (ILCA)

(7.74.1.7) 低炭素製品またはサービスの対象となるライフサイクルの段階

選択:

☑ 使用段階

(7.74.1.8) 使用された機能単位

Print speed is the functional unit used, and the energy consumption during five years of printing using a business inkjet printer is compared to using a laser printer that prints at the same speed (the number of sheets printed is determined by the speed).

(7.74.1.9) 使用された基準となる製品/サービスまたはベースラインシナリオ

Print speed is the functional unit used, and the energy consumption during five years of printing using a business inkjet printer is compared to using a laser printer that prints at the same speed (the number of sheets printed is determined by the speed).

(7.74.1.10) 基準製品/サービスまたはベースラインシナリオの対象となるライフサイクルの段階

選択:

☑ 使用段階

(7.74.1.11) 基準製品/サービスまたはベースラインシナリオに対する推定削減貢献量 (機能単位あたりの CO2 換算トン)

153064

(7.74.1.12) 仮定した内容を含め、貴組織の削減貢献量の計算について、説明してください

In principle, we evaluate the entire life cycle, but since printers have nearly identical lifecycle stages and processes, our estimate was limited to the time when used in order to estimate emission avoidance by third parties. ENERGY STAR's conformance levels are set by adopting the top-runner approach, under which the top 25% of the market can conform, and the TEC standard values for laser printers, which determine conformance levels, are set as the baseline for laser printers in the market. Typical Electricity Consumption (TEC), which indicates the amount of electricity consumed per week by each product, is determined by the number of jobs and sheets printed per day according to printing speed. We calculated TEC value of Epson's inkjet printer, and estimated the difference between the TEC value of Epson's inkjet printer and the TEC reference value of the relative speed as the amount of emissions that could have been avoided if a laser printer were used. The flow basis was selected as the method to indicate the cumulative contribution to GHG reduction demonstrated by inkjet printers sold in the relevant fiscal year and used until the end of their life. The most recently IEA-World average was used as the global warming potential (GWP).

(7.74.1.13) 報告年の売上合計のうちの、低炭素製品またはサービスから生じた売上の割合

44
[行を追加]

(7.79) 貴組織は報告年中にプロジェクト由来の炭素クレジットをキャンセル (償却) しましたか。

選択:

☑ いいえ

C9. 環境実績 - 水セキュリティ

(9.1) 水関連データの中で開示対象から除外されるものはありますか。

選択:

☑ はい

(9.1.1) 除外項目についての詳細を記載してください。

Row 1

(9.1.1.1) 除外

選択:

☑ 施設

(9.1.1.2) 除外の詳細

We exclude water used at sales companies occupying rental properties. These are properties mainly used as offices. These waters are used for sanitation and hygiene (WASH) services and in daily life and the volume is negligible compared to the total usage of the entire group.And the risk is considered low because these offices are in buildings rented by the Company and not managed by the Company, which is difficult to ascertain, and because the use is sanitation and hygiene (WASH) services related and processed by a third party.

(9.1.1.3) 除外理由

選択:

☑ 敷地・建物等が共有物であるため

(9.1.1.7) 除外対象となった水の量が全体に占める割合

選択:

☑ 1～5%

(9.1.1.8) 説明してください

According to “Water Resources in Japan” published by Japan’s Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, the amount of water used in daily life is 289 litres per person per day. Of this amount, 37% is used in toilets and to wash hands, so we estimate that the amount of water used for WASH services per employee per day is 107L/person/day. There are approximately 9,200 employees working at the sales companies we excluded from our calculation. This means that annual (assuming 200 operating days a year) daily life related water use at the excluded sales companies is estimated to be approximately 200 thousand m3. This is less than 2.5% of the Group’s total water use. Considering worldwide water use levels and working hours at offices, the volume of water use per person is likely to be even lower than this.
[行を追加]

(9.2) 貴組織の事業活動全体で、次の水アスペクトのどの程度の割合を定期的に測定・モニタリングしていますか。

取水量 – 総量

(9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

☑ 100%

(9.2.2) 測定頻度

選択:

☑ 常時

(9.2.3) 測定方法

Water withdrawals are normally measured continuously using a flowmeter at each site/facility. Epson has built an environmental information management system called SeeMS to monitor water withdrawals throughout the Group. Each month, the person in charge of each site/facility enters the volume of water withdrawn into SeeMS, which enables us to aggregate withdrawals from each site/facility on a company-wide basis.

(9.2.4) 説明してください

The total amount of water withdrawn is monitored to control costs and monitor environmental impact on water resources at each site. Water withdrawals are measured by source, and data entered into SeeMS each month at each operating site is aggregated and managed by Epson as a whole.

取水量 – 水源別の量

(9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

☑ 100%

(9.2.2) 測定頻度

選択:

☑ 常時

(9.2.3) 測定方法

Water withdrawals by source are normally measured continuously using a flowmeters installed at each water source. Epson has built an environmental information management system called SeeMS to monitor water withdrawals throughout the Group. Each month, the person in charge of each site/facility enters the volume of water withdrawn into SeeMS, which enables us to aggregate withdrawals from each site/facility on a company-wide basis.

(9.2.4) 説明してください

The total amount of water withdrawn is tracked to monitor the environmental impact on water resources at each site and to control costs. Since the quality and environmental impact of water varies depending on the source, we track water withdrawals by source. The amount of water withdrawn is measured and controlled at each operating site.

取水の水質

(9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

☑ 100%

(9.2.2) 測定頻度

選択:

☑ 常時

(9.2.3) 測定方法

Epson withdraws water for use in daily life and in production. The water quality of water used in daily life is guaranteed by suppliers. Epson continuously measures the turbidity, pH, organic matter, and other values of the water used in production, according to its intended purpose of use.

(9.2.4) 説明してください

Epson uses large quantities of water to clean electronic components, and the water used for cleaning is purified using water purification equipment before use. Water fed into water purification equipment is tested for turbidity, PH, etc. each time, as water quality must be above a certain level. The quality of water withdrawn is monitored for each facility and is monitored monthly using SeeMS at each operating site.

排水量 – 総量

(9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

☑ 100%

(9.2.2) 測定頻度

選択:

☑ 常時

(9.2.3) 測定方法

The volume of water discharged is normally measured continuously using a flowmeter attached to the wastewater system for each discharge destination. Epson has built an environmental information management system called SeeMS to monitor water withdrawals throughout the Group. Each month, the person in charge of each site/facility enters the volume of water discharged for each discharge destination into SeeMS, which enables us to aggregate discharges from each site/facility on a company-wide basis

(9.2.4) 説明してください

The total amount of water discharged by destination is tracked to monitor the environmental impact on water resources at each site and to control costs. Water may be discharged to the sewage system or water management companies and treated by a third party, or it may be discharged directly into rivers or other bodies of water. Water discharge volumes are tracked by treatment facility and discharge destination, and monitored monthly using SeeMS at each operating site.

排水量 – 放流先別排水量

(9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

☑ 100%

(9.2.2) 測定頻度

選択:

☑ 常時

(9.2.3) 測定方法

The volume of water discharged is normally measured continuously using a flowmeter attached to the wastewater system for each discharge destination. Epson has built an environmental information management system called SeeMS to monitor water withdrawals throughout the Group. Each month, the person in charge of each site/facility enters the volume of water discharged for each discharge destination into SeeMS, which enables us to aggregate discharges from each site/facility on a company-wide basis

(9.2.4) 説明してください

The total amount of water discharged by destination is tracked to monitor the environmental impact on water resources at each site and to control costs. Water may be discharged to the sewage system or water management companies and treated by a third party, or it may be discharged directly into rivers or other bodies of water. Water discharge volumes are tracked by treatment facility and discharge destination, and monitored monthly using SeeMS at each operating site.

排水量 – 処理方法別排水量

(9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

☑ 100%

(9.2.2) 測定頻度

選択:

☑ 毎月

(9.2.3) 測定方法

The amount of water discharged by treatment method is monitored using pump operating hours and flowmeters installed at the wastewater treatment facilities at each site/facility. The frequency of measurement varies according to the wastewater treatment facility and may be monthly, daily, or constant.

(9.2.4) 説明してください

The total amount of water discharged by treatment method is tracked to monitor the environmental impact on water resources at each site and to control costs. Water may be discharged to the sewage system or water management companies and treated by a third party, or it may be discharged directly into rivers or other bodies of water.

排水水質 – 標準廃水パラメータ別

(9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

☑ 100%

(9.2.2) 測定頻度

選択:

☑ 毎月

(9.2.3) 測定方法

The water discharge quality parameters measured and the measurement frequency is determined based on the laws and regulations of the country or region where each site is located. Measurements are taken by an external analysis institute and the results are reported to each site. Each month, the person in charge of each site enters BOD, COD, SS and other data into SeeMS, which enables the Group department in charge to monitor the quality of discharged water at each site.

(9.2.4) 説明してください

Monitoring of water discharge quality is conducted to ensure that water discharged from each site meets the standards set by the laws and regulations of the relevant country or region. Water discharge quality is controlled by operating site and by discharge destination. The Group's regulations on pollution prevention stipulate that each site should set its own self-management values which are stricter than those stipulated by law, as well as the operational control values necessary to meet the self-management values. Self-management standards have basically been set aiming for half of the legal standards, while operational control values have been set aiming for one-tenth of the legal standard. Emergency measures in the event that the respective standards are exceeded are also stipulated in the Group's regulations.

排水の質 - 水への排出(硝酸塩、リン酸塩、殺虫剤、その他の優先有害物質)

(9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

☑ 100%

(9.2.2) 測定頻度

選択:

☑ 四半期に 1 回

(9.2.3) 測定方法

Water discharge quality inspections are conducted at each site on a quarterly to monthly basis. Pesticides are not measured as they are not used in the production process and no substances requiring monitoring are used in planting management. Nitrate, phosphate, and other priority substances in water discharged are measured if they are used in the production process, by an external analysis institute at the frequency stipulated by law.

(9.2.4) 説明してください

The person in charge of each site enters data into SeeMS, which enables us to monitor water discharge quality at each site. Monitoring of water discharge quality is conducted to ensure that water discharged from each site meets the standards set by the laws and regulations of the relevant country or region. Nitrate, phosphate,

and other priority substances in water discharged are measured at sites where such chemicals are used due to the risk involved in discharging them into water bodies. For example, at the Suwa Minami Plant, T-P, ammonia, ammonia compounds, nitrite nitrogen compounds and nitrate compounds, nitrite nitrogen and nitrous acid compounds, nitrate nitrogen, and nitrate compounds in water discharged are measured once a month.

排水水質 – 温度

(9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

☑ 100%

(9.2.2) 測定頻度

選択:

☑ 常時

(9.2.3) 測定方法

The monitoring frequency of temperature of water discharged is determined based on the laws and regulations of the countries or regions where each site is located. Water temperature is measured by an external measuring institute or by employees using a water thermometer. The Epson Group has built an environmental information management system called SeeMS to gather and disclose environmental data. Each month, the person in charge of each site/facility enters temperature data of water discharged

(9.2.4) 説明してください

Monitoring of temperature of water discharged is conducted to ensure that water discharged from each site meets the standards set by the laws and regulations of the relevant country or region.

水消費量 – 総量

(9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

☑ 100%

(9.2.2) 測定頻度

選択:

☑ 毎月

(9.2.3) 測定方法

The Epson Group has built an environmental information management system called SeeMS to gather and disclose environmental data. Each month, the person in charge at each site enters the water withdrawal and water discharge volume into SeeMS, which enables us to calculate the total volume of water consumed, which is the volume of water withdrawn less the volume of water discharged.

(9.2.4) 説明してください

The total amount of water consumed is monitored to control costs and monitor environmental impact on water resources at each site. Epson discharges most of the water it withdraws into local waters after use, but some water, such as water used for cooling, is consumed within the operating area. Water consumption is controlled by each operating site and by the difference between water withdrawal and water discharge.

リサイクル水/再利用水

(9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

☑ 100%

(9.2.2) 測定頻度

選択:

☑ 常時

(9.2.3) 測定方法

The Epson Group has built an environmental information management system called SeeMS to gather and disclose environmental data. Each month, the person in charge of each site/facility enters the volume of water reused into SeeMS, which enables us to monitor the volume of water being reused at each site/facility. The volume of water recycled is normally measured continuously using a flowmeter installed at each facility and the person in charge enters such data into SeeMS.

(9.2.4) 説明してください

The volume of water recycled is monitored to control costs and monitor environmental impact on water resources at each site. Water consumption is managed by each operating site and by the difference between water withdrawal and water discharge. For water used on site, the volume of water withdrawn can be reduced by re-purifying after use. The volume of water recycled is measured at each facility and is monitored monthly by SeeMS at each operating site.

完全に管理された上下水道・衛生（**WASH**）サービスを全従業員に提供

(9.2.1) 拠点/施設/事業活動に占める割合 (%)

選択:

☑ 100%

(9.2.2) 測定頻度

選択:

☑ 毎年

(9.2.3) 測定方法

Epson undertakes hygiene management in accordance with the laws and regulations of the relevant country or region. Water quality tests are conducted at least once a year and the results are stored. Group standards have been established in accordance with the laws and regulations of each country and Responsible Business Alliance (RBA) requirements, which stipulate that water quality tests should be conducted at least once a year, and that the results should be stored.

(9.2.4) 説明してください

Epson believes that maintaining and improving the health and safety environment as well as physical and mental well-being is central to its corporate philosophy. To ensure that all workers around the world can work safely and with vitality, we have established and are developing activities to promote occupational health and safety. Drinking water for workers is managed separately from water used in production and water with established water quality standards is usually purchased from public water companies. The frequency of cleaning sanitation equipment is established based on the regulations imposed on each site/facility and workplace regulations.
[固定行]

(9.2.2) 貴組織の事業全体で、取水、排水、消費した水の合計量と、前報告年比、また今後予測される変化についてご記載ください。

総取水量

(9.2.2.1) 量(メガリットル/年)

8088

(9.2.2.2) 前報告年との比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.2.2.3) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

☑ 事業活動の拡大/縮小

(9.2.2.4) 5 年間の予測

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.2.2.5) 将来予測の主な根拠

選択:

☑ その他、具体的にお答えください :Increased business activity and efficiency

(9.2.2.6) 説明してください

Water withdrawals in FY2023 were at the same level compared to FY2022. Production volumes have stagnated or declined since last year, when demand was

strong. In the medium-to long-term, the demand for water at production sites will increase as production increases, but we do not believe there will be any significant change in total water withdrawals as we are also taking measures to reduce water consumption.

総排水量

(9.2.2.1) 量(メガリットル/年)

7254

(9.2.2.2) 前報告年との比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.2.2.3) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

☑ 事業活動の拡大/縮小

(9.2.2.4) 5 年間の予測

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.2.2.5) 将来予測の主な根拠

選択:

☑ その他、具体的にお答えください :Increased business activity and efficiency

(9.2.2.6) 説明してください

Water withdrawals in FY2023 were at the same level compared to FY2022. Production volumes have stagnated or declined since last year, when demand was strong. In the medium-to long-term, we do not anticipate any changes in total water withdrawal, and we do not believe there will be any significant change in the total

discharge.

総消費量

(9.2.2.1) 量(メガリットル/年)

834

(9.2.2.2) 前報告年との比較

選択:

☑ 少ない

(9.2.2.3) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

☑ 効率性の向上/低下

(9.2.2.4) 5 年間の予測

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.2.2.5) 将来予測の主な根拠

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**Increased business activity and efficiency

(9.2.2.6) 説明してください

Water consumption in fiscal year 2023 decreased compared to fiscal year 2022. Water withdrawal is at the same level, we are controlling the increase in water consumption by introducing initiatives such as switching from water-cooling air conditioning facilities which consume water to air-cooling conditioning facilities. In the medium to long term, total consumption will increase as production increases, but we do not expect any significant change in total consumption as we are promoting

measures such to reduce water use and to recycle water.
[固定行]

(9.2.4) 水ストレス下にある地域から取水を行っていますか。また、その量、前報告年比、今後予測される変化はどのようなものですか。

(9.2.4.1) 取水は水ストレス下にある地域からのものです

選択:

☑ いいえ

(9.2.4.8) 確認に使ったツール

該当するすべてを選択

☑ WRI Aqueduct

☑ WWF Water Risk Filter

☑ その他、具体的にお答えください :questionnaire survey

(9.2.4.9) 説明してください

Epson assesses current and future risks related to water using multiple means and takes measures as necessary. First, screening was conducted using the WRI Aqueduct and Water Risk Filter to assess water risk in areas where the company's operation sites are located. In areas with water risk, we assessed whether water stress, such as drought, was apparent by conducting a secondary on-site survey, and defined areas with confirmed water stress as water-stressed areas. Screening of water-stressed areas, conducted as part of a drought risk study, revealed water risks at some production sites in Japan, China, Southeast Asia, and South America. Water risk areas are areas where either “baseline water stress” or “baseline water depletion” is “high” or higher when assessed using WRI Aqueduct, or “water depletion,” “blue water scarcity,” or “available water remaining (AWARE)” is 3 or higher when assessed using Water Risk Filter. In the sites that were screened as having water risk, a secondary survey (questionnaire or interview survey) was conducted with local subsidiary staff and water suppliers, and it was confirmed that “at the current level of water consumption, even a slight increase (about 30%) in water consumption would not pose a problem from the perspective of water environment conservation in the region. The study confirmed that “a slight increase (about 30%) in water consumption at the current level would not pose a problem from the perspective of water environment conservation in the region. Based on this, we evaluated that no water stress problems have emerged in these areas. We will continue our water use reduction activities and continue to assess water risk in the actual watersheds of our business sites.

[固定行]

(9.2.7) 水源別の総取水量をお答えください。

淡水の地表水(雨水、湿地帯の水、河川、湖水を含む)

(9.2.7.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

☑ 関連性がない

(9.2.7.5) 説明してください

We use third party sources or groundwater (renewable) as the manufacture of printers, projectors and semiconductors, our core products, requires a stable supply and quality of water. For this reason, we are not currently using this water source and do not have any plans to use them in the future.

汽水の地表水/海水

(9.2.7.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

☑ 関連性がない

(9.2.7.5) 説明してください

We use third party sources or groundwater (renewable) as the manufacture of printers, projectors and semiconductors, our core products, requires a stable supply and quality of water. For this reason, we are not currently using this water source and do not have any plans to use them in the future.

地下水 - 再生可能

(9.2.7.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

☑ 関連性がある

(9.2.7.2) 量(メガリットル/年)

735

(9.2.7.3) 前報告年との比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.2.7.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**Increased business activity and efficiency

(9.2.7.5) 説明してください

Water is essential to the manufacture of printers, projectors and semiconductors, our core products. Groundwater provides us with a stable and inexpensive supply of good quality water and is essential to our operations. Withdrawals of renewable groundwater are at the same level as the previous year.

地下水 - 非再生可能

(9.2.7.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

☑ 関連性がない

(9.2.7.5) 説明してください

We use third party sources or groundwater (renewable) as the manufacture of printers, projectors and semiconductors, our core products, requires a stable supply and quality of water. For this reason, we are not currently using this water source and do not have any plans to use them in the future.

随伴水/混入水

(9.2.7.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

☑ 関連性がない

(9.2.7.5) 説明してください

We use third party sources or groundwater (renewable) as the manufacture of printers, projectors and semiconductors, our core products, requires a stable supply and quality of water. For this reason, we are not currently using this water source and do not have any plans to use them in the future.

第三者の水源

(9.2.7.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

☑ 関連性がある

(9.2.7.2) 量(メガリットル/年)

7352

(9.2.7.3) 前報告年との比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.2.7.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**Increased business activity and efficiency

(9.2.7.5) 説明してください

Water is essential to the manufacture of printers, projectors and semiconductors, our core products. Third-party water sources consist of water for use in daily life and water for industrial use and are essential to our business operations as they provide a stable supply of water. Production at plants has been increasing in recent years, but water consumption has remained at about the same level due to efforts to reduce water consumption and improve efficiency.
[固定行]

(9.2.8) 放流先別の総排水量をお答えください。

淡水の地表水

(9.2.8.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

☑ 関連性がある

(9.2.8.2) 量(メガリットル/年)

4341

(9.2.8.3) 前報告年との比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.2.8.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**Increased business activity and efficiency

(9.2.8.5) 説明してください

The manufacture of printers, projectors and semiconductors, our core products, uses large volumes of water. Although we encourage water recycling, we have no choice but to discharge excess water. Wherever possible, water is discharged into the general water system or the sewage system to prevent water pollution. The fluctuation in FY2023 was the same level as in FY2022. Although production volume increased from the previous fiscal year, water conservation measures have enabled us to limit the increase in the water discharge volume.

汽水の地表水/海水

(9.2.8.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

☑ 関連性がない

(9.2.8.5) 説明してください

There is no connection between Epson and groundwater as Epson does not discharge water to this destination and does not plan to do so in the future.

地下水

(9.2.8.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

☑ 関連性がない

(9.2.8.5) 説明してください

There is no connection between Epson and groundwater as Epson does not discharge water to this destination and does not plan to do so in the future.

第三者の放流先

(9.2.8.1) 事業への関連性(relevance)

選択:

☑ 関連性がある

(9.2.8.2) 量(メガリットル/年)

2912

(9.2.8.3) 前報告年との比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.2.8.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**Increased business activity and efficiency

(9.2.8.5) 説明してください

The manufacture of printers, projectors and semiconductors, our core products, uses large volumes of water. Although we encourage water recycling, we have no choice but to discharge excess water. Wherever possible, water is discharged into general water system or the sewage system to prevent water pollution. The fluctuation in FY2023 was the same level as in FY2022. Although production volume increased from the previous fiscal year, water conservation measures have enabled us to limit the increase in the water discharge volume.
[固定行]

(9.2.9) 貴組織の自社事業内でのどの程度まで排水処理を行うかをお答えください。

三次処理(高度処理)

(9.2.9.1) 排水処理レベルの事業への関連性

選択:

☑ 関連性がある

(9.2.9.2) 量(メガリットル/年)

2912

(9.2.9.3) 前報告年との処理済み量の比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.2.9.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

☑ その他、具体的にお答えください **:**Increased business activity and efficiency

(9.2.9.5) この量が適用される操業地/施設/操業の割合(%)

選択:

☑ 31～40

(9.2.9.6) 説明してください

Water used in operations at sites and facilities is normally discharged to the sewerage system. In areas where there is no sewerage system, water is subject to tertiary treatment before being discharged into general water bodies. Epson uses water in the cleaning process of semiconductors and other electronic components, in the lives of employees, etc.In areas where there is no sewerage system, water is subject to primary, secondary and tertiary treatment before being discharged into general water bodies in order to remove pollutants such as nitrogen, phosphorus and heavy metals. Epson has established internal regulations to improve the quality of water discharged to a level higher than the legal standard. The Group's regulations on pollution prevention stipulate that each site should set its own self-management values for discharge and operational control values (reference values for detecting abnormalities in routine inspections). Self-management values have basically been set aiming for half of the legal standards, while operational control values have been set aiming for one-tenth of the legal standard. Water discharged to the sewerage system is then treated by the water supplier. Meanwhile, tertiary treatment is conducted for water discharged into general water bodies, and we confirm that the levels are below our self-management values.

二次処理

(9.2.9.1) 排水処理レベルの事業への関連性

選択:

☑ 関連性がある

(9.2.9.2) 量(メガリットル/年)

0

(9.2.9.3) 前報告年との処理済み量の比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.2.9.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

☑ 事業活動の拡大/縮小

(9.2.9.5) この量が適用される操業地/施設/操業の割合(%)

選択:

☑ 1%未満

(9.2.9.6) 説明してください

ater used in operations at sites and facilities is normally discharged to the sewerage system. In areas where there is no sewerage system, water is subject to tertiary treatment before being discharged into general water bodies. Epson uses water in the cleaning process of semiconductors and other electronic components, in the lives of employees, etc.In areas where there is no sewerage system, water is subject to primary, secondary and tertiary treatment before being discharged into general water bodies in order to remove pollutants such as nitrogen, phosphorus and heavy metals. Epson has established internal regulations to improve the quality of water discharged to a level higher than the legal standard. The Group's regulations on pollution prevention stipulate that each site should set its own self-management values for discharge and operational control values (reference values for detecting abnormalities in routine inspections). Self-management values have basically been set aiming for half of the legal standards, while operational control values have been set aiming for one-tenth of the legal standard. Water discharged to the sewerage system is then treated by the water supplier. Meanwhile, tertiary treatment is conducted for water discharged into general water bodies, and we confirm that the levels are below our self-management values.

一次処理のみ

(9.2.9.1) 排水処理レベルの事業への関連性

選択:

☑ 関連性がある

(9.2.9.2) 量(メガリットル/年)

0

(9.2.9.3) 前報告年との処理済み量の比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.2.9.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

☑ 事業活動の拡大/縮小

(9.2.9.5) この量が適用される操業地/施設/操業の割合(%)

選択:

☑ 1%未満

(9.2.9.6) 説明してください

Water used in operations at sites and facilities is normally discharged to the sewerage system. In areas where there is no sewerage system, water is subject to tertiary treatment before being discharged into general water bodies. Epson uses water in the cleaning process of semiconductors and other electronic components, in the lives of employees, etc.In areas where there is no sewerage system, water is subject to primary, secondary and tertiary treatment before being discharged into general water bodies in order to remove pollutants such as nitrogen, phosphorus and heavy metals. Epson has established internal regulations to improve the quality of water discharged to a level higher than the legal standard. The Group's regulations on pollution prevention stipulate that each site should set its own self-management values for discharge and operational control values (reference values for detecting abnormalities in routine inspections). Self-management values have basically been set aiming for half of the legal standards, while operational control values have been set aiming for one-tenth of the legal standard. Water discharged to the sewerage system is then treated by the water supplier. Meanwhile, tertiary treatment is conducted for water discharged into general water bodies, and we

confirm that the levels are below our self-management values.

未処理のまま自然環境に排水

(9.2.9.1) 排水処理レベルの事業への関連性

選択:

☑ 関連性がない

(9.2.9.6) 説明してください

Water used in operations at sites/facilities is normally discharged into the sewerage system. Tertiary treatment is conducted to meet the discharge standards of each country and region when discharging water into the natural environment.Therefore, there is no effluent that falls under Discharge to the natural environment without treatment and it is Not relevant.

未処理のまま第三者に排水

(9.2.9.1) 排水処理レベルの事業への関連性

選択:

☑ 関連性がある

(9.2.9.2) 量(メガリットル/年)

4341

(9.2.9.3) 前報告年との処理済み量の比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.2.9.4) 前報告年との変化/無変化の主な理由

選択:

☑ その他、具体的にお答えください :Increased business activity and efficiency

(9.2.9.5) この量が適用される操業地/施設/操業の割合(%)

選択:

☑ 51～60

(9.2.9.6) 説明してください

In areas where sewerage systems exist, water used in operations at sites/facilities is normally discharged into the sewerage system. Our goal for water is to improve wastewater discharge above the legal limits. This also applies to the discharge of water to a third party. Much of the water we use is for cleaning semiconductors and other electronic components. Water discharged into the sewage system complies with legal standards.

その他

(9.2.9.1) 排水処理レベルの事業への関連性

選択:

☑ 関連性がない

(9.2.9.6) 説明してください

Water used in operations at sites/facilities is normally discharged into the sewerage system. Tertiary treatment is conducted to meet the discharge standards of each country and region when discharging water into the natural environment.There is no effluent that falls under Other and it is Not relevant.
[固定行]

(9.2.10) 報告年における硝酸塩、リン酸塩、殺虫剤、およびその他の優先有害物質の水域への貴組織の排出量について具体的にお答えください。

(9.2.10.1) 報告年の水域への排出量 (メートルトン)

70

(9.2.10.2) 含まれる物質のカテゴリー

該当するすべてを選択

☑ 硝酸塩

☑ リン酸塩

(9.2.10.4) 説明してください

Epson uses nitrates and phosphates in some of its manufacturing processes. In this report, ammonia and ammonia compounds, nitrous acid compounds and nitrate compounds, nitrate nitrogen and nitrous acid compounds, nitrite nitrogen and nitrous acid compounds, and T-P were calculated by multiplying the discharge volume. Most water is discharged into the sewerage system, and the discharged water is treated by an external operator. In addition, the facility that discharges water into the general water system is located downstream of the river, and there are no protected areas nearby.
[固定行]

(9.3) 自社事業およびバリューチェーン上流において、水に関連する重大な依存、影響、リスク、機会を特定した施設の数はいくつですか。

直接操業

(9.3.1) バリューチェーン上の段階における施設の特定

選択:

☑ はい、このバリューチェーン上の段階を評価し、水関連の依存、影響、リスク、機会のある施設を特定しました。

(9.3.2) 特定された施設の総数

9

(9.3.3) 自社事業を行う施設の割合

選択:

☑ 51～75

(9.3.4) 説明してください

Epson assesses current and future risks related to water by multiple measures and takes action as needed. For direct operations, we have studied water withdrawals (dependence) and regional water risks for 43 manufacturing sites worldwide. As a result, we found that some of our production sites in Japan, China, Southeast Asia, and South America are located in areas considered to be under water stress. Water-stressed areas are defined as those where either “Baseline water stress” or “Baseline water depletion” is above “High” in the WRI Aqueduct, or where “Baseline water stress” or “Baseline water depletion” is above “Low” in the WRI Aqueduct. ' or higher, or “Water depletion” “Blue water scarcity” in the Water Risk Filter. “Available water remaining (AWARE)” was defined as an area with a risk score of 3 or higher. In the sites screened as being in water stress areas, a secondary survey (questionnaire or interview survey) was conducted with local company representatives and water suppliers to confirm that “at the current level of usage, a slight increase (approximately 30%) in usage would not pose a problem from the perspective of water environment conservation in the region. We have confirmed that “even a slight increase (30%) in the current level of usage would not pose a problem from the perspective of preserving the local water environment. For the facilities located in this area, water risk exists, but water stress is not apparent, and therefore, the facilities are assessed as not being in a water-stressed area in 9.2.4. For the climate change risk/opportunity assessment, we have assessed that future changes in future operational risks due to climate change are limited. We will continue to assess water risks in the actual basins of our sites on an ongoing basis as well as continue our water use reduction activities.

バリューチェーン上流

(9.3.1) バリューチェーン上の段階における施設の特定

選択:

☑ いいえ、水関連の依存、影響、リスク、機会がある施設については、バリューチェーン上の段階を評価しておらず、また、今後 2 年以内に評価する予定もありません。

(9.3.4) 説明してください

For suppliers upstream in the value chain, we conduct an annual environmental impact survey to determine the amount of water withdrawn for manufacturing, etc. For FY2023, we obtained information on the location of these suppliers. In the future, WRI Aqueduct and WWF Water Risk Filter will be used to assess water risk in areas where suppliers' manufacturing sites are located.
[固定行]

(9.3.1) 設問 9.3 で挙げた各施設について、地理座標、水会計データ、前報告年との比較内容を記入してください。

Row 1

(9.3.1.1) 施設参照番号

選択:

☑ 施設 1

(9.3.1.2) 施設名(任意)

Tohoku Epson Corp. Head Office

(9.3.1.3) バリューチェーン上の段階

選択:

☑ 直接操業

(9.3.1.4) この施設で特定された依存度、インパクト、リスク、機会

該当するすべてを選択

☑ 依存

☑ リスク

(9.3.1.5) 報告年での取水量または排水量

選択:

☑ はい、取水量と排水量

(9.3.1.7) 国/地域および河川流域

日本

☑ 最上川

(9.3.1.8) 緯度

38.884787

(9.3.1.9) 経度

139.814495

(9.3.1.10) 水ストレス下にある地域にある

選択:

☑ はい

(9.3.1.13) 本施設における総取水量(メガリットル)

2581339

(9.3.1.14) 前報告年との総取水量の比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.3.1.15) 淡水地表水(雨水、湿地帯、河川および湖からの水を含む)からの取水量

0

(9.3.1.16) 汽水の地表水/海水からの取水量

0

(9.3.1.17) 地下水からの取水量 - 再生可能

0

(9.3.1.18) 地下水からの取水量 - 非再生可能

0

(9.3.1.19) 随伴水/混入水からの取水量

0

(9.3.1.20) 第三者水源からの取水量

2581339

(9.3.1.21) 本施設における総排水量(メガリットル)

2236011

(9.3.1.22) 前報告年との総排水量の比較

選択:

☑ 多い

(9.3.1.23) 淡水の地表水への排水

2236011

(9.3.1.24) 汽水の地表水/海水への排水

0

(9.3.1.25) 地下水への排水

0

(9.3.1.26) 第三者の放流先への排水

0

(9.3.1.27) 当該施設における水総消費量 (メガリットル)

345328

(9.3.1.28) 前報告年との総消費量の比較

選択:

☑ 少ない

(9.3.1.29) 説明してください

This facility is located near the mouth of the Mogami River and draws water from the river, but it has little impact on local use. The water supply agency has confirmed that, at current usage levels, there will be no problems for the local area even if the facility's water intake increases slightly. There is an issue that seawater flows upstream when the river level drops, increasing the salinity of the water at the time of intake. The increase or decrease in water intake at this facility has been within 5% of the previous year, and has remained at roughly the same level.

Row 2

(9.3.1.1) 施設参照番号

選択:

☑ 施設 2

(9.3.1.2) 施設名(任意)

EPSON DO BRASIL INDUSTRIA E COMERCIO LTDA.

(9.3.1.3) バリューチェーン上の段階

選択:

☑ 直接操業

(9.3.1.4) この施設で特定された依存度、インパクト、リスク、機会

該当するすべてを選択

☑ 依存

☑ リスク

(9.3.1.5) 報告年での取水量または排水量

選択:

☑ はい、取水量と排水量

(9.3.1.7) 国/地域および河川流域

ブラジル

☑ その他、具体的にお答えください **:**Tiete

(9.3.1.8) 緯度

-23.495573

(9.3.1.9) 経度

-46.835783

(9.3.1.10) 水ストレス下にある地域にある

選択:

☑ はい

(9.3.1.13) 本施設における総取水量(メガリットル)

8520

(9.3.1.14) 前報告年との総取水量の比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.3.1.15) 淡水地表水(雨水、湿地帯、河川および湖からの水を含む)からの取水量

0

(9.3.1.16) 汽水の地表水/海水からの取水量

0

(9.3.1.17) 地下水からの取水量 - 再生可能

0

(9.3.1.18) 地下水からの取水量 - 非再生可能

0

(9.3.1.19) 随伴水/混入水からの取水量

0

(9.3.1.20) 第三者水源からの取水量

8520

(9.3.1.21) 本施設における総排水量(メガリットル)

8520

(9.3.1.22) 前報告年との総排水量の比較

選択:

☑ 大幅に多い

(9.3.1.23) 淡水の地表水への排水

0

(9.3.1.24) 汽水の地表水/海水への排水

0

(9.3.1.25) 地下水への排水

0

(9.3.1.26) 第三者の放流先への排水

8520

(9.3.1.27) 当該施設における水総消費量 (メガリットル)

0

(9.3.1.28) 前報告年との総消費量の比較

選択:

☑ 大幅に少ない

(9.3.1.29) 説明してください

Water resources in the area are managed by Sabesp (Basic Sanitation Company of the State of São Paulo). Drought is not a permanent problem in the area. Water withdrawals at this facility have increased or decreased within 5% of the previous year, remaining at roughly the same level.

Row 3

(9.3.1.1) 施設参照番号

選択:

☑ 施設 3

(9.3.1.2) 施設名(任意)

PT. INDONESIA EPSON INDUSTRY

(9.3.1.3) バリューチェーン上の段階

選択:

☑ 直接操業

(9.3.1.4) この施設で特定された依存度、インパクト、リスク、機会

該当するすべてを選択

☑ 依存

☑ リスク

(9.3.1.5) 報告年での取水量または排水量

選択:

☑ はい、取水量と排水量

(9.3.1.7) 国/地域および河川流域

インドネシア

☑ その他、具体的にお答えください **:**Chikarang

(9.3.1.8) 緯度

-6.327955

(9.3.1.9) 経度

107.116783

(9.3.1.10) 水ストレス下にある地域にある

選択:

☑ はい

(9.3.1.13) 本施設における総取水量(メガリットル)

252530

(9.3.1.14) 前報告年との総取水量の比較

選択:

☑ 少ない

(9.3.1.15) 淡水地表水(雨水、湿地帯、河川および湖からの水を含む)からの取水量

0

(9.3.1.16) 汽水の地表水/海水からの取水量

0

(9.3.1.17) 地下水からの取水量 - 再生可能

0

(9.3.1.18) 地下水からの取水量 - 非再生可能

0

(9.3.1.19) 随伴水/混入水からの取水量

0

(9.3.1.20) 第三者水源からの取水量

252530

(9.3.1.21) 本施設における総排水量(メガリットル)

252530

(9.3.1.22) 前報告年との総排水量の比較

選択:

☑ 少ない

(9.3.1.23) 淡水の地表水への排水

0

(9.3.1.24) 汽水の地表水/海水への排水

0

(9.3.1.25) 地下水への排水

0

(9.3.1.26) 第三者の放流先への排水

252530

(9.3.1.27) 当該施設における水総消費量 (メガリットル)

0

(9.3.1.28) 前報告年との総消費量の比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.3.1.29) 説明してください

This facility is served by ”Pt. East Jakarta Industrial Park (EJIP)”, an industrial park, which draws water from the Cikarang River. Even dry season, shortage of raw water didn’t happen at Cikarang River in 33years EJIP history. EJIP has water reserves that come from water reservoirs (tank for 2 days consumption) at WATEC and small pond(for 7days) against shortage of water. The change in water withdrawals at this facility was 80-95% of the previous year's level, a slight decrease.

Row 4

(9.3.1.1) 施設参照番号

選択:

☑ 施設 4

(9.3.1.2) 施設名(任意)

Epson Precision (Philippines), Inc. Lipa Plant

(9.3.1.3) バリューチェーン上の段階

選択:

☑ 直接操業

(9.3.1.4) この施設で特定された依存度、インパクト、リスク、機会

該当するすべてを選択

☑ 依存

☑ リスク

(9.3.1.5) 報告年での取水量または排水量

選択:

☑ はい、取水量と排水量

(9.3.1.7) 国/地域および河川流域

フィリピン

☑ その他、具体的にお答えください :Laguna Lake

(9.3.1.8) 緯度

14.011959

(9.3.1.9) 経度

121.173149

(9.3.1.10) 水ストレス下にある地域にある

選択:

☑ はい

(9.3.1.13) 本施設における総取水量(メガリットル)

787127

(9.3.1.14) 前報告年との総取水量の比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.3.1.15) 淡水地表水(雨水、湿地帯、河川および湖からの水を含む)からの取水量

0

(9.3.1.16) 汽水の地表水/海水からの取水量

0

(9.3.1.17) 地下水からの取水量 - 再生可能

0

(9.3.1.18) 地下水からの取水量 - 非再生可能

0

(9.3.1.19) 随伴水/混入水からの取水量

0

(9.3.1.20) 第三者水源からの取水量

787127

(9.3.1.21) 本施設における総排水量(メガリットル)

688735

(9.3.1.22) 前報告年との総排水量の比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.3.1.23) 淡水の地表水への排水

0

(9.3.1.24) 汽水の地表水/海水への排水

0

(9.3.1.25) 地下水への排水

0

(9.3.1.26) 第三者の放流先への排水

688735

(9.3.1.27) 当該施設における水総消費量 (メガリットル)

98392

(9.3.1.28) 前報告年との総消費量の比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.3.1.29) 説明してください

The facility is located in the Lima Technology Center. Water for the facility is supplied by the Lima Water Corporation. The supply capacity of the Lima Water Corporation is sufficiently greater than EPPI's current demand, so there is no water shortage issue. The increase or decrease in water withdrawal volume at the facility has been within 5% of the previous year, and is roughly the same level.

Row 5

(9.3.1.1) 施設参照番号

選択:

☑ 施設 5

(9.3.1.2) 施設名(任意)

Epson Precision (Thailand) Ltd. HEAD OFFICE

(9.3.1.3) バリューチェーン上の段階

選択:

☑ 直接操業

(9.3.1.4) この施設で特定された依存度、インパクト、リスク、機会

該当するすべてを選択

☑ 依存

☑ リスク

(9.3.1.5) 報告年での取水量または排水量

選択:

☑ はい、取水量と排水量

(9.3.1.7) 国/地域および河川流域

タイ

☑ その他、具体的にお答えください **:**Bang Pakong

(9.3.1.8) 緯度

13.603507

(9.3.1.9) 経度

101.343337

(9.3.1.10) 水ストレス下にある地域にある

選択:

☑ はい

(9.3.1.13) 本施設における総取水量(メガリットル)

253486

(9.3.1.14) 前報告年との総取水量の比較

選択:

☑ 大幅に少ない

(9.3.1.15) 淡水地表水(雨水、湿地帯、河川および湖からの水を含む)からの取水量

0

(9.3.1.16) 汽水の地表水/海水からの取水量

0

(9.3.1.17) 地下水からの取水量 - 再生可能

0

(9.3.1.18) 地下水からの取水量 - 非再生可能

0

(9.3.1.19) 随伴水/混入水からの取水量

0

(9.3.1.20) 第三者水源からの取水量

253486

(9.3.1.21) 本施設における総排水量(メガリットル)

202789

(9.3.1.22) 前報告年との総排水量の比較

選択:

☑ 少ない

(9.3.1.23) 淡水の地表水への排水

0

(9.3.1.24) 汽水の地表水/海水への排水

0

(9.3.1.25) 地下水への排水

0

(9.3.1.26) 第三者の放流先への排水

202789

(9.3.1.27) 当該施設における水総消費量 (メガリットル)

50697

(9.3.1.28) 前報告年との総消費量の比較

選択:

☑ 少ない

(9.3.1.29) 説明してください

The facility receives water from MDX Public CL. EPTH's water usage is less than 5% of the daily water usage of the entire industrial park. The industrial park has a reservoir with a water volume equivalent to two years' worth of water based on current usage, so there are no water shortage issues. The increase or decrease in water intake at the facility was 80-95% of the previous year, which was a slight decrease.

Row 6

(9.3.1.1) 施設参照番号

選択:

☑ 施設 6

(9.3.1.2) 施設名(任意)

Epson Precision (Thailand) Ltd. Branch office 2

(9.3.1.3) バリューチェーン上の段階

選択:

☑ 直接操業

(9.3.1.4) この施設で特定された依存度、インパクト、リスク、機会

該当するすべてを選択

☑ 依存

☑ リスク

(9.3.1.5) 報告年での取水量または排水量

選択:

☑ はい、取水量と排水量

(9.3.1.7) 国/地域および河川流域

タイ

☑ その他、具体的にお答えください **:**Bang Pakong

(9.3.1.8) 緯度

13.600013

(9.3.1.9) 経度

101.340177

(9.3.1.10) 水ストレス下にある地域にある

選択:

☑ はい

(9.3.1.13) 本施設における総取水量(メガリットル)

51049

(9.3.1.14) 前報告年との総取水量の比較

選択:

☑ 多い

(9.3.1.15) 淡水地表水(雨水、湿地帯、河川および湖からの水を含む)からの取水量

0

(9.3.1.16) 汽水の地表水/海水からの取水量

0

(9.3.1.17) 地下水からの取水量 - 再生可能

0

(9.3.1.18) 地下水からの取水量 - 非再生可能

0

(9.3.1.19) 随伴水/混入水からの取水量

0

(9.3.1.20) 第三者水源からの取水量

51049

(9.3.1.21) 本施設における総排水量(メガリットル)

40839

(9.3.1.22) 前報告年との総排水量の比較

選択:

☑ 多い

(9.3.1.23) 淡水の地表水への排水

0

(9.3.1.24) 汽水の地表水/海水への排水

0

(9.3.1.25) 地下水への排水

0

(9.3.1.26) 第三者の放流先への排水

40839

(9.3.1.27) 当該施設における水総消費量 (メガリットル)

10210

(9.3.1.28) 前報告年との総消費量の比較

選択:

☑ 多い

(9.3.1.29) 説明してください

The facility receives water from MDX Public CL. EPTH's water usage is less than 5% of the daily water usage of the entire industrial park. The industrial park has a reservoir with a water volume equivalent to two years' worth of water based on current usage, so there are no water shortage issues. The increase in water intake at this facility was more than 120% compared to the previous year, showing an increase.

Row 7

(9.3.1.1) 施設参照番号

選択:

☑ 施設 7

(9.3.1.2) 施設名(任意)

Epson Wuxi Co., Ltd.

(9.3.1.3) バリューチェーン上の段階

選択:

☑ 直接操業

(9.3.1.4) この施設で特定された依存度、インパクト、リスク、機会

該当するすべてを選択

☑ 依存

☑ リスク

(9.3.1.5) 報告年での取水量または排水量

選択:

☑ はい、取水量と排水量

(9.3.1.7) 国/地域および河川流域

中国

☑ その他、具体的にお答えください **:Taihu Lake**

(9.3.1.8) 緯度

31.548771

(9.3.1.9) 経度

120.353937

(9.3.1.10) 水ストレス下にある地域にある

選択:

☑ はい

(9.3.1.13) 本施設における総取水量(メガリットル)

96638

(9.3.1.14) 前報告年との総取水量の比較

選択:

☑ 大幅に少ない

(9.3.1.15) 淡水地表水(雨水、湿地帯、河川および湖からの水を含む)からの取水量

0

(9.3.1.16) 汽水の地表水/海水からの取水量

0

(9.3.1.17) 地下水からの取水量 - 再生可能

0

(9.3.1.18) 地下水からの取水量 - 非再生可能

0

(9.3.1.19) 随伴水/混入水からの取水量

0

(9.3.1.20) 第三者水源からの取水量

96638

(9.3.1.21) 本施設における総排水量(メガリットル)

76856

(9.3.1.22) 前報告年との総排水量の比較

選択:

☑ 大幅に少ない

(9.3.1.23) 淡水の地表水への排水

0

(9.3.1.24) 汽水の地表水/海水への排水

0

(9.3.1.25) 地下水への排水

0

(9.3.1.26) 第三者の放流先への排水

76856

(9.3.1.27) 当該施設における水総消費量 (メガリットル)

19782

(9.3.1.28) 前報告年との総消費量の比較

選択:

☑ 大幅に少ない

(9.3.1.29) 説明してください

In China, government agencies manage the water supply to factories. This region has traditionally been recognized as an area with abundant water, and there are no issues with water shortages. The increase in water intake at this facility was more than 120% of the previous year, indicating an increase.

Row 8

(9.3.1.1) 施設参照番号

選択:

☑ 施設 8

(9.3.1.2) 施設名(任意)

Epson Precision Suzhou Co., Ltd.

(9.3.1.3) バリューチェーン上の段階

選択:

☑ 直接操業

(9.3.1.4) この施設で特定された依存度、インパクト、リスク、機会

該当するすべてを選択

☑ 依存

☑ リスク

(9.3.1.5) 報告年での取水量または排水量

選択:

☑ はい、取水量と排水量

(9.3.1.7) 国/地域および河川流域

中国

☑ その他、具体的にお答えください **:Taihu Lake**

(9.3.1.8) 緯度

31.311885

(9.3.1.9) 経度

120.527987

(9.3.1.10) 水ストレス下にある地域にある

選択:

☑ はい

(9.3.1.13) 本施設における総取水量(メガリットル)

111560

(9.3.1.14) 前報告年との総取水量の比較

選択:

☑ 少ない

(9.3.1.15) 淡水地表水(雨水、湿地帯、河川および湖からの水を含む)からの取水量

0

(9.3.1.16) 汽水の地表水/海水からの取水量

0

(9.3.1.17) 地下水からの取水量 - 再生可能

0

(9.3.1.18) 地下水からの取水量 - 非再生可能

0

(9.3.1.19) 随伴水/混入水からの取水量

0

(9.3.1.20) 第三者水源からの取水量

111560

(9.3.1.21) 本施設における総排水量(メガリットル)

100404

(9.3.1.22) 前報告年との総排水量の比較

選択:

☑ 少ない

(9.3.1.23) 淡水の地表水への排水

0

(9.3.1.24) 汽水の地表水/海水への排水

0

(9.3.1.25) 地下水への排水

0

(9.3.1.26) 第三者の放流先への排水

100404

(9.3.1.27) 当該施設における水総消費量 (メガリットル)

11156

(9.3.1.28) 前報告年との総消費量の比較

選択:

☑ 少ない

(9.3.1.29) 説明してください

In China, government agencies manage the water supply to factories. This region has traditionally been recognized as an area with abundant water, and there are no issues with water shortages. The increase or decrease in water intake at this facility was 80-95% of the previous year, a slight decrease.

Row 9

(9.3.1.1) 施設参照番号

選択:

☑ 施設 9

(9.3.1.2) 施設名(任意)

Tianjin Epson Co., Ltd.

(9.3.1.3) バリューチェーン上の段階

選択:

☑ 直接操業

(9.3.1.4) この施設で特定された依存度、インパクト、リスク、機会

該当するすべてを選択

☑ 依存

☑ リスク

(9.3.1.5) 報告年での取水量または排水量

選択:

☑ はい、取水量と排水量

(9.3.1.7) 国/地域および河川流域

中国

☑ その他、具体的にお答えください **:**Haihe River

(9.3.1.8) 緯度

39.118648

(9.3.1.9) 経度

117.148828

(9.3.1.10) 水ストレス下にある地域にある

選択:

☑ はい

(9.3.1.13) 本施設における総取水量(メガリットル)

27850

(9.3.1.14) 前報告年との総取水量の比較

選択:

☑ 多い

(9.3.1.15) 淡水地表水(雨水、湿地帯、河川および湖からの水を含む)からの取水量

0

(9.3.1.16) 汽水の地表水/海水からの取水量

0

(9.3.1.17) 地下水からの取水量 - 再生可能

0

(9.3.1.18) 地下水からの取水量 - 非再生可能

0

(9.3.1.19) 随伴水/混入水からの取水量

0

(9.3.1.20) 第三者水源からの取水量

27850

(9.3.1.21) 本施設における総排水量(メガリットル)

27850

(9.3.1.22) 前報告年との総排水量の比較

選択:

☑ 多い

(9.3.1.23) 淡水の地表水への排水

0

(9.3.1.24) 汽水の地表水/海水への排水

0

(9.3.1.25) 地下水への排水

0

(9.3.1.26) 第三者の放流先への排水

27850

(9.3.1.27) 当該施設における水総消費量 (メガリットル)

0

(9.3.1.28) 前報告年との総消費量の比較

選択:

☑ ほぼ同じ

(9.3.1.29) 説明してください

In China, government agencies control water supplies to factories. Water scarcity has long been a problem in the region, but the national North-South Waterway Project has helped alleviate the problem over the past decade. The increase in water intake at this facility was more than 120% of the previous year, indicating an increase.
[行を追加]

(9.3.2) 設問 **9.3.1** で挙げた貴組織が直接所有運営している施設について、第三者検証を受けている水会計データの比率をお答えください。

取水量 – 総量

(9.3.2.1) 検証率(%)

選択:

☑ 76～100

(9.3.2.2) 使用した検証基準

It has been verified according to ISAE 3000.

取水 – 水源別取水量

(9.3.2.1) 検証率(%)

選択:

☑ 76～100

(9.3.2.2) 使用した検証基準

Verified in accordance with ISAE 3000 and ISO 14064-3.

取水量 – 標準水質パラメータ別の水質

(9.3.2.1) 検証率(%)

選択:

☑ 検証していない

(9.3.2.3) 説明してください

Water quality by standard water quality parameters is not included id scope of the third-party verification. Water quality standards to be adhered to are managed on a site-by-site basis, as effluent standards for each site vary depending on the country or region in which the site is located.

排水量 – 総量

(9.3.2.1) 検証率(%)

選択:

☑ 76～100

(9.3.2.2) 使用した検証基準

Verified in accordance with ISAE 3000 and ISO 14064-3.

排水量 – 放流先別の量

(9.3.2.1) 検証率(%)

選択:

☑ 76～100

(9.3.2.2) 使用した検証基準

Verified in accordance with ISAE 3000 and ISO 14064-3.

排水量 – 最終処理レベル別の量

(9.3.2.1) 検証率(%)

選択:

☑ 検証していない

(9.3.2.3) 説明してください

The volume of wastewater discharged by final treatment level is not included in the scope of the third-party verification.

排水量 – 標準水質パラメータ別の水質

(9.3.2.1) 検証率(%)

選択:

☑ 76～100

(9.3.2.2) 使用した検証基準

Verified in accordance with ISAE 3000 and ISO 14064-3.

水消費量 – 総量

(9.3.2.1) 検証率(%)

選択:

☑ 検証していない

(9.3.2.3) 説明してください

Water consumption is not included in the scope of the third-party verification.
[固定行]

(9.4) 設問 9.3.1 で報告した貴組織の施設のいずれかが回答を要請している CDP サプライチェーンメンバー企業に影響を及ぼす可能性がありますか。

選択:

☑ このデータはないが、今後 2 年以内にデータを収集する意向です

(9.5) 貴組織の総取水効率の数値を記入してください。

(9.5.1) 売上 (通貨)

1313900000000

(9.5.2) 総取水量効率

162450544.02

(9.5.3) 予測される将来の傾向

Epson expects to steadily expand its business in the future. On the other hand, total water withdrawal efficiency (sales per water withdrawal) is expected to improve as we improve the efficiency of water use in our operations.

[固定行]

(9.12) 貴組織の製品またはサービスの水量原単位の値が分かる場合は記入します。

Row 1

(9.12.1) 製品名

Printer and Scanner, Visual Ploducts, Industrial Products, Watches, Micro Devices, Components, Materials, and Other Products

(9.12.2) 水量原単位の値

6.16

(9.12.3) 分子：水アスペクト

選択:

☑ 取水された水

(9.12.4) 分母

The Seiko Epson Group's total water intake is divided by sales revenue.

(9.12.5) コメント

The unit is megaliter/billion yen.
[行を追加]

(9.13) 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴組織製品はありますか。

	製品が有害物質を含む
	選択: ☑ はい

[固定行]

(9.13.1) 規制当局により有害と分類される物質を含んだ貴組織製品が売上に占める割合を教えてください。

Row 1

(9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

☑ EU REACH 規則の附属書 XVII

(9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

☑ 10%未満

(9.13.1.3) 説明してください

Some of our ink products use substances classified under CMR Category 1B stipulated in Annex XVII of EU REACH Regulation. These ink products are not sold to the general public. The percentage of revenue associated with these products is less than 1%.

Row 3

(9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

☑ UK REACH 規則附属書 XIV

(9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

☑ 10%未満

(9.13.1.3) 説明してください

Some of our ink products use substances classified under CMR Category 1B stipulated in Annex XIV of UK REACH Regulation. These ink products are not sold to the general public. The percentage of revenue associated with these products is less than 1%.

Row 4

(9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

☑ Candidate List of Substances of Very High Concern for Authorisation above 0.1% by weight(EU 規制)

(9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

☑ 61-80

(9.13.1.3) 説明してください

At present, there are 17 substances, including lead, that are included on the candidate list of substances of very high concern (SVHC) under the EU REACH Regulation and that are contained in our electrical and electronic products at above 0.1% weight by weight. Products containing these 17 SVHCs account for approximately 70% of revenue. Among these, lead, which is one of the SVHC can, for example, be found in the copper alloy of the plugs of AC cables for printers and other electronic devices that operate on commercial power sources, which account for about 65% of our revenue. Specific substances and products are registered and disclosed in the ECHA's SCIP Database, which is operated under the EU Waste Framework Directive, as information must be communicated in accordance with the EU REACH Regulation. We also communicate information on safety data sheet (SDS) regarding chemical products such as ink. Epson has been collecting information on SVHCs since the review stage by authorities and is striving to reduce or replace SVHCs. However, most of the SVHCs in our products are technically

impossible to reduce or replace. We will work to further actively reduce the use of SVHCs if the laws and regulations that apply to our products are expected to be tightened in the future, such as when exemptions from the EU RoHS Directive are abolished or when substances become restricted substances under REACH.

Row 5

(9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

☑ EU 残留性有機汚染物質（POPs)規制

(9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

☑ 10%未満

(9.13.1.3) 説明してください

We use some of the substances restricted by the EU Persistent Organic Pollutants (POPs) Regulation in applications for which exemptions are granted by the regulation. Exempted uses stipulated in this law have an expiration date and so we manage use to prohibit the use before the expiration date.

Row 6

(9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

☑ Candidate List of Substances of Very High Concern(英国規制)

(9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

☑ 61-80

(9.13.1.3) 説明してください

The EU REACH Regulation and the UK REACH Regulation List of Substances of Very High Concern are basically identical, so the explanation is the same as for the EU Regulation.

Row 7

(9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

☑ Guidelines for Controlling the Use of Key Chemical Substances in Consumer Products(中国規制)

(9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

☑ 80%超

(9.13.1.3) 説明してください

Substances specified in the Guidelines for the Management of the Use of Major Chemical Substances in Consumer Products and Chinese regulations include lead, cadmium, and mercury. These substances are used in electrical and electronic equipment such as printers and electronic devices, which account for more than 80% of our revenue, at or below the regulatory thresholds in each country, including these guidelines.

Row 8

(9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

☑ Brazilian Regulatory Standards

(9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

☑ 80%超

(9.13.1.3) 説明してください

Brazil is currently considering establishing a national inventory. Since this inventory has not been officially established, we do not currently have any official controls in place. This inventory is not a list of hazardous substances, but a list of existing substances and therefore most of our products contain the substances listed in the inventory. We are currently labeling our chemical products based on GHS.

Row 10

(9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

☑ 物質リスト(カナダ環境保護法)

(9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

☑ 80%超

(9.13.1.3) 説明してください

Substances listed in Part 1 and Part 2 of the list of substances in Schedule 1 of the Canadian Environmental Protection Act include lead and mercury. These substances are used in electrical and electronic equipment such as printers and electronic devices, which account for more than 80% of our revenue, at or below the regulatory thresholds in each country, including Canada.

Row 12

(9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

☑ Official Mexican Standards (NOMs) / National Inventory of Chemical Substances

(9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

☑ 80%超

(9.13.1.3) 説明してください

There is no use of substances falling under the Official Mexican Standards (NOMs). In addition, since a National Inventory of Chemical Substances has not been officially established, we do not currently have any official controls in place. This inventory is not a list of hazardous substances, but a list of existing substances and therefore most of our products contain the substances listed in the inventory. We are currently labeling our chemical products based on Globally Harmonized System of Classification and Labelling of Chemicals (GHS).

Row 13

(9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

☑ Federal Water Pollution Control Act / Clean Water Act (米国規制)

(9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

☑ 80%超

(9.13.1.3) 説明してください

Federal Water Pollution Control Act, Water Pollution Prevention Act, and U.S. regulations do not apply to our products, so we do not directly manage chemical substances contained in our products from the perspective of the Water Pollution Prevention Act. However, substances that may be contained in our products that are regulated by these laws and regulations are also regulated by the chemical substance regulations of each country, including the RoHS regulations of each country and EU REACH Regulation, and are therefore managed as substances subject to the regulations that cover our products. For example, lead and its compounds, which are stipulated as hazardous substances in these laws and regulations, are regulated by the RoHS regulations of each country and the EU REACH Regulation. Lead and its compounds are used in electrical and electronic equipment such as printers and electronic devices, which account for more than 80% of our revenue, at or below each country's regulatory threshold. Our sites/facilities and plants naturally comply with the Water Pollution Prevention Act and similar regulations in each country.

Row 14

(9.13.1.1) 規制当局による有害物質指定

選択:

☑ 水質汚濁防止法 (日本規制)

(9.13.1.2) このリストにある物質を含んだ製品が売上に占める割合

選択:

☑ 80%超

(9.13.1.3) 説明してください

The Water Pollution Prevention Act and Japanese regulations do not apply to our products, so we do not directly manage chemical substances contained in our products from the perspective of the Water Pollution Prevention Act. However, substances that may be contained in our products that are regulated by Water Pollution Prevention Act are also regulated by the chemical substance regulations of each country, including the RoHS regulations of each country and the EU REACH Regulation, and are therefore managed as substances subject to the regulations that cover our products. For example, lead and its compounds, which are stipulated as hazardous substances in the Water Pollution Prevention Act, are regulated by the RoHS regulations of each country and the EU REACH Regulation. Lead and its compounds are used in electrical and electronic equipment such as printers and electronic devices, which account for more than 80% of our revenue, at or below each country's regulatory threshold. Our sites/facilities and plants naturally comply with the Water Pollution Prevention Act and similar regulations in each country.
[行を追加]

(9.14) 貴組織が現在製造や提供をしている製品やサービスの中で、水の影響を少なく抑えているものはありますか。

(9.14.1) 水資源の影響が少ないと分類した製品および/またはサービス

選択:

☑ はい

(9.14.2) 水に対する影響が少ないと分類するために使用した定義

Epson develops products that use our technologies to help solve social issues. Of these, we define products that can drastically reduce water consumption compared to conventional production processes as “products with minimal impact on water.”

(9.14.4) 説明してください

PaperLab is an in-office paper secure recycler that turns waste paper into new paper using a virtually dry process powered by Epson’s unique Dry Fiber Technology. PaperLab does not require a water supply or drainage equipment and is capable of producing recycled paper using only a very small amount of water for humidification. According to P.R. VAN OEL & A.Y. HOEKSTRA (2010), 7,759 cubic meters of water is required to produce a standard recycled paper. PaperLab produces recycled paper using 71 cubic meters of water, or 1% of that amount.- Digital textile printing machines that use Epson’s inkjet technology greatly shorten the conventional textile printing process. When this product is used, water consumption can be reduced by approximately 96% compared to conventional analog textile printing that uses dye ink.
[固定行]

(9.15) 貴組織には水関連の定量的目標がありますか。

選択:

☑ はい

(9.15.1) 水質汚染、取水量、WASH、その他の水関連カテゴリーと関連する定量的目標があるか否かを教えてください。

	このカテゴリーで設定された定量的目標	説明してください
水質汚染	*選択:* ☑ はい	*リッチテキスト入力 [以下でなければなりません 1000 文字]*
取水量	*選択:* ☑ はい	*リッチテキスト入力 [以下でなければなりません 1000 文字]*
上下水道・衛生(WASH)サービス	*選択:*	*リッチテキスト入力 [以下でなければなりません 1000 文字]*

	このカテゴリーで設定された定量的目標	説明してください
	☑ はい	
その他	*選択:* ☑ いいえ、しかし今後 2 年以内に行う予定です	*In conjunction with the TNFD disclosure, we will set targets if relevant in analyzing the dependence on and impact of nature.*

[固定行]

(9.15.2) 貴組織の水関連の定量的目標およびそれに対する進捗状況を具体的にお答えください。

Row 1

(9.15.2.1) 目標参照番号

選択:

☑ 目標 1

(9.15.2.2) 目標の対象範囲

選択:

☑ 組織全体 (直接操業のみ)

(9.15.2.3) 目標のカテゴリーおよび定量指標

水質汚染

☑ その他の水汚染がある場合は、具体的にお答えください **:**Number of cases exceeding legal or local standards

(9.15.2.4) 目標設定日

07/23/2023

(9.15.2.5) 基準年の終了日

03/30/2022

(9.15.2.6) 基準年の数値

1

(9.15.2.7) 目標年の終了日

03/30/2026

(9.15.2.8) 目標年の数値

0

(9.15.2.9) 報告年の数値

1

(9.15.2.10) 報告年の目標の状況

選択:

☑ 進行中

(9.15.2.11) 基準年に対して達成された目標の割合

0

(9.15.2.12) この目標に合致または支持されているグローバルな環境条約/イニシアチブ/枠組み

該当するすべてを選択

☑ 持続可能な開発目標 6

(9.15.2.13) 目標対象範囲を説明し、除外事項を教えてください

This target applies to all Epson Group sites. However, the scope indicated in 9.1.1 is excluded.

(9.15.2.14) 目標を達成するための計画、および報告年の終わりに達成された進捗状況

There was one case of a sewage discharge standard exceedance (oil and insoluble substances) at a site in Japan. The matter was promptly reported to the government, and the facility was improved. There were no complaints, accidents, administrative penalties, or environment-related fines.

(9.15.2.16) 目標に関する追加情報

Epson complies with its own standards to improve emissions to a level higher than the legal standard. The Group's regulations on pollution prevention stipulate that each site should set its own self-management values for discharge and operational control values (reference values for detecting abnormalities in routine inspections). Self-management values have basically been set aiming for half of the legal standards, while operational control values have been set aiming for one-tenth of the legal standard. Emergency measures in the event that the respective standards are exceeded are also stipulated in the Group's regulations.

Row 2

(9.15.2.1) 目標参照番号

選択:

☑ 目標 2

(9.15.2.2) 目標の対象範囲

選択:

☑ 組織全体 (サプライヤーを含む)

(9.15.2.3) 目標のカテゴリーおよび定量指標

上下水道・衛生(WASH)サービス

☑ その他 WASH がある場合は、具体的にお答えください :Percentage of suppliers that ensure occupational health and safety, including WASH services

(9.15.2.4) 目標設定日

03/31/2021

(9.15.2.5) 基準年の終了日

12/30/2022

(9.15.2.6) 基準年の数値

84.0

(9.15.2.7) 目標年の終了日

12/30/2025

(9.15.2.8) 目標年の数値

100.0

(9.15.2.9) 報告年の数値

96

(9.15.2.10) 報告年の目標の状況

選択:

☑ 進行中

(9.15.2.11) 基準年に対して達成された目標の割合

75

(9.15.2.12) この目標に合致または支持されているグローバルな環境条約/イニシアチブ/枠組み

該当するすべてを選択

☑ 持続可能な開発目標 6

(9.15.2.13) 目標対象範囲を説明し、除外事項を教えてください

Eligible suppliers are the same as described in 5.11.1. Suppliers of direct materials that have a substantial environmental impact based on i) transaction value (top 80%) and ii) non-substitutable suppliers based on the regions and commodities with which they do business.

(9.15.2.14) 目標を達成するための計画、および報告年の終わりに達成された進捗状況

The percentage of suppliers complying with the Code as a result of annual activities has improved year by year. The percentage of low-risk suppliers increased from 84% in 2020 to 96% in 2023.

(9.15.2.16) 目標に関する追加情報

Epson is committed to the RBA Code of Conduct. The RBA Code of Conduct stipulates the maintenance of water and sanitation (WASH) services for employees. Epson maintains a water and sanitation (WASH) service as part of its basic activities to meet the Code of Conduct. We require our suppliers to comply with this Code of Conduct. We investigate (1) not only compliance with laws and regulations, but also management as a documented program and (2) toilets and cafeterias be maintained and operated in a clean and well maintained manner and in compliance with local health regulations and so on as requirements regarding water. Evaluations are based on a comprehensive aggregation of responses to these questions and are classified into three groups: low risk (86 points or more), medium risk (66-85 points), and high risk (65 points or less). Epson's measure of success for this activity is to rank all major suppliers as low-risk in terms of CSR by 2025.

Row 3

(9.15.2.1) 目標参照番号

選択:

☑ 目標 3

(9.15.2.2) 目標の対象範囲

選択:

☑ 組織全体 (直接操業のみ)

(9.15.2.3) 目標のカテゴリーおよび定量指標

取水量

☑ 1 売上あたりの取水量の削減

(9.15.2.4) 目標設定日

07/23/2023

(9.15.2.5) 基準年の終了日

03/30/2023

(9.15.2.6) 基準年の数値

0.74

(9.15.2.7) 目標年の終了日

03/30/2026

(9.15.2.8) 目標年の数値

0.73

(9.15.2.9) 報告年の数値

0.62

(9.15.2.10) 報告年の目標の状況

選択:

☑ 進行中

(9.15.2.11) 基準年に対して達成された目標の割合

1200

(9.15.2.12) この目標に合致または支持されているグローバルな環境条約/イニシアチブ/枠組み

該当するすべてを選択

☑ 持続可能な開発目標 6

(9.15.2.13) 目標対象範囲を説明し、除外事項を教えてください

This target applies to all Epson Group sites. However, the scope indicated in 9.1.1 is excluded.

(9.15.2.14) 目標を達成するための計画、および報告年の終わりに達成された進捗状況

The FY2023 water usage efficiency (per unit of revenue) was 0.62, well above the target of 0.73. Since water consumption depends on production volume and is expected to increase or decrease in the future, Epson will continue to improve water use efficiency to maintain the current level, which is above the target value. On the other hand, Epson's water use includes that used for WASH services for employees. We will ensure that there is sufficient water for the safety and hygiene needs of these employees.

(9.15.2.16) 目標に関する追加情報

Epson set medium-term water targets in July 2023. The target for water consumption was set as a per unit of sales target with an emphasis on water use efficiency, given that there is currently no significant water shortage risk at the direct operation sites and that each site is continuously working to improve water recycling. The five-year average for FY2017-FY2022 is set as the standard 0.74 (thousand m3/100 million yen), and this value is to be improved by 1% by FY2025.

[行を追加]

C10. 環境実績 - プラスチック

(10.1) 貴組織にはプラスチック関連の定量的目標がありますか。ある場合は、どのような種類かをお答えください。

(10.1.1) 定量的目標があるか

選択:

☑ はい

(10.1.2) 目標の種類と指標

プラスチック商品/製品

☑ プラスチック商品/製品に含まれるバージンプラスチックの総重量を削減する

(10.1.3) 説明してください

Epson will reduce new consumption of underground resources by utilizing underground resources excavated above ground as “aboveground resources” and create business activities that will achieve zero consumption of underground resources by 2050. Epson aims to achieve zero consumption of underground resources by reducing the total amount of resources used and eliminating waste. The raw material for plastic is petroleum, an underground resource. Epson aims to reduce the use of plastics derived from underground resources and switch to recycled and bio-based plastics.

[固定行]

(10.2) 貴組織が次の活動に従事しているか否かをお答えください。

プラスチックポリマーの製造・販売 (プラスチックコンバーターを含む)

(10.2.1) 活動の適用

選択:

☑ いいえ

耐久プラスチック製品/部品の生産/商業化 (混合材料を含む)

(10.2.1) 活動の適用

選択:

☑ いいえ

耐久プラスチック製品/部品（混合材料を含む） の使用

(10.2.1) 活動の適用

選択:

☑ はい

(10.2.2) コメント

Plastic is used in some of our products such as printers and projectors.

プラスチックパッケージの生産/商業化

(10.2.1) 活動の適用

選択:

☑ いいえ

プラスチックパッケージで包装される商品/製品の生産/商業化

(10.2.1) 活動の適用

選択:

☑ はい

(10.2.2) コメント

Plastic is used as part of the packaging material.

プラスチックパッケージを使用するサービスの提供・商業化 (例: 食品サービス)

(10.2.1) 活動の適用

選択:

☑ いいえ

廃棄物管理または水管理サービスの提供

(10.2.1) 活動の適用

選択:

☑ いいえ

プラスチック関連活動のための金融商品/サービスの提供

(10.2.1) 活動の適用

選択:

☑ いいえ

その他の活動が明記されていません

(10.2.1) 活動の適用

選択:

☑ いいえ

[固定行]

(10.4) 生産、販売、または使用した耐久プラスチック製品/部品の総重量とそれに含まれる原料を具体的にお答えください。

	報告年の総重量 (メートルトン)	報告可能な各原料の内訳(%)	説明してください
使用した耐久製品/部品	*78964*	*該当するすべてを選択* ☑ なし	*The total weight of plastic used in the product was calculated.*

[固定行]

(10.5) 販売/使用したプラスチックパッケージの総重量とそれに含まれる原料を具体的にお答えください。

	報告年の総重量 (メートルトン)	報告可能な各原料の内訳(%)	説明してください
使用したプラスチックパッケージ	*74*	*該当するすべてを選択* ☑ なし	*Of the packaging materials used, the weight of plastics was recorded.*

[固定行]

(10.5.1) 貴組織が販売/使用したプラスチックパッケージの循環性に関してお答えください。

	循環性として報告可能な割合	説明してください
使用したプラスチックパッケージ	*該当するすべてを選択* ☑ なし	*There is no information that can be provided on the cyclical nature of plastics.*

[固定行]

C11. 環境実績 - 生物多様性

(11.2) 生物多様性関連のコミットメントを進展するために、貴組織は本報告年にどのような行動を取りましたか。

(11.2.1) 生物多様性関連コミットメントを進展させるために報告対象期間に取った行動

選択:

☑ はい、生物多様性関連コミットメントを進展させるために措置を講じています

(11.2.2) 生物多様性関連コミットメントを進展させるために講じた措置の種類

該当するすべてを選択

☑ 土地/水保護
☑ 土地/水管理
☑ 生物種管理
☑ 教育および認識
☑ 生活的、経済的、およびその他のインセンティブ
[固定行]

(11.3) 貴組織は、生物多様性関連活動全体の実績を監視するために、生物多様性指標を使用していますか。

	貴組織は生物多様性実績をモニタリングするために指標を使用していますか。
	選択: ☑ いいえ、指標を使用していませんが、今後 2 年以内に使用する予定です

[固定行]

(11.4) 報告年に、生物多様性にとって重要な地域内またはその近くで事業活動を行っていましたか。

	生物多様性にとって重要なこの種の地域またはその近くで、事業活動を行っているか否かを記入してください。	コメント
法的保護地域	*選択:* ☑ 評価していない	*リッチテキスト入力 [以下でなければなりません 2500 文字]*
ユネスコ世界遺産	*選択:* ☑ 評価していない	*リッチテキスト入力 [以下でなければなりません 2500 文字]*
UNESCO 人間と生物圏	*選択:* ☑ 評価していない	*リッチテキスト入力 [以下でなければなりません 2500 文字]*
ラムサール条約湿地	*選択:* ☑ はい (部分的評価)	*Our Chitose facility is located upstream of Lake Utonai, which is a nationally designated wildlife protection area and a Ramsar Convention wetland.*
生物多様性保全重要地域	*選択:* ☑ 評価していない	*リッチテキスト入力 [以下でなければなりません 2500 文字]*

	生物多様性にとって重要なこの種の地域またはその近くで、事業活動を行っているか否かを記入してください。	コメント
生物多様性にとって重要なその他の地域	*選択:* ☑ はい	*We used the ENCORE tool to assess the significance of biodiversity across our operations.*

[固定行]

(11.4.1) 報告年に、生物多様性にとって重要な地域またはその近くで行っていた事業活動について、詳細を開示してください。

Row 1

(11.4.1.2) 生物多様性にとって重要な地域の種類

該当するすべてを選択

☑ ラムサール条約湿地

(11.4.1.4) 国/地域

選択:

☑ 日本

(11.4.1.5) 生物多様性にとって重要な地域の名称

Lake Utonai

(11.4.1.6) 近接性

選択:

☑ 最大 25 km

(11.4.1.8) 選択した地域またはその付近で報告年に行っていた貴組織の事業活動について簡単に説明してください

Wastewater from the manufacturing process is discharged into the sewage system after detoxification. In order to prevent offsite leaks of chemicals and other substances, the pH and oil content of rainwater that falls onsite is monitored in an on-site regulating reservoir, before the water flows into Lake Chitose and Lake Utonai via the Bibigawa River. All chemical storage, waste storage, and wastewater treatment facilities are located indoors to prevent accidental leaks outside the premises.

(11.4.1.9) 選択した地域またはその付近での貴組織の事業活動は生物多様性に悪影響を及ぼす可能性があるかをお答えください

選択:

☑ はい、しかし緩和措置が実施されています

(11.4.1.10) 選択した領域内で実施された緩和策

該当するすべてを選択

☑ 物理的コントロール

(11.4.1.11) 選択した領域またはその付近での貴組織の事業活動が生物多様性にどのように悪影響を及ぼしうるか、それをどのように評価したか、そして実施した緩和策について説明してください

Any chemical leaks from the facility may pollute the water in Lake Utonai, and cause negative impacts on precious ecosystems.
[行を追加]

C13. 追加情報および最終承認

(13.1) CDP への回答に含まれる環境情報 (質問 7.9.1/2/3、8.9.1/2/3/4、および 9.3.2 で報告されていないもの) が第三者によって検証または保証されているかどうかをお答えください。

	CDP への回答に含まれるその他の環境情報は、第三者によって検証または保証されている
	選択: ☑ はい

[固定行]

(13.1.1) CDP 質問書への回答のどのデータ・ポイントが第三者によって検証または保証されており、どの基準が使用されていますか。

Row 1

(13.1.1.1) データが検証/保証されている環境課題

該当するすべてを選択

☑ 気候変動

☑ 水

(13.1.1.2) 検証または保証を受けた開示モジュールとデータ

環境パフォーマンス - 水セキュリティ

☑ 報告年の水域への排水量
☑ 排水 – 総排水量
☑ 取水 – 総取水量
☑ 取水量 – 水源別の量

(13.1.1.3) 検証/保証基準

一般的な基準

☑ ISAE 3000

気候変動関連基準

☑ ISO 14064-3

(13.1.1.4) 第三者検証/保証プロセスの詳細

Key indicators related to climate change and water security are verified by a third party organization: the Japan Quality Assurance Organization. When conducting audits, several sites/facilities are selected as targets for assessment, and auditors visit the site to check the measurements being taken and values that are being measured. Auditors then check how these figures are compiled to confirm the authenticity of the data.

(13.1.1.5) 検証/保証のエビデンス/レポートを添付する (任意)

13.1.1_Verification Report.pdf
[行を追加]

(13.3) CDP 質問書への回答を最終承認した人物に関する以下の情報を記入します。

(13.3.1) 役職

Executive Officer General Administrative Manager Global Environmental Strategy Promotion Office

(13.3.2) 職種

選択:

☑ その他の最高経営層

[固定行]

(13.4) [ウォーターアクションハブ]ウェブサイトのコンテンツをサポートするため、CDP がパシフィック・インスティチュートと連絡先情報を共有することに同意してください。

選択:

☑ はい、CDP は情報開示提出責任者の連絡先情報を Pacific Institute と共有することができます